

# 経営学概論

Introduction to Business Administration

佐々木 宏 (SASAKI HIROSHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KM801
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	春学期 1
単位：	2
科目ナンバリング：	MBU5000
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

## 授業の目標 / Course Objectives

リーダーシップ開発コースの学生が入学後すぐに履修する科目で、経営学の基礎知識の修得と、実践的スキルの向上を目指す。受講生は多様なバックグラウンドをもつと想定されるため、経営学や経済学を系統的に学んできたことを前提とせず、経営学の主要分野（全社戦略、事業戦略、組織と意思決定、ビジネスモデル、マネジメント、オペレーション、イノベーションなど）を広く網羅的に扱うことにする。また、授業内容に合わせて事業戦略立案に関わるグループワークを並行して進め、簡易な中期経営計画を作成できるようになることを目的にする。

This course aims to provide students with an opportunity to gain academic knowledge and practical skills in business and management. The course covers basic management theories such as business strategy, business model, organization and management, strategic decision making, operation, and innovation. All content has been selected to meet the needs of students with diverse backgrounds. Students also experience the business analysis and medium-term planning process along the subject of each lecture..

## 授業の内容 / Course Contents

2 コマ連続で授業を行う。毎回、前半は各回のテーマに応じた講義を行い、後半はグループワークを中心に、

ケースの分析を行う形で講義を展開していく。最終回には、各チームが創り上げた事業計画のプレゼンテーションを実施するとともに、学修の達成度をはかるため最終試験を行う。なお、講義では中期経営計画の策定に豊富な経験をもつゲスト講師を招く予定である。

This course consists of two consecutive sessions each day. The first half presents a lecture on each topic, and the second half conducts team-based research work. On the final day, student teams deliver a short presentation on the business strategy and mid-term plans. A final examination will be held as well.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：社会科学と経営学(講義)
- 2回：チームでのリサーチワーク 1
- 3回：戦略意思決定(講義)
- 4回：チームでのリサーチワーク 2
- 5回：中期経営計画(講義)
- 6回：チームでのリサーチワーク 3
- 7回：事業戦略(講義)
- 8回：チームでのリサーチワーク 4
- 9回：技術と経営(講義)
- 10回：チームでのリサーチワーク 5
- 11回：企業と社会(講義)
- 12回：チームでのリサーチワーク 6
- 13回：各チームのプレゼン大会
- 14回：全体振り返り、最終テスト

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド(パワポ等)の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

### 授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回指示されたワークを行ってきていただき、グループワークなどで議論していただくことになります。

### 成績評価方法・基準(成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100%    リサーチレポートとプレゼンテーション:20%    授業への参加度(リアクションペーパー含む) :40%    最終テスト割合 :40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト/Textbooks

井口嘉則 『マンガでやさしくわかる中期経営計画の立て方・使い方』 日本能率協会マネジメントセンター 2019 9784820727170 -

### 参考文献 / Readings

入山章栄 『世界標準の経営理論』 ダイヤモンド社 2019 9784478109571

上記以外は、講義内容に応じて都度指示いたします。

**注意事項**

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の 50%以上である。

# 経営戦略論

Strategic Management

村嶋 美穂 (MURASHIMA MIHO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM802  
授業形態： オンライン（全回オンライン）  
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可  
校地： 池袋  
学期： 秋学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU5000  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本授業の目標は、経営戦略に関連する理論と概念を使って、現実の経営戦略を総合的に理解し分析できるようになることである。

The goal of this course is to develop students' ability to comprehensively understand and analyze real-world business strategies using theories and concepts related to business strategy.

## 授業の内容 / Course Contents

効果的な組織開発と人材開発を実現するためには、経営戦略の深い理解が不可欠である。本講義では、経営戦略論の基本的な理論や概念を学びながら、ケーススタディを用いたディスカッションを通じて、実践的な分析能力を身に付けることを目指す。こうしたアプローチにより、学生は経営戦略を大局的に捉える能力を養うことができる。

- 経営戦略の基礎理論と概念： 経営戦略に関する理論的な枠組みと基本概念についての包括的な理解を深める。
- ケーススタディによる実践的な分析： 実際の企業事例を用いて、戦略的な問題解決と意思決定プロセスを学ぶ。

3) 企業と社会：現代経営におけるサステナビリティ、ESG、CSRの重要性を考察する。

本講義は、理論と実践の融合を目指し、経営戦略の深い理解と実践的な分析スキルの両方を学生に提供することに重点を置いている。

A profound understanding of strategic management is essential for effective organizational and talent development. This course aims to provide students with a deep comprehension of the fundamental theories and concepts of strategic management while developing practical analytical skills through case study discussions. This approach will enable students to cultivate the ability to perceive strategic management from a holistic perspective.

1) Foundational Theories and Concepts of Strategic Management: Deepen a comprehensive understanding of the theoretical frameworks and basic concepts related to strategic management.

2) Practical Analysis through Case Studies: Learn strategic problem-solving and decision-making processes using real-world business cases.

3) Business and society: Examine the importance of sustainability, ESG, and CSR in modern management.

This course focuses on merging theory and practice, aiming to provide students with both a deep understanding of strategic management and practical analytical skills.

#### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション
- 2回：経営戦略の役割と特徴
- 3回：経営戦略の理論（1）
- 4回：ケーススタディ：グループワーク/ディスカッション
- 5回：経営戦略の理論（2）
- 6回：ケーススタディ：グループワーク/ディスカッション
- 7回：戦略を動かす仕組み・組織づくり
- 8回：ケーススタディ：グループワーク/ディスカッション
- 9回：全社戦略と個別事業戦略
- 10回：ケーススタディ：グループワーク/ディスカッション
- 11回：創発的戦略とイノベーション
- 12回：ケーススタディ：グループワーク/ディスカッション
- 13回：企業と社会（サステナビリティ、ESG、CSR）
- 14回：ケーススタディ：グループワーク/ディスカッション

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：		：			

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

##### 【予習】

教科書の該当箇所及びケーススタディを読み、考えをまとめておく。ケーススタディは、授業内で指示する。

##### 【復習】

関心のある企業を題材として、授業で学んだ理論・フレームワーク・概念を適用し分析する。

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 中間レポート:40% 期末レポート:40% 授業内発言:20%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

**テキスト / Textbooks**

経営戦略研究会 『経営戦略の基本』 日本実業出版社 2008 9784534044679 ○

ハーバード・ビジネス・レビュー 『戦略の教科書』 ダイヤモンド社 2019 9784478107461 ○

**参考文献 / Readings**

沼上幹 『経営戦略の思考法』 日本経済新聞出版 2009 9784532314781

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

PC

**注意事項**

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# 戦略的人的資源管理

Strategic Human Resource Management

佐々木 聡 (SASAKI SATOSHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KM803
授業形態：	オンライン（一部対面）
授業形態（補足事項）	オンライン（一部対面）
校地：	池袋
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	MBU5000
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	パーソルグループ寄附講座

## 授業の目標 / Course Objectives

企業経営の主要素となる「戦略、組織、人材」それぞれの基礎理論と、相互関連性を歴史的な背景を踏まえて体系的に理解し、最新動向を知ることで、今後の人的資源管理の展望を考察できる力を身につける

The purpose of this course is to understand systematically the fundamental theories and relationships of strategies, organizations, human resources, and their fundamental attributes based on historical background and to consider the prospects for human resource management in the future by understanding the latest trends.

## 授業の内容 / Course Contents

- ・戦略（事業・人事）と組織、人材に関する基礎的な理論を知る
- ・理論を理解したうえで、実在するケーススタディをもとに、採用、育成、処遇、配置、評価などの個々の人材施策の概要とその効果性を、今日的な視点で把握する
- ・人的資源管理における人材開発、組織開発の動向を知り、今後の展望を考察する

In this course, students are expected:

- (1) to learn the basic theories about strategy (business, human resources, organization)
- (2) based on actual cases, to understand the outline and effectiveness of individual human resources measures

such as recruitment, development, treatment, placement, and evaluation from a modern perspective  
(3) to understand trends in human resource development and organizational development in human resource management and consider future prospects.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：戦略的人的資源論とは／歴史考察の意義と構想力
- 2 回：歴史変遷例
- 3 回：企業戦略の基礎理論
- 4 回：企業戦略の実例
- 5 回：人材戦略・人事戦略の基礎理論と実例
- 6 回：組織の基礎理論 ①組織構造（ケーススタディ）
- 7 回：組織の基礎理論 ②人事制度
- 8 回：組織の基礎理論 ③組織文化
- 9 回：ケーススタディ（戦略、組織、人材の変革事例①）
- 10 回：人材アセスメント ①アセスメントの潮流
- 11 回：人材アセスメント ②アセスメント技法
- 12 回：人事の現在地と 10 年後の人事
- 13 回：ケーススタディ（戦略、組織、人材の変革事例②）
- 14 回：最終テスト／ラップアップ

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指定する文献を購読する

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 中間テスト:30% 平常点:30% 最終テスト割合：40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

- 佐々木 聡 『ケーススタディ パナソニック』 自著 -
- 柴田 昌治 『なぜ会社は変わらないのか』 日経ビジネス人文庫 2003 ○
- 佐々木 聡 『プレミアムサイクルの市場進出』 自著 2000 -
- ハーバード・ビジネス・スクール 『IBMの企業再建』 Book Park 2000 ○
- 佐々木 聡 『日本の人的資本経営が危ない』 日本経済新聞出版社 2023 ○

授業内で指定

### 参考文献 / Readings

- 小林 裕 『戦略的人的資源論の理論と実証』 文眞社 2019
- 波頭 亮 『経営戦略概論』 産業能率大学 2016



高木 晴夫 『人的資源マネジメント戦略』 有斐閣 2004

嶋口 充輝 『マネジメントの世紀』 東洋経済新 2000

ハーバード・ビジネス・レビュー 『人材育成・人事の教科書』 ダイヤモンド 2020

**履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course**

構想力、論理的思考力、考察力

**その他/ Others**

- ・ 1回～2回：対面 左記以外：オンライン

**注意事項**

- ・ 本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。
- ・ 本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・ 双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# 組織行動論

Organizational Behavior

石川 淳 (ISHIKAWA JUN)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM804  
授業形態： オンライン（全回オンライン）  
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可  
校地： 池袋  
学期： 春学期 2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU5000  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

この授業では、組織行動論の基礎を理解することで、企業で実施されている人材マネジメントを理論的にとらえ、その今日的課題を検討する力を養う。このようなプロセスを通じて、マネジメントの実践に際して必要な判断力とスキルが得られるようにすることを最終的な目的とする。

This course aims for students to develop the skill and ability to theoretically grasp the current issues of human resource management and to consider solutions for problems of organizational behavior in companies. The ultimate goal is to ensure the judgment and skills necessary for the practice of management.

## 授業の内容 / Course Contents

ケース・ディスカッションや実習を通じて問題意識を明確化し、思考力を深め、実践的スキルを磨く。一方、講義によって、実践的なスキルの理論的なフレームワークを作成するために必要となる基礎的な知識を身につける。

In this course, students clarify their awareness of issues, boost the ability to think, and develop practical skills in organizational behavior through case discussions and workshops. Meanwhile, through the lectures, students acquire the basic knowledge necessary to create a theoretical framework for practical skills.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1回：イントロダクション  
 2回：職務態度  
 3回：モチベーション1  
 4回：モチベーション2  
 5回：リーダーシップ1  
 6回：リーダーシップ2  
 7回：知覚1  
 8回：知覚2  
 9回：グループ・ダイナミクス1  
 10回：グループ・ダイナミクス2  
 11回：コミュニケーション1  
 12回：コミュニケーション2  
 13回：キャリア  
 14回：授業内テスト

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	:	スライド(パワポ等)の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート:○
実技・実習・実験	:	○	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク :
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class**

受講生には、授業の事前準備として以下が求められる。

- 1) 指定されたテキストのパートを読み込んでくる。
- 2) 指定されたケースを読み込んだ上に、ケースに関わる設問をパワーポイントにまとめてくる。なお、当該パワーポイントは指定の期日までに提出が求められる。

**成績評価方法・基準(成績評価方法区分：002) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 各授業で提出が求められるパワーポイント:40% 授業内発言:20% 最終テスト  
割合 :40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

**テキスト/Textbooks**

スティーブン P. ロビンス 『組織行動のマネジメント』 ダイヤモンド社 2009 9784478004593 -

**参考文献 / Readings**

授業内で適宜指示する。

**注意事項**

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# 人材開発・組織開発論 1

## Human Resource and Organization Development 1

「人材開発・組織開発論 1」は、人材開発・組織開発の基礎理論・基礎知識を習得することを目的とする授業である。これらの基礎理論・基礎知識を基盤にしなが、実際の組織を対象に「働きかけ（介入）」を行うスキルを学ぶことのできる「人材開発・組織開発論 2」の受講につなげる。

中原 淳／田中 聡／藤澤 広美 (NAKAHARA JUN/ TANAKA SATOSHI/ FUJISAWA HIROMI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KM805

授業形態： オンライン（全回オンライン）

授業形態（補足事項） オンライン

発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MBU5000

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

「人材開発・組織開発論 1」は、人材開発・組織開発の基礎理論・基礎知識を習得することを目的とする授業である。

This course aims for students to acquire the basic theory and fundamental knowledge about human resource development and organizational development.

### 授業の内容 / Course Contents

「人材・組織開発論 1」の前半は組織開発の基礎を習得することからはじまる。「人材・組織開発論 1」の後半は、人材開発の基礎知識を論文購読のかたちで購読し、ディスカッションを行う。

In the first part of this course, students are expected to learn the fundamental theory and knowledge of organization itself. In the second part, they are expected to read the textbook of human resource development

and participate in discussions.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション：人材開発と組織開発の概要
- 2 回：組織開発とは何か？：コンテンツとプロセスの理解
- 3 回：組織開発体験(1)ーカード型OD
- 4 回：組織開発の起源 (1) ーデューイ・フッサール・フロイト
- 5 回：組織開発の起源 (2) ー心理療法
- 6 回：組織開発体験(2)ーレゴ型OD
- 7 回：組織開発の起源 (3) ーTグループとサーベいの統合
- 8 回：組織開発の起源 (4) ー社会構成主義とA I
- 9 回：組織開発・実践者に聞く
- 10 回：人材開発の基礎理論ー組織社会化
- 11 回：人材開発の基礎理論ー職場学習とO J T
- 12 回：人材開発の基礎理論ーリーダーシップ開発
- 13 回：人材開発のリアルー女性のリーダー育成
- 14 回：人材開発のリアルー研修転移とまとめ

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	○ ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

グループでのプレゼンテーションに備え、リーディングアサインメントを読み、資料をつくる必要がある。

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% プレゼンテーション:60% 最終テスト割合 :40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

中原淳・中村和彦 『組織開発の探究』 ダイヤモンド社 2018 9784478106440 -

中原淳 『経営学習論』 東京大学出版会 2012 9784130402576 -

- ・本授業は集中講義である。6月あたりにグループを組成し、シラバスの詳細を説明する会をもうける
- ・テキストは追って指示する

### 参考文献 / Readings

#### 注意事項

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

## 人材開発・組織開発論 2

### Human Resource and Organization Development 2

「人材・組織開発論 2」では、授業中、指示のあるいくつかのクライアント企業に対して、学生がグループになって、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を行うことをめざす

中原 淳／田中 聡／藤澤 広美 (NAKAHARA JUN/ TANAKA SATOSHI/ FUJISAWA HIROMI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KM806
授業形態：	オンライン（一部対面）
授業形態（補足事項）	オンライン
校地：	池袋
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	MBU5000
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

### 授業の目標 / Course Objectives

「人材・組織開発論 2」では、授業中、指示のあるいくつかのクライアント企業に対して、学生がグループになって、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を行うことをめざす

In this course, students are expected to form a group and implement human resource development, organizational development, and leadership development for a client company.

### 授業の内容 / Course Contents

この授業を通して、学生は、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発のリアルなプロセスを体験することができる。エントリー、契約、データ収集、フィードバックミーティングまでの開催までを体験することができる。

In this course, students gain some experience in the real process of human resource development, organizational development, and leadership development. They can experience all processes including entry, contract, data collection, and feedback.



・5回～6回、13回～14回：対面 左記以外：オンライン

**注意事項**

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。



# リーダーシップ教育論

Leadership Education

舘野 泰一 (TATENO YOSHIKAZU)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM807  
授業形態： オンライン（一部対面）  
授業形態（補足事項） 毎週、講義ビデオを1本ずつ公開します。対面での授業は5月に1回行います。  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU5000  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本授業の目標は、企業におけるリーダーシップ開発・教育機関におけるリーダーシップ教育の設計手法を学び、リーダーシップ教育のプログラム開発ができるようになることである。具体的な目標は、（1）リーダーシップ教育の事例を体験・理解する、（2）リーダーシップ教育・リーダーシップ開発に関する基礎理論・基本的概念を理解する、（3）ワークショップの開発手法の理解する、の3つである。

The purpose of this course is to learn how to design leadership development in companies and leadership education in educational institutions, specifically to understand:

- (1) cases of leadership education and leadership development
- (2) basic theories and basic concepts related to leadership education and leadership development
- (3) how to develop a workshop.

## 授業の内容 / Course Contents

最初に、リーダーシップ教育・開発に関する実践事例を体験してもらい、その上で背景となる基礎理論・基本的概念について理解する。関連する文献を購読し、ディスカッションすることで理解を深める。

次に、リーダーシップ教育・開発に関するプログラムを開発し、実践してもらう。実践したプログラムを評

価することで、プログラムの改善方法について理解する。

First, students experience a leadership program and then understand its underlying theories and basic concepts. Students read and discuss the literature to learn about theory. Next, students develop and practice programs related to leadership education and development, evaluate the program, and understand how to improve it.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション（授業の目的）
- 2回：リーダーシップ教育の概要（1）
- 3回：リーダーシップ教育の概要（2）
- 4回：経験の場のデザイン（1）
- 5回：経験の場のデザイン（2）
- 6回：振り返りの場のデザイン（1）
- 7回：振り返りの場のデザイン（2）
- 8回：知識・スキル型のリーダーシップ教育（1）
- 9回：知識・スキル型のリーダーシップ教育（2）
- 10回：リーダーシップ教育の事例（1）
- 11回：リーダーシップ教育の事例（2）
- 12回：リーダーシップ教育の事例（3）
- 13回：授業全体の振り返り（1）
- 14回：授業全体の振り返り（2）

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワー等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：	○
個人発表	：	グループ発表	：		ディスカッション・ディベート	：	
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：	
上記いずれも用いない予定	：		：			：	

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

各授業ごとに、授業内容に関連した課題がだされる。文献の購読や、リーダーシップ・プログラムの開発に関するグループワークを実施する必要がある。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 授業期間中の複数回に渡る提出物:30% グループワークの成果:50% 授業中の発表・討議・質疑応答:20%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

中原淳、舘野泰一、高橋俊之 『リーダーシップ教育のフロンティア【研究編】：高校生・大学生・社会人を成長させる「全員発揮のリーダーシップ』 北大路書房 2018 4762830224 -

中原淳、高橋俊之、舘野泰一 『リーダーシップ教育のフロンティア【実践編】：高校生・大学生・社会人を成長させる「全員発揮のリーダーシップ』 北大路書房 2018 4762830232 -

### 参考文献 / Readings

### その他 / Others

・ 11 回～12 回：対面 左記以外：オンライン

**注意事項**

- ・ 本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・ 双方向による授業の割合は全授業回数の 50%以上である。

# リーダーシップファイナル・プロジェクト 1

## Leadership Final Research Project 1

石川 淳／中原 淳／佐々木 宏／館野 泰一／田中 聡／藤澤 広美／細田 雅洋／村嶋 美穂 (ISHIKAWA JUN/  
NAKAHARA JUN/ SASAKI HIROSHI/ TATENO YOSHIKAZU/ TANAKA SATOSHI/ FUJISAWA HIROMI/  
HOSODA MASAHIRO / MURASHIMA MIHO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM810  
授業形態： オンライン（一部対面）  
授業形態（補足事項） オンライン  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU6010  
使用言語： 日本語  
授業形式： その他  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト（LFP）は、大学院生ひとりひとりが、大学院での学修の集大成として取り組むプロジェクト探求である。当該プロジェクトの遂行を通じて以下を達成することを目標とする。

- 実際の現場で人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を実行することを通じて、実践力・課題解決力を獲得する。
- これまでのカリキュラムで学んだ経営学の知識、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発の手法、各種専門的概念を統合する。
- リーダーシップ開発コース修了後のキャリアについて学生が省察を深める。

The Leadership Final Project (LFP) is a project exploration that each graduate student undertakes as the culmination of his or her graduate studies. This course aims for students to achieve the following through the execution of this project,

1. students acquire practical skills and problem-solving abilities through the implementation of human resource development, organizational development, and leadership development in actual workplaces.
2. students integrate the knowledge of business administration, methods of human resource development, organizational development, and leadership development, and various professional concepts learned in the curriculum to date.
3. students deepen their reflections on their careers after completing the leadership development course.

### 授業の内容 / Course Contents

ひとりひとりの学生がクライアント組織を探し、そこに対して人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を行い、その成果をまとめる。LFP1では、プロジェクトのうち以下を実施する。

1. 人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を実施する組織を確定する。
2. 先行研究のレビューを通じて、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を実施するための学術的なフレームワークを完成させる。
3. 人材開発・組織開発・リーダーシップ開発の具体的な実施計画の大枠を決定する。
4. 実施する人材開発・組織開発・リーダーシップ開発について、妥当性及び信頼性が高い効果測定の手法を確立する。

Students identify a client organization, conduct human resource development, organizational development, and leadership development for that organization, and summarize the results.

In LFP1, students perform the following tasks of the project,

1. students identify an organization to conduct human resource development, organizational development, and leadership development.
2. students identify academic frameworks for implementing human resource development, organizational development, and leadership development through a review of previous research.
3. students determine the general framework for a specific implementation plan for human resource development, organizational development, and leadership development.
4. students establish valid and reliable methods for measuring the effectiveness of human resource development, organizational development, and leadership development.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：LFP1 キックオフ 1
- 2回：LFP1 キックオフ 2
- 3回：途中経過報告とフィードバック 1
- 4回：途中経過報告とフィードバック 2
- 5回：途中経過報告とフィードバック 3
- 6回：途中経過報告とフィードバック 4
- 7回：LFP1 中間発表 1
- 8回：LFP1 中間発表 2
- 9回：途中経過報告とフィードバック 5
- 10回：途中経過報告とフィードバック 6
- 11回：途中経過報告とフィードバック 7
- 12回：途中経過報告とフィードバック 8
- 13回：LFP1 最終発表 1
- 14回：LFP1 最終発表 2

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

授業内の時間は、主としてプロジェクトの途中経過の報告と当該報告に対するフィードバックおよび研究相談に用いられる。このため、プロジェクトの実質的な活動は、原則として授業時間外に行うことになる。

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合：100% 途中経過報告:30% 中間発表:30% 最終発表:40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

**テキスト / Textbooks**

なし

**参考文献 / Readings**

各受講生のプロジェクト・テーマに応じて適宜指示する。

**その他 / Others**

・13回～14回：対面 左記以外：オンライン

**注意事項**

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

## リーダーシップファイナル・プロジェクト 2

### Leadership Final Research Project 2

石川 淳／中原 淳／佐々木 宏／館野 泰一／田中 聡／藤澤 広美／細田 雅洋／村嶋 美穂 (ISHIKAWA JUN/  
NAKAHARA JUN/ SASAKI HIROSHI/ TATENO YOSHIKAZU/ TANAKA SATOSHI/ FUJISAWA HIROMI/  
HOSODA MASAHIRO / MURASHIMA MIHO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KM811
授業形態：	オンライン（一部対面）
授業形態（補足事項）	オンライン
校地：	池袋
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	MBU6010
使用言語：	日本語
授業形式：	その他
履修登録方法：	自動登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	「リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト研究1」の単位を修得していなければならない。
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

### 授業の目標 / Course Objectives

リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト（LFP）は、大学院生ひとりひとりが、大学院での学修の集大成として取り組むプロジェクト探求である。当該プロジェクトの遂行を通じて以下を達成することを目標とする。

1. 実際の現場で人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を実行することを通じて、実践力・課題解決力を獲得する。
2. これまでのカリキュラムで学んだ経営学の知識、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発の手法、各種専門的概念を統合する。
3. リーダーシップ開発コース修了後のキャリアについて学生が省察を深める。

The Leadership Final Project (LFP) is a project exploration that each graduate student undertakes as the culmination of his or her graduate studies. This course aims for students to achieve the following through the

execution of this project,

1. students acquire practical skills and problem-solving abilities through the implementation of human resource development, organizational development, and leadership development in actual workplaces.
2. students integrate the knowledge of business administration, methods of human resource development, organizational development, and leadership development, and various professional concepts learned in the curriculum to date.
3. students deepen their reflections on their careers after completing the leadership development course.

### 授業の内容 / Course Contents

ひとりひとりの学生がクライアント組織を探し、そこに対して人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を行い、その成果をまとめる。LFP2 では、プロジェクトのうち以下を実施する。

1. 先行研究のレビューを通じて、人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を実施するための学術的なフレームワークを完成させる。
2. 実施する人材開発・組織開発・リーダーシップ開発について、妥当性及び信頼性が高い効果測定を確立する。
3. 人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を実施する組織を確定する。
4. 人材開発・組織開発・リーダーシップ開発の具体的な実施計画の大枠を決定する。
5. 実際に人材開発・組織開発・リーダーシップ開発をクライアント組織に実行する。
6. 自らが実践した人材開発・組織開発・リーダーシップ開発を評価する。
7. 総括的評価をもとに、プロジェクト報告書を執筆し、成果発表を行う。

Students identify a client organization, conduct human resource development, organizational development, and leadership development for that organization, and summarize the results.

In LFP2, students perform the following tasks of the project,

1. students complete the academic framework for implementing human resource development, organizational development, and leadership development through a review of previous research.
2. students establish valid and reliable measures of effectiveness for the human resource development, organizational development, and leadership development to be implemented.
3. students identify the organizations that they will implement human resource development, organizational development, and leadership development.
4. students determine the general framework of the specific implementation plan for human resource development, organizational development, and leadership development.
5. students actually implement human resource development, organizational development, and leadership development in the client organization
6. students evaluate the human resource development, organizational development, and leadership development that they have implemented.
7. students write a project report based on the summative evaluation and present the results.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：LFP2 キックオフ 1
- 2 回：LFP2 キックオフ 2
- 3 回：途中経過報告とフィードバック 1
- 4 回：途中経過報告とフィードバック 2
- 5 回：途中経過報告とフィードバック 3



- 6回：途中経過報告とフィードバック 4  
 7回：LFP2 中間発表 1  
 8回：LFP2 中間発表 2  
 9回：途中経過報告とフィードバック 5  
 10回：途中経過報告とフィードバック 6  
 11回：途中経過報告とフィードバック 7  
 12回：途中経過報告とフィードバック 8  
 13回：LFP2 最終発表 1  
 14回：LFP2 最終発表 2

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業内の時間は、主としてプロジェクトの途中経過の報告と当該報告に対するフィードバックおよび研究相談に用いられる。このため、プロジェクトの実質的な活動は、原則として授業時間外に行うことになる。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 途中経過報告:20% 中間発表:40% 最終発表:40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

なし

### 参考文献 / Readings

各受講生のプロジェクト・テーマに応じて適宜指示する。

### その他 / Others

- ・13回～14回：対面 左記以外：オンライン

### 注意事項

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# データアナリティクス演習

Seminar in Data Analytics

データアナリティクス演習

山口 和範/田中 聡/廣川 佳子 (YAMAGUCHI KAZUNORI/ TANAKA SATOSHI/ HIROKAWA KEIKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KM812

授業形態： オンライン（一部対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 4

科目ナンバリング： MBU5010

使用言語： 日本語

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

- 人材開発・組織開発・リーダーシップ開発にまつわる調査を実施・分析するための基礎的概念について理解を深めること
- 調査および施策の評価を行うために、統計ソフトに習熟すること
- 実データを分析・レポートしながら、データアナリティクスにまつわる実践知を獲得すること

The objectives of this course is as follows:

- To understand basic concepts of statistical analysis and quantitative research methods on human resource development, organizational development, and leadership development.
- To become familiar with statistical software to conduct surveys and evaluate salient measures.
- To gain practical knowledge regarding data analytics while analyzing and reporting on actual data.

## 授業の内容 / Course Contents

統計分析編（1～12）：統計・データアナリティクスに関する基礎的概念・手法を学ぶ

調査編（13～16）：調査設計の実習を通じて、データアナリティクスの実践知を獲得する

分析実習編（17～28）：実データの分析演習を通じて、データアナリティクスの実践知を獲得する

This course deals with the following:

Part 1 (1–12): students are expected to learn basic concepts and methods related to statistics and data analysis.

Part 2 (13–16): students are expected to practice data analysis and building a research design.

Part 3(17–28): students are expected to gain practical knowledge of data analytics through data analysis practice.

### 授業計画(授業計画数：28) / Course Schedule

1回：ガイダンス：学習目標・講義の進め方・評価基準

2回：今なぜ「ひとと組織の領域」にデータアナリティクスなのか？

データアナリティクスの目的・活用イメージ・限界

3回：統計基礎：記述統計の基本

[講義] 度数分布、散布図、(多重)クロス集計、相関分析 (SPSS 利用)

4回：統計基礎：推測統計の基本

[講義] 統計的推定と仮説検定

5回：統計基礎：多変量解析の基本

6回：統計基礎：多変量解析の基本

7回：統計基礎：多変量解析の基本

8回：統計基礎：多変量解析の基本

9回：統計基礎：多変量解析の基本

10回：統計基礎：多変量解析の基本

11回：理解度確認テスト (個人)

12回：中間振り返り※休講セッション (オンデマンド視聴分)

※個別相談・質問用

13回：調査法：介入効果の測定/アンケート作成/調査法の基本

14回：調査法：介入効果の測定/アンケート作成/調査法の基本

15回：調査法：HRD・OD クライアントワークのFB (予定) /心理尺度と因子分析

16回：調査法：HRD・OD クライアントワークのFB (予定) /心理尺度と因子分析

17回：SPSS 演習

データセットの作成、度数分布、記述統計、相関分析

18回：SPSS 演習

データセットの作成、度数分布、記述統計、相関分析

19回：SPSS 演習

因子分析、下位尺度の作成、信頼性係数、 $\chi^2$  検定

20回：SPSS 演習

因子分析、下位尺度の作成、信頼性係数、 $\chi^2$  検定

21回：SPSS 演習

t検定、分散分析、回帰分析、中間発表の準備

22回：SPSS 演習

t検定、分散分析、回帰分析、中間発表の準備

23回：中間発表に向けた準備

24回：中間発表/振り返り

- 25 回：分析演習（グループワーク）（予定）  
 26 回：分析演習（グループワーク）（予定）  
 27 回：分析実習：最終プレゼンテーション（予定）  
 28 回：全体振り返り

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

データアナリティクスに関する基礎的な知識の習得を目的として、講義内容に関連する動画を事前に視聴していただくことがある。また、授業後に適宜、学習内容に関連する課題を提示し、グループ・個人単位で取り組んでいただくことがある。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 出席状況・授業への参加態度:30% 提出課題の内容:30% 最終プレゼンテーションの内容:40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

特に指定しない

### 参考文献 / Readings

授業の初回に提示する

### その他 / Others

一部、対面授業回を実施する可能性あり（ただし、その場合もオンラインでの受講可）

- ・ 11 回～12 回、27 回～28 回：対面 左記以外：オンライン

### 注意事項

- ・ 本科目担当教員は、5 年以上の実務経験を有する。
- ・ 本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・ 双方向による授業の割合は全授業回数の 50% 以上である。

# リーダーシップ・ウェルカム・プロジェクト

## Introduction to Leadership Project

石川 淳／中原 淳／佐々木 宏／山口 和範／藤澤 広美／田中 聡 (ISHIKAWA JUN/ NAKAHARA JUN/ SASAKI HIROSHI/ YAMAGUCHI KAZUNORI/ FUJISAWA HIROMI/TANAKA SATOSHI)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KM821
授業形態：	オンライン（一部対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	池袋
学期：	春学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	MBU5010
使用言語：	日本語
授業形式：	その他
履修登録方法：	その他登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

## 授業の目標 / Course Objectives

- リフレクションやフィードバックなど人材開発・組織開発に必要な概念を、異種混交チームでの課題解決を通して学ぶこと
- 倫理的側面に配慮しながら、学習効果の高いオンラインワークショップの開発ができるようになること
- 異種混交チームでの課題解決プロセスをリフレクションしながら、セルフアウェアネス（自己認識）を高め、自己のリーダーシップ課題を明確化すること
- リーダーシップ開発コースのカリキュラムマップを学び、かつ、リーダーシップ開発コースの大学院生としてのアイデンティティを確立すること
- ZOOM など
  - Students will learn concepts necessary for human resource and organizational development, such as reflection and feedback, through problem solving in heterogeneous teams
  - Students will be able to develop online workshops with high learning effectiveness while taking into consideration ethical aspects.

3. students will increase their self-awareness and identify their own leadership challenges while reflecting on the problem-solving process in interdisciplinary teams
4. students learn the curriculum map for the Leadership Development course and establish their identity as graduate students in the Leadership Development course
5. Students become proficient in online tools such as ZOOM and acquire the skills to teach effectively online.

### 授業の内容 / Course Contents

本授業では、4月に入学した新大学院生が、4-5人程度で1つのチームを組み、チームでの課題解決を3ヶ月かけて成し遂げる。課題は、下記のとおりである。

1. 2024年、民間企業が抱える人材課題を調査し、ひとつ決めよ！
  2. 1の介入対象者が90分で受講可能なオンラインワークショップを開発し、実施せよ！
- 3ヶ月の講義のあいだでは、1) 各回の授業、2) 中間成果報告会、3) 最終成果報告会において、受講生や教員などからフィードバックをもらう機会がある。フィードバックを糧にして最終成果報告会に向かう。中間成果報告会・最終成果報告会後は、経験学習型のリーダーシップ開発モデルにもとづき、チームリフレクションと受講生どうしの相互フィードバックを行うことで、それぞれの受講生が、個として、自らのリーダーシップ行動の補正を行う機会をもつ。

In this class, new graduate students who enroll in April will form one team of about 4-5 students and spend 3 months solving a team problem. The assignment is as follows.

1. Research and determine one human resource issue related to in the private sector in 2024!
2. Develop and implement an online workshop that can be taken in 90 minutes by the target audience of intervention 1!

During the three-month course, there will be opportunities to receive feedback from students and faculty at 1) each class session, 2) the mid-term results debriefing session, and 3) the final results debriefing session.

Feedback will be used as a springboard for the final results debriefing.

After the interim and final debriefing sessions, each student will have the opportunity to correct his or her own leadership behavior through team reflection and peer feedback based on the experiential learning leadership development model.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：キックオフ
- 2回：人材会開発とは何か
- 3回：進捗報告とフィードバック (1)
- 4回：ワークショップデザイン
- 5回：進捗報告とフィードバック (2)
- 6回：リーダーシップ開発のとフィードバックの効用
- 7回：中間成果報告会
- 8回：リーダーシップ開発 (1)
- 9回：ブラッシュアップ 1on1
- 10回：ゼミナール
- 11回：オンラインティーチング (1)
- 12回：オンラインティーチング (2)
- 13回：最終成果報告：Rikkyo Workshop Collection 2024

## 14回：リーダーシップ開発（2）

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

チームで課題解決するためのプレゼンテーション準備、ディスカッションを必要とする。

これに加えて、個人課題が課される。

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合：100% 最終プレゼンテーション:40% 課題:40% グループワークへの参加状況:20%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

中原淳 『研修開発入門』 ダイヤモンド社 2016

坂田哲人・中田正弘・村井尚子・矢野博之・山辺恵理子 『リフレクション入門』 学文社 2019

森雅浩（2020）企画とプログラムデザイン．中野民夫・浦山絵里・森雅浩（2020）

『看護のためのファシリテーション』．医学書院 pp82-138

**その他 / Others**

・6回～7回、14回：対面 左記以外：オンライン

**注意事項**

・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。

・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# ケースで学ぶリーダーシップ

## Case Studies in Leadership

実践の視点でリーダーシップを学ぶ

本間 浩輔 (HOMMA KOUSUKE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KM851

授業形態： 対面（一部オンライン）

授業形態（補足事項） オンライン（一部対面）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MBU6200

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

本講義では、Kurt Lewin の There is nothing as practical as a good theory（よい理論ほど実践的である）という考え方のもと、参加者が教材をもとに経験や理論を通して、リーダーシップを実践するための理論や考え方を学ぶことを目指す。使用言語は日本語とする。

Based on Kurt Lewin's "There is nothing as practical as a good theory," this course aims for students to learn theories and ideas for practicing leadership through experience and theory based on the teaching materials. The language used is Japanese.

### 授業の内容 / Course Contents

ケースや動画教材をもとに、リーダーシップ現象を理解し、参加者の持論やアカデミックな理論と統合することにより、実践的なリーダーシップを習得する。

This course aims for students to learn practical leadership by understanding leadership phenomena based on cases and video materials and by integrating them with the theories and theories of participants.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule



- 1回：オリエンテーション
- 2回：リーダーシップ理論の概説
- 3回：ケース（1）星野佳路さんのリーダーシップ
- 4回：ケース（1）の解説
- 5回：ケース（2）組織変革の危険性の落とし穴①
- 6回：ケース（2）組織変革の危険性の落とし穴②
- 7回：ケース（2）の解説
- 8回：ケース（3）調整 ※時代にあったリーダーシップの素材を検討中です
- 9回：ケース（3）の解説
- 10回：小さなリーダーシップの開発①
- 11回：小さなリーダーシップの開発②
- 12回：まとめ（1）
- 13回：まとめ（2）
- 14回：テスト

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

第5回の講義までにケース「組織変革の危険性の落とし穴」を熟読してくる。ケースは初回の講義までに配布する。

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 討議への貢献:40% 振り返りの内容と貢献:20% 最終テスト割合：:40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

参考文献は授業内で指定する

#### その他 / Others

講義の内容は、授業計画に示した内容が主となるが、その順番は状況によって変更される可能性がある。また、参加者は毎講義後、24時間以内に振り返りを kintone に投稿する（詳細は第1回の講義で説明する）いかなる理由があっても、3割以上欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意のこと。

本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する実務家教員による授業である。加えて、主にグループ討議のサポートを目的として、ヤフー社の人事担当社員がアシスタントとして参加する。

・7回～14回：対面 左記以外：オンライン

#### 注意事項

・本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。

・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業

を展開する。

- ・ 双方向による授業の割合は全授業回数の 50%以上である。

# 医療とリーダーシップ

Leadership in Medicine

保田 江美 (YASUDA EMI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM852  
授業形態： オンライン（全回オンライン）  
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU6200  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

高信頼性組織である保健・医療・福祉の領域での組織開発、チーム開発、人材開発、リーダーシップ開発のあり方を考える。

The objective of this course is to consider the approach to organizational development, team development, human resource development, and leadership development in the field of health, medicine, and welfare, which are high-reliability organizations.

## 授業の内容 / Course Contents

すでに学修してきた理論や概念を保健・医療・福祉の領域の視点で捉えなおす。  
授業は文献購読とディスカッションを中心に展開する。

In this course, we will reinterpret theories and concepts already studied from the perspective of health, medicine, and welfare. The classes will primarily involve reading literature and discussions.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：オリエンテーション
- 2 回：保健・医療・福祉の現場の特徴理解と学びの棚卸し①

- 3回：保健・医療・福祉の現場の特徴理解と学びの棚卸し②  
 4回：保健・医療・福祉の現場の特徴理解と学びの棚卸し③（発表）  
 5回：組織文化・組織風土  
 6回：組織開発  
 7回：チーム開発（1）  
 8回：チーム開発（2）  
 9回：人材開発（1）  
 10回：人材開発（2）  
 11回：リーダーシップ開発（1）  
 12回：リーダーシップ開発（2）  
 13回：授業全体の振り返り  
 14回：まとめ（発表）

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

各回のテーマに関連した文献を検索し、購読したうえで資料にまとめてくる。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業への参加態度:20% 各回の作成資料の内容（質）:40% 最終レポート割合 :40%

いかなる理由があっても、3回以上欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

適宜、紹介する

### 学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

オンラインでの講義が可能となる機器（PC、Webカメラ、マイク等）

### その他 / Others

#### 【受講上の前提条件】

過去または現在、保健・医療・福祉の現場での何かしらの実践、実務経験を有すること

### 注意事項

- ・本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。
- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である

# 戦略的人事実務論

Strategic Personnel Practice

櫻井 功 (SAKURAI ISAO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KM853
授業形態：	オンライン（全回オンライン）
授業形態（補足事項）	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可
校地：	池袋
学期：	秋学期他
単位：	2
科目ナンバリング：	MBU6200
使用言語：	日本語
授業形式：	講義
履修登録方法：	その他登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	パーソルグループ寄附講座

## 授業の目標 / Course Objectives

最新の人事実務を実例に基づき体系的に学ぶ

Systematically learn the latest HR practices based on actual cases.

## 授業の内容 / Course Contents

現代・将来の人事機能の在り方を次の諸点の学習を通じて持論化できる人材を育成する。

- 等級・評価・報酬・能力開発などの個々の人事施策の役割と相互の関係を体系として把握しつつ、個々の施策が実務においてどのような効果を期待されて実装され運用されているかを、事例などを通じて理解する。
- 日本型雇用／ジョブ型雇用、働き方改革、女性・シニア活用など、現代の人事領域課題の背景や施策を実務面から理解する。
- 人材・組織開発などが現場においてどのような施策として実装されているか、また課題やチャレンジは何かを事例をもって理解する。
- 人的資本開示、ウェルビーイング経営、健康経営、HR テック、生成 AI など、人事が直面する新しい課題を理解し、これからの人事部門の在り方を考える。

Develop HR professionals who are able to make a theory about the present and future of the human resources function through the study of the following points.

- (1) Understand the roles and interrelationships of individual HR policies such as job grading, appraisal, compensation, and skill development as a system, and to understand how each policy is implemented and operated with the expectation of its effectiveness in practice.
- (2) Understand the background and measures of contemporary HR field issues such as Japanese-style employment/job-based employment, work style reform, utilization of women and seniors, etc. from a practical perspective.
- (3) Understand how human resource/organizational development and other measures are implemented in the field, and what the challenges and issues are, with case examples.
- (4) Understand new issues facing HR, such as human capital disclosure, wellbeing management, health management, HR Tech, and generative AI, and consider the future of the HR department.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：イントロダクション：この授業の目的・心構え、自己紹介、受講生からの授業への期待  
戦略人事論 1：人事を取り巻く環境変化～人口動態、人手不足、労働者の意識、法制度
- 2 回：戦略人事論 2：「人事」とは何か、人事機能の戦略的位置づけ、人材戦略／人事戦略の構築、企業事例
- 3 回：人事制度概論：企業戦略と人事制度のマッチング、職能資格／職務等級／役割等級の違い、日本型雇用とは
- 4 回：人事機能論 1：等級制度（制度設計と運用、日本型雇用が日本社会にもたらしたもの）
- 5 回：人事機能論 2：評価制度（評価手法と運用、新しい取り組み）
- 6 回：人事機能論 3：報酬制度（報酬の理論とトレンド、制度設計/運用）
- 7 回：人事機能論 4：人材・組織開発（育成理論、キャリア開発/CDP、育成ロードマップ、研修開発）採用戦略（人員計画・戦略立案）
- 8 回：前半授業の振り返り、ディスカッション  
中間テスト
- 9 回：人事データ活用論：ピープルアナリティクス・HR Tech の人事施策への応用
- 10 回：人事リスクマネジメント論：人事労務リスク管理、就業規則の意味
- 11 回：グローバル人事：多国籍企業の人材マネジメント、日本企業におけるグローバル人事導入
- 12 回：人事のウェルビーイング経営：人的資本開示、幸福経営、健康経営、DE&I
- 13 回：【最終講義】 生成 AI の人事領域への応用の進化と人事の未来
- 14 回：最終テスト

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

準備学習の指示は必要に応じて授業内あるいは Kintone を通じて行うので、各自確認の上準備して授業に臨むこと

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 中間テスト:40% 授業貢献度（相互評価）:20% 最終テスト割合 :40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

守島基博 『人材マネジメント入門』 日本経済新聞出版 2004/2/14 9784532110017

守島基博・藤村博之他 『人事の潮流－人と組織の未来像』 経団連出版 2015/9/10 9784818515055

海老原嗣生・荻野進介 『人事の成り立ち』 白桃書房 2018/10/26 9784561227175

HRM 研究会 『ジョブ型vメンバーシップ型』 中央経済社 2022/5/10 9784502420214

渡邊雅裕 『「いい会社」はどこにある』 ダイヤモンド社 2022/11/29 9784478116784

人事実務経験の少ない／無い履修者は授業までに以下の本に目を通しておくことを推奨する。

1. 『人事担当者が知っておきたい10の基礎知識。8つの心構え（基礎編）』 ISBN 9784845203116
2. 『人事担当者が知っておきたい8の実践策、7つのスキル（ステップアップ編）』 ISBN 9784845203215

ともに労務行政研究所編

**履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course**

より良い・強い組織を作ることに対する興味や強い欲求

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

PC、ネットワーク環境

**その他 / Others**

・授業は1日に2コマ続けて実施する。またコマ間の休み時間は進度に応じタイミグ・時間が変動することがある。

・グループディスカッションや質疑応答を多数実施する。相互評価もあるため積極的な議論への参加を期待する。

・シラバスにある授業の順番と内容は、受講生のレベルや習得状況、授業の進度により変更する場合がある。また時間との兼ね合いで授業内容が一部次の会にまで伸びることがある。

**注意事項**

・本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。

・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。

・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# リーダーシップの理論

Leadership Theory

石川 淳 (ISHIKAWA JUN)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM854  
授業形態： オンライン（全回オンライン）  
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU6200  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

効果的なリーダーシップ開発を行うために必要となるリーダーシップ理論の知識を身につけ、これらの理論を実務に応用するためのスキルを身につけることを目的とする。この目的を達成するために、具体的に以下を目標とする。

- リーダーシップに関わる学術文献を読みこなし、かつ、他者へ説明することができる力を身につける。
- 主要なリーダーシップ理論を理解し、当該理論を用いて実際の課題に対する解決方法を提案できる力を身につける。

This course aims for students to acquire knowledge of leadership theories necessary for effective leadership development and to acquire skills for applying these theories in practice.

In order to achieve this objective, the following specific goals are set.

- Students acquire the ability to read academic literature related to leadership and to explain it to others.
- Students understand major leadership theories and to acquire the ability to propose solutions to actual problems using these theories.

## 授業の内容 / Course Contents



文献レビューによって、実践的なスキルの理論的なフレームワークを作成するために必要となる基礎的な知識を身につける。また、文献ディスカッションを通じて問題意識を明確化し、思考力を深め、実践的スキルを磨く。

Through literature review, students acquire the basic knowledge needed to create a theoretical framework for practical skills. In addition, through literature discussion, students clarify their awareness of problems, deepen their thinking, and hone their practical skills.

#### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：イントロダクション
- 2回：古典的なリーダーシップ研究
- 3回：変革型リーダーシップ1
- 4回：変革型リーダーシップ2
- 5回：サーバント・リーダーシップ1
- 6回：サーバント・リーダーシップ2
- 7回：オーセンティック・リーダーシップ
- 8回：倫理的リーダーシップ
- 9回：温情主義的リーダーシップ
- 10回：LMX理論
- 11回：暗黙的リーダーシップ理論
- 12回：シェアド・リーダーシップ1
- 13回：シェアド・リーダーシップ2
- 14回：授業内テスト

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、授業の事前準備として以下が求められる。

- 1) 指定された書籍・論文を読み込んでくる。
- 2) 指定された書籍・論文の要点およびディスカッションを PPT にまとめてくる。

担当となった回において、以下のいずれかが求められる。

- 1) 指定された書籍について PPT を作成し、クラス内にて他の学生に説明できるよう準備をする。
- 2) 指定された論文について、レジュメを作成する。また、当該レジュメをもとに行うディスカッションのファシリテーションを行う準備をする。

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業内テスト:40% 各回で求められる課題:40% 授業内発言:20%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

#### テキスト / Textbooks

初回授業時に提示する。

### **参考文献 / Readings**

---

初回授業時に提示する。

### **注意事項**

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の 50%以上である。

# キャリアとリーダーシップ論

Career and Leadership

藤澤 広美 (FUJISAWA HIROMI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM855  
授業形態： オンライン（全回オンライン）  
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU6200  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本授業は、キャリアの心理学的理論やアプローチの学習と自身の体験を語る活動を通して、大学院での学びと修了後のキャリアについて省察を深め、LDC 修了者としての次のステップを見出していくことを最終的な目的とする。そのために具体的に以下を目標とする。

- キャリアの概念や成人のキャリア発達について基本的な理解を得る
- キャリア理論の視点から自己および支援対象者に対する理解を深める
- 修了後のキャリアについて展望を持ち、具体的なアクションプランを策定する

The objective of this course is to find the next step as a graduate of the Leadership Development Course. To that end, we will deepen our reflection on graduate school learning and careers after graduation by learning the theory and approach of career psychology and talking about our own experiences. To achieve this objective, to set the specific following aims.

- Gain a basic understanding of career concepts and adult career development.
- Deepen understanding of yourself and the people you support from the perspective of career theory.
- Have an outlook on your career after graduation and formulate an action plan.

**授業の内容 / Course Contents**

理論編：キャリアの心理学的理論やアプローチについて学ぶ。理解を深めるために、受講生による発表やディスカッション等を取り入れる。

演習編：ラウンドテーブルやキャリアインタビュー等の演習を通じて以下を行う。また、成果をプレゼンテーションし、相互にフィードバックを行う。

- 1.これまでの実践から、キャリアとリーダーシップを振り返る
- 2.キャリア理論の視点から自己および支援対象者を捉え直し、理解を深める
- 3.修了後のキャリアに対する展望を持ち、具体的なアクションプランを策定する

Theory: Learn about career psychological theories and approaches. Include presentations, discussions, and individual work for understanding.

Exercise: The following efforts will be carried out through exercises such as roundtables and career interviews.

Then, give a presentation about the results and give feedback to each other.

- 1.1. Reflect on your career and leadership from past practice.
- 2.Rethink and deepen your understanding of yourself and the people you support from a career theory perspective.
- 3.Have a perspective on your career after graduation and make a concrete action plan.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1回：オリエンテーション
- 2回：キャリアとリーダーシップ
- 3回：自己を知る (1)：実践を語る/プロセスを聞く①
- 4回：自己を知る (2)：実践を語る/プロセスを聞く②
- 5回：キャリアの理論 (1)：キャリア発達に関する理論等
- 6回：キャリアの理論 (2)：意思決定、トランジションに関する理論等
- 7回：キャリアの理論 (3)：組織内キャリア発達に関する理論等
- 8回：キャリアの理論 (4)：キャリアの理論・アプローチを俯瞰する
- 9回：自己を知る (3)：キャリアとリーダーシップを振り返る①
- 10回：自己を知る (4)：キャリアとリーダーシップを振り返る②
- 11回：プランニング (1)：修了後のキャリアとリーダーシップを考える①
- 12回：プランニング (2)：修了後のキャリアとリーダーシップを考える②
- 13回：プレゼンテーション：アクションプラン宣言と相互フィードバック
- 14回：まとめ：統合する

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート : ○
実技・実習・実験	:	○	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク :
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

- 1.講義内容に関連する個人課題に取り組む。
- 2.演習の事前準備として、個人の実践やキャリアを振り返り、資料等を作成する。  
演習後に演習での体験について省察し、レポートを作成する。

- 3.最終プレゼンテーションに向けて準備を行う。
- 4.授業での学びや気づきを踏まえて最終レポートを作成する。

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業における参加態度:30% 課題提出の状況:40% 最終レポート割合 :30%  
いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

**テキスト / Textbooks**

渡辺三枝子（編）『新版 キャリアの心理学（第2版）』ナカニシヤ出版 2018 9784779512940 -  
理論編では上記書籍をテキストとする。

**参考文献 / Readings**

ウィリアム・ブリッジズ他 『トランジション:人生の転機を活かすために』パンローリング 2014  
9784775941225

岡本祐子 『アイデンティティ生涯発達論の展開』ミネルヴァ書房 2007 9784623048755

発表担当になった場合は上記書籍を購読する必要がある。

その他の文献は適宜提示する。

**その他 / Others**

- ・本科目は、講義に続いて受講生によるプレゼンテーション、クラスあるいはグループ単位でのディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# 質的研究法

Qualitative Research Methods

質的研究法/Qualitative Research Methods

伊勢坊 綾/藤澤 広美 (ISEBO AYA/ FUJISAWA HIROMI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KM857

授業形態： オンライン（全回オンライン）

授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MBU6210

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

- 量的・質的研究にまつわる認識論・方法論的違いを理解する
- 質的研究のデータ取得手法として、インタビューを実践し、分析する
- 自己のプロジェクト遂行のために、質的研究がどのように活用できるかを考察する

The objectives of this course are as follows:

- To understand the epistemological and methodological differences between quantitative and qualitative research.
- To practice interview as a method of data acquisition for qualitative research and to analyze the data.
- To consider how qualitative research can be used to pursue one's own projects.

## 授業の内容 / Course Contents

理論編（1～6）：質的研究に関する基礎的概念・手法を学ぶ

実践編（7～14）：研究をデザインし、質的研究を実践する

This course deals with the following:

Part 1 (1-6): students are expected to learn basic concepts and methods related to qualitative research.

Part 2 (7-14): students are expected to design a research and practice qualitative research.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：ガイダンス：学習目標・講義の進め方・評価基準
- 2回：量的・質的研究の違い、質的研究の基本的な考え方
- 3回：質的調査のデータ収集、データ収集における姿勢
- 4回：インタビュー調査の基本的知識
- 5回：質的データを扱った論文購読
- 6回：質的データ分析の手続きに関する論文購読
- 7回：インタビューガイドの作成
- 8回：データ分析①ガイド確認、データ収集状況・文字起こし状況確認
- 9回：データ分析②分析実習
- 10回：データ分析③分析実習
- 11回：データ分析④分析実習
- 12回：分析結果の発表①
- 13回：分析結果の発表②
- 14回：まとめ

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク
上記いずれも用いない予定	：					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

質的データの収集は授業時間外に行うこととする。データ分析も授業時間外に行う可能性が高いため、時間の確保に努めること。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 出席状況・授業への参加態度、発表資料及び分析経過報告資料:70% 最終レポート割合：30%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

特に指定しない。

なお、授業で発表してもらう論文は Kintone で配布する。

### 参考文献 / Readings

適宜紹介する。

### その他 / Others

オンデマンド配信日及び論文配布日は、kintone 上で連絡する。

### 注意事項

- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の 50%以上である。



# チームワーク論

Teamwork Theory

チームワーク論

田中 聡 (TANAKA SATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KM862

授業形態： オンライン（全回オンライン）

授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可

校地： 池袋

学期： 秋学期 2

単位： 2

科目ナンバリング： MBU6200

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

チームワークに関する基礎理論・基礎知識について理解を深めること

This course aims for students to acquire the basic theory and fundamental knowledge about teamwork.

## 授業の内容 / Course Contents

チームやチームワークに関する基礎理論・基本的概念について理解を深める。さらに、関連する先行研究、学術的理論をもとに、受講生同士でディスカッションをしながら効果的なチームワークのあり方について実践的に理解する。

In the first part of this class, students are expected to learn the basic theory and fundamental knowledge related to teams and teamwork. Students will read relevant literature and discuss it. Furthermore, students are expected to learn a practical knowledge of effective teamwork behavior based on relevant previous research and academic theories.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：イントロダクション

チームとは、チームワークの重要性

2回：チームワーク経験の振り返りとチームワーク持論の抽出

3回：チームに関連する基礎理論

社会心理学の理論・先行研究・グループダイナミクスの理論

4回：チームに関連する基礎理論

集団の性質、チームワークのフレームワーク

5回：チームワークの前提条件：メンバー編成

メンバーのパーソナリティ・能力・多様性など

6回：チームワークの前提条件：リーダー特性

リーダーのパーソナリティ・リーダーシップ行動など

7回：チームワークの行動的側面①：目標管理

目標管理論・モチベーション理論など

8回：チームワークの行動的側面②：タスク遂行

社会的手抜き、集団浅慮、集団的意思決定など

9回：チームワークの行動的側面③：相互フィードバック

相互フィードバックなど

10回：チームワークの行動的側面④：全体振り返り

11回：チームワークの態度的側面

心理的安全性・相互信頼性・集団凝集性

12回：チームワークの認知的側面

共有メンタルモデル・トランザクティブメモリー

13回：チームマネジメント手法／バーチャルチームと対面チーム

14回：授業全体の振り返り

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業後に適宜、学習内容に関連する課題（英語論文の購読を含む）を提示し、チームおよび個人単位で取り組んでいただくことがある。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 出席状況・授業への参加態度:50% 提出課題の内容[複数回]:50%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト / Textbooks

適宜授業内で指示する

### 参考文献 / Readings

授業初回で指示する

**注意事項**

- ・本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。
- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# 人材開発・組織開発実践論

Practice of Human Resource and Organization Development

人材開発・組織開発実践論<Practice of Human Resource and Organization Development>

齊藤 光弘 (SAITO MITSUHIRO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KM863

授業形態： オンライン（全回オンライン）

授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MBU6200

使用言語： 日本語

授業形式： 講義

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本授業は、「組織開発の取り組みにおいて、効果的な介入を行うために必要となる実践的なマインドやスキル、知識を習得することで、受講生がよりフットワークよく各自の現場に対して、必要なアクションに取り組めるようになること」を目的としている。

The aim of the course is "to equip participants with the practical mindset, skills and knowledge required to deliver effective interventions in organization development initiatives, enabling them to take the necessary action in their own settings with greater footwork".

## 授業の内容 / Course Contents

本授業を通じて、「定量的な調査に基づく組織診断の情報」をもとに、「組織/チームの状態を観立る」、「必要な介入手法を選択し、実行する」といった、組織開発の一連のプロセスを体感することを意識している。教科書的な知識（理論）は抑えつつも、「実際に組織開発のプロジェクトを展開する」という状況において、実践者としてどの様に思考し、各アクションを実行していくのかについて、より現場感のある形で検討を深める。

また、授業において、組織開発に関する社内実践者をゲストとして招き、実際に組織開発を進める上での要諦

についても話を伺う。受講生は、各自が想定する現場と紐づけながら、実践的な知恵を獲得することが期待される。

Specifically, the course is designed to take the students through a series of processes in organization development, such as assessing the state of the organization/team based on information from a quantitative survey-based organizational diagnosis, and selecting and implementing the necessary interventions. In this course, you will learn how to think as a practitioner and how to implement each action in the actual situation of developing an organization development project.

In addition, we will invite internal practitioners of organization development as guest in the class, and hear his/her perspectives on how to proceed with organization development. Students are expected to gain practical wisdom by linking the course to their own situations.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：・オリエンテーション  
・受講者の自己紹介
- 2 回：・組織開発実践者/ 支援者としてのマインドの深堀
- 3 回：・組織診断ツールの活用における留意点 (1)
- 4 回：・組織診断ツールの活用における留意点 (2)
- 5 回：・組織の状態の観立て方 (1)
- 6 回：・組織の状態の観立て方 (2)
- 7 回：・ゲスト講義：組織開発の内部実践者のストーリー
- 8 回：・授業の中間振り返り
- 9 回：・介入手法に実践ワーク (1)
- 10 回：・介入手法に実践ワーク (2)
- 11 回：・介入手法に実践ワーク (3)
- 12 回：・介入手法に実践ワーク (4)
- 13 回：・組織開発実践者としての自分自身の恐れや不安との向き合い方
- 14 回：・授業の最終振り返り

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド (パワポ等) の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

- ・各回の授業に関する基本的な説明については、授業前に 20～30 程度の動画を共有する。受講生は、反転学習を意識しながら、動画を視聴し、自身の考え方や疑問点をまとめた上で、授業に参加することが求められる。
- ・授業後、20 分程度の振り返りシートの作成も求められる。
- ・授業回によっては、事前課題への対応が求められる。特に、授業 3・4「組織診断ツールの活用における留意点」の事前課題作成で、受講生の SPSS の習熟度によっては長めの準備時間確保が必要になる可能性がある (授業内で詳しく説明する)。

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 中間レポート:30% 振り返りシート（毎回）:20% 平常点:20%  
割合 :30%

最終レポート

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

### テキスト/ Textbooks

### 参考文献 / Readings

エドガー・H・シャイン 『プロセス・コンサルティング』 白桃書房 2012  
中原淳・中村和彦 『組織開発の探究』 ダイヤモンド社 2018  
中原淳 『サーベイ・フィードバック入門』 PHP 研究所 2020  
中村和彦 『入門 組織開発 生き活きと働ける職場をつくる』 光文社 2015  
中原淳 『人材開発・組織開発コンサルティング』 ダイヤモンド社 2023  
齊藤光弘・中原淳 編著 『M&A 後の組織・職場づくり入門』 ダイヤモンド社 2023

### 履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

- ・新しい知識やスキルに対する好奇心
- ・対話やグループワークに積極的に参加する姿勢とコミュニケーション力
- ・各回の学びを自分自身中でハラオチさせ、現場の実践とつなげられる内省力と行動力

### 学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

授業3・4「組織診断ツールの活用における留意点」において事前課題を作成するために、SPSSは使用します。

### その他/ Others

受講生として授業に参加することで、組織開発の一連のプロセスを体感できる授業構成を意識しています。事前学習や課題の作成等、決して楽な授業ではありませんが、その分、学びも大きくなるように、教員としてもできるだけ取り組みをしたいと思います。ご一緒できるのを楽しみにしています。

### 注意事項

- ・本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。
- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。

# マネジリアル・コーチング論

Managerial Coaching

永田 正樹 (NAGATA MASAKI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KM864  
授業形態： オンライン（全回オンライン）  
授業形態（補足事項） 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU6200  
使用言語： 日本語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

効果的な部下指導を行うために必要となるマネジリアル・コーチング理論の知識を身につけ、これらの理論を実務に応用するためのスキルを習得することを目的とする。

This course aims for students to acquire knowledge of managerial coaching theories necessary for effective subordinate coaching, and to acquire skills for applying these theories in practice.

## 授業の内容 / Course Contents

「マネジリアル・コーチング論」は、マネジリアル・コーチングに関する基礎知識を文献レビューの形で身につけ、ディスカッションを行う。また、マネジリアル・コーチングのロールプレイングを実施することにより、マネジリアル・コーチングの基礎的なスキルを理解する。

In Managerial Coaching Theory basic knowledge of managerial coaching will be acquired through literature review and discussion. In addition, role-playing of managerial coaching will be conducted in order to understand the basic skills of managerial coaching.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：オリエンテーション：マネジリアル・コーチングの概要

- 2回：マネジリアル・コーチングを組織に効果的に適用させるための臨床知  
 3回：マネジリアル・コーチング行動に関する基礎理論  
 4回：マネジリアル・コーチングの実践（ロールプレイ）  
 5回：マネジリアル・コーチングの成果に関する理論  
 6回：マネジリアル・コーチングの実践（ロールプレイ）  
 7回：心理的安全性に関する理論  
 8回：フィードバック面談（ロールプレイ）  
 9回：効果的な 1on1 の実践を体験する（企業の現場でどのように活用されているのか）  
 10回：効果的な 1on1 の実践を体験する（企業の現場でどのように活用されているのか）  
 11回：挑戦的課題の意味づけに関する理論  
 12回：フィード・フォワード面談（ロールプレイ）  
 13回：リフレクションに関する理論  
 14回：リフレクション面談（ロールプレイ）

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

グループでのプレゼンテーションに備え、文献を読み資料をまとめる必要がある。  
 また、授業で学んだことに関する振り返りレポートを提出する必要がある。  
 実践研究として、コーチングを試行することを推奨する。

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 振り返りレポート:40% プレゼンテーション:20% 最終レポート割合 :40%

いかなる理由があっても、授業の3割以上を欠席した場合は、自動的に単位取得ができなくなるので留意すること。

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

松尾睦 『経験学習リーダーシップ』 ダイアモンド社 2019

#### 注意事項

- ・本科目担当教員は、5年以上の実務経験を有する。
- ・本科目は、講義、受講生によるプレゼンテーション、受講生同士のディスカッションなど双方向形式で授業を展開する。
- ・双方向による授業の割合は全授業回数の50%以上である。



# Module 1

## Module1

### Conceptualization and Planning

デイヴィス, S / レートネン (DAVIS, SCOTT T. / LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN001

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位： 1

科目ナンバリング： MIB5011

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

Introduce students to creation and innovation processes within business, and the roles and competencies of the entrepreneur.

### 授業の内容 / Course Contents

This module is comprised of seven sessions (one class per session for a total of seven classes) and introduces a range of approaches used in the conceptualization of business ideas. These approaches include ideation, value creation, mission design, competitive context mapping, business model design and scenario planning.

### 授業計画(授業計画数：7) / Course Schedule

1 回： Introduction

2 回： Ideation: Creativity / Invention & Transformation / Improvement.

3 回： Value: Value creation and business - envisaging innovation and change.

4 回： Mission: Framing and identifying an opportunity.

5 回： Context: Mapping and analyzing a competitive terrain. Environmental analysis of economic, industry,

market forces and key trends.

6回：Model: Mapping core competencies and resource sets.

7回：Plan: Scenarios, milestones, obstacles and risks.

Please note: This course lasts for only seven sessions. There are no classes after the seventh session.

(This is the final class in module one)

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

To be announced.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Case presentations:25% Discussion participation:25% Final Presentation:50%

### テキスト / Textbooks

References to be announced in class.

### 参考文献 / Readings

References to be announced in class.

### 注意事項（検索結果画面）

9月期登録

# Module 2

## Module2

### Strategy in the International Business Context

西原 文乃 (NISHIHARA AYANO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN002

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MIB5011

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

#### 授業の目標 / Course Objectives

このコースでは、以下の点を身に着けることを目標とする：

- 1) 戦略の基礎となる複数の理論（しばしば相反する理論）についての知識を習得し、各理論の前提、可能性、限界についての洞察力。
- 2) 戦略上の問題を定義し、既存の理論を批判的に考察し、定義された問題に対する解決策を提案するために理論を適用するスキル。
- 3) 批判的、分析的、柔軟かつ創造的な思考を持ち、既存の組織、業界、国のパラダイムや問題解決の処方箋に挑戦する姿勢。

From this course, students will gain:

- 1) Knowledge of multiple, often conflicting, foundational theories of strategy that will help develop insight into the assumptions, possibilities, and limitations of each set of theories.
- 2) The ability to define strategic problems, critically reflect on existing theories, and apply theories to propose solutions to the defined problems.

3) A critical, analytical, flexible, and creative mindset that challenges existing organizational, industry, and national paradigms and problem-solving prescriptions.

### 授業の内容 / Course Contents

このコースでは、講義とケース・ディスカッションの組み合わせを通じて、戦略に関する基本的な理論を、クラスメンバーの国際的な文脈を活用しながら学ぶ。受講生は、自身の経験や知識を活かしてケース・ディスカッションに積極的に参加し、貢献することが求められる。また、理論や概念を実際の状況に適用できるよう、グループ・プレゼンテーションを数回行う。また、学習成果を確実にするために、事前課題とリアクションを課す。

The course will cover basic theories of strategy through a combination of lectures and case discussions, utilizing the international context of the class members. Students will be expected to actively participate and contribute to the case discussions using their own experience and knowledge. In addition, several group presentations will be assigned to help students apply the theories and concepts to an actual situation. Pre-assignments and reactions will also be given to ensure learning outcomes.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction: Learning Strategy with case method
- 2 回：Strategy as position
- 3 回：Strategy as resource
- 4 回：Strategy as learning
- 5 回：Strategy in international and global context today
- 6 回：Strategy as innovation
- 7 回：Strategy as transformation
- 8 回：Strategy in international and global context today
- 9 回：Guest Speaker
- 10 回：Strategy as vision
- 11 回：Strategy as narrative
- 12 回：Strategy in international and global context today
- 13 回：Guest Speaker
- 14 回：Final Presentation

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：○	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

Students are requested to read material or watch videos and do the pre-assignments before coming to the class, contribute to case discussions in class, and do the reactions after the class. Details are to be advised in class.

### 成績評価方法・基準(成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Contributions in class discussions:20% Pre-assignment, Reaction, and group presentations:30% Final Presentation:20% Final Individual Report:30%

**テキスト/ Textbooks**

Bob de Wit. Strategy: An International Perspective 7th ed. Cengage Learning EMEA 2020 1473765854 -

**参考文献 / Readings**

Mintzberg, H., Ahlstrand, B., & Lampel, J. B. Strategy safari Pearson UK. 2020 9780273719588

**履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course**

Be able to actively engage in and enjoy group work and class discussions.

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

Notebook PC or Tablet PC

**注意事項 (検索結果画面)**

9 月期登録

# Module 3

Module3

Market Analysis and Planning

辻 洋右 (TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN003

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MIB5011

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Upon completion of this course, students are expected to...

1. Successfully demonstrate an understanding of marketing principles and theories and their applications to business settings.
2. Be able to identify and critically analyze marketing problems,
3. Develop a creative strategy for solving marketing problems,
4. Provide written reports and oral presentations for these solutions

## 授業の内容 / Course Contents

Classes will be a combination of lectures & discussions. For each class, students should prepare with background readings. In addition, students are expected to actively participate in discussions. A detailed schedule will be provided at the beginning of the semester.

Below course schedule is tentative and is subject to change.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：Course introduction and background
- 2回：Marketing Strategy
- 3回：Case Study 1
- 4回：Marketing Environment
- 5回：Consumer Behavior
- 6回：Case Study 2
- 7回：Market Research
- 8回：Case Study 3
- 9回：Segmentation, Targeting, & Positioning
- 10回：Case Study 4
- 11回：Marketing Mix 1
- 12回：Case Study 5
- 13回：Group Presentations
- 14回：Group Presentations

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド*（パワポ*等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students should prepare well for the class (read assigned materials and cases).

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Participation:30% Group presentations:40% Individual reports:30%

#### テキスト / Textbooks

Reading materials will be posted via the e-learning system (Canvas). Other materials should be purchased through Harvard Business School Press website.

#### 参考文献 / Readings

TBA

#### その他 / Others

Above schedule is tentative and is subject to change.

#### 注意事項（検索結果画面）

9月期登録

# Module 4

Module4

Survey Methods and Quantitative Analysis

フォウラー (FOWLER RANDY)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN004

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MIB5011

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Students will master the fundamentals of survey techniques and statistical analysis in the business context, as well as understand the uses and limitations of survey research.

## 授業の内容 / Course Contents

Lectures will cover important topics on survey techniques and statistical analysis, including matching research design with ontology, designing questions and survey format, sampling and data collection, hypothesis testing, ANOVA, regression analysis, and factor analysis. Challenges such as survey error and nonresponse bias will also be discussed. Students will also have the opportunity to become acquainted with statistical analysis tools by trying them in class under instructor supervision. All students will apply what they have learned by undertaking a survey research project, writing up the results to submit as a final report, and presenting their progress in slide presentations at the midterm (discussing research design) and at the conclusion of the course (discussing the entire project including analysis and results).

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule



- 1回：Overview and Introduction  
 2回：Ontology, Purposes of Survey Research, Sampling  
 3回：Sampling Error; Nonresponse Bias  
 4回：Survey Questions  
 5回：Validity; Survey Design  
 6回：Survey Interviewing; Preparing Data for Analysis; Ethical Issues; Reporting Survey Research  
 7回：Midterm presentations of Research and Survey Design  
 8回：Midterm presentations of Research and Survey Design (II)  
 9回：Statistical Analysis  
 10回：Statistical Analysis (II)  
 11回：Regression Analysis  
 12回：Data Analysis Workshop  
 13回：Final Research Presentations (I)  
 14回：Final Research Presentations (II)

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students should review material before class, and come prepared to work on computer-based quantitative data analysis. Students will design and conduct a research project that involves the collection and analysis of data.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Midterm Research Presentation:30% Final Research Presentation:30% 最終  
 レポート割合 :40%

#### テキスト / Textbooks

None

#### 参考文献 / Readings

#### 注意事項 (検索結果画面)

9月期登録

# Module 5

Module5

Financial Analysis

岡本 紀明／千野 厚 (OKAMOTO NORIAKI/ CHINO ATSUSHI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN005  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB5011  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Provide participants with skills and knowledge to undertake financial analysis and valuation of a business project or company.

## 授業の内容 / Course Contents

This module is an introduction to financial accounting and financial decision making tools. After completing this module students should be:

- 1) familiar with corporate balance sheet, income statement, and statement of cash flows.
- 2) able to understand financial ratios as required by managers of a business operation.
- 3) familiar with the capital asset pricing model and weighted average cost of capital.
- 4) able to recognize the importance of DCF analysis in a business context such as mergers and acquisitions.

This is an intensive course. Students must be prepared to discuss reading (and other material) for each session.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Basic Concepts and Principles in Financial Accounting

- 2回：Balance Sheet
- 3回：Income Statement
- 4回：Statement of Cash Flows
- 5回：Short Term Financial Statement Analysis
- 6回：Long Term Financial Statement Analysis
- 7回：Presentations: Financial Statement Analysis
- 8回：Present/Future Values and NPV
- 9回：Bond Pricing and Yield to Maturity (IRR)
- 10回：Equity Pricing
- 11回：Free Cash Flow and Project Valuation
- 12回：WACC (Cost of Capital)
- 13回：Enterprise Valuation 1
- 14回：Enterprise Valuation 2

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド* (パワポ等) の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Detailed course outline will be posted on Canvas LMS. Notes will be made available on the web. Review notes, read text, and read cases before coming to class. You should also review your notes after each class.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Presentations and Assignments (Accounting):30% Test One (Accounting):20%  
Assignments (Finance):25% Test Two (Finance):25%

Students must earn a passing grade on the tests to pass the module.

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

Eugene Brigham, Joel Houston Fundamentals of Financial Management Engage Learning 2019  
978133790257

Brealey, Myers, Marcus Fundamentals of Corporate Finance McGraw Hill 2017 9781259722615

Brealey, Myers, Allen Principles of Corporate Finance McGraw Hill 2022 9781265074159

Akashi Hongo A Bilingual Introduction to Corporate Finance Chuo Keizai 2019 9784502302015

Kieso, Weygandt, Warfield Intermediate Accounting-IFRS Edition Wiley 2020 9781119607519

#### その他 / Others

Prerequisites: BT188 Financial Accounting and BT183 Finance (or equivalent). Familiarity with concepts covered in undergraduate level introductory finance and financial accounting courses.

#### 注意事項 (検索結果画面)

9月期登録

# Module 6

Module6

Business Communication Theory and Practice

シュールズ／トンプソン (SCHULES DOUGLAS/ THOMPSON GENE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN006

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位： 1

科目ナンバリング： MIB5011

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The course provides students with techniques for effective documentation and strategies for effective presentation. Major goals for each include:

Documentation:

1) design

2) sourcing

Presentation:

1) organization

2) audience engagement

Other issues may be covered as the class needs or requests.

## 授業の内容 / Course Contents

As the focus of this module lies in practice rather than theory, students will demonstrate their understanding of course content through the design and development of discrete documents and presentations. These will be

shown to the class, who—in classic workshop fashion—will provide feedback and suggestions for improvement. Much of the work will be geared towards the creation of the materials for the final presentation, so at the module's conclusion students should have an effective, albeit rudimentary, framework from which to build.

### 授業計画(授業計画数：7) / Course Schedule

- 1 回：Intro to class and communication theories
- 2 回：Presentation Theories I
- 3 回：Presentation Theories II
- 4 回：Delivery and Technology I
- 5 回：Delivery and Technology II
- 6 回：Final Presentation
- 7 回：Final Presentation

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワポ等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○ グループ発表	：	○ ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：		：		：

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

As this class is a workshop format, students will be expected to come prepared to showcase their presentation materials.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Workshop Contributions:50% Homework:50%

### テキスト / Textbooks

None

### 参考文献 / Readings

### 注意事項（検索結果画面）

9 月期登録

# Final Research Project

Final Research Project

Masters Essay and Documentation

デイヴィス, S / 西原 文乃 / 岡本 紀明 / シュールズ / 竹澤 伸哉 / トンプソン / 辻 洋右 / 千野 厚 / フォウラー / レートネン (DAVIS, SCOTT T. / NISHIHARA AYANO / OKAMOTO NORIAKI / SCHULES DOUGLAS / TAKEZAWA NOBUYA / THOMPSON GENE / TSUJI YOSUKE / CHINO ATSUSHI / FOWLER RANDY / LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN051

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 4

科目ナンバリング： MIB6111

使用言語： 英語

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is the framework wherein students in their second year will complete the research and analysis constituting their Final Research Project and write their Masters Essay and Documentation.

## 授業の内容 / Course Contents

As a framework, this course will provide information regarding the project specifications and a schedule for the completion of project work. During the course students will be assigned an individual advisor who will consult with them throughout their project. In addition, students will have access to faculty in key disciplinary fields to consult with them on specific issues in their research and proposal. Details of the project specifications and the schedule for the final presentation will be announced at the first class.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction and orientation  
 2 回：Individual consultation  
 3 回：Individual consultation  
 4 回：Individual consultation  
 5 回：Individual consultation  
 6 回：Individual consultation  
 7 回：Individual consultation  
 8 回：Individual consultation  
 9 回：Individual consultation  
 10 回：Mid-term presentation  
 11 回：Mid-term presentation  
 12 回：Individual consultation  
 13 回：Individual consultation  
 14 回：Individual consultation

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド* (パワポ* 等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

To be announced.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final Presentation:100%

#### テキスト / Textbooks

Will be assigned to each student if necessary by their advisors according to their project content and research methodology.

#### 参考文献 / Readings

Will be assigned to each student if necessary by their advisors according to their project content and research methodology.

# Final Research Project

Final Research Project

Masters Essay and Documentation

デイヴィス, S / 西原 文乃 / 岡本 紀明 / シュールズ / 竹澤 伸哉 / 辻 洋右 / 千野 厚 / フォウラー / レヘトネン (DAVIS, SCOTT T. / NISHIHARA AYANO / OKAMOTO NORIAKI / SCHULES DOUGLAS / TAKEZAWA NOBUYA / TSUJI YOSUKE / CHINO ATSUSHI / FOWLER RANDY / LEHTONEN MIIKA J.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN052

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期

単位： 4

科目ナンバリング： MIB6111

使用言語： 英語

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is the framework wherein students in their second year will complete the research and analysis constituting their Final Research Project and write their Masters Essay and Documentation.

## 授業の内容 / Course Contents

As a framework, this course will provide information regarding the project specifications and a schedule for the completion of project work. During the course students will be assigned an individual advisor who will consult with them throughout their project. In addition, students will have access to faculty in key disciplinary fields to consult with them on specific issues in their research and proposal. Details of the project specifications and the schedule for the final presentation will be announced at the first class.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction and orientation



2回：Individual consultation  
 3回：Individual consultation  
 4回：Individual consultation  
 5回：Individual consultation  
 6回：Individual consultation  
 7回：Individual consultation  
 8回：Individual consultation  
 9回：Individual consultation  
 10回：Mid-term presentation  
 11回：Mid-term presentation  
 12回：Individual consultation  
 13回：Individual consultation  
 14回：Individual consultation

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

To be announced.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final Presentation:100%

#### テキスト / Textbooks

Will be assigned to each student if necessary by their advisors according to their project content and research methodology.

#### 参考文献 / Readings

Will be assigned to each student if necessary by their advisors according to their project content and research methodology.

# HRM IN JPN

Human Resource Management in Japan

The Japanese human resource management - viewing its big success and problems not just as a cultural aspects but as theoretical analysis

杉山 浩一 (SUGIYAMA KOICHI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN111  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項） 対面  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

日本的人的資源管理(日本企業の人事制度)は、日本の文化的特徴に基づいて一般的に理解されているため、特別なスタイルとして非常に有名です。しかし、本講義では、文化的視点に偏ることなく経営理論的枠組みの視点から分析します。また国際的に活躍する経営者に必要な HRM の知識も学びます。したがって、コースの目的は、理論的な HRM の視点で日本の HRM を理解することです。そのために、このコースでは、日本の伝統的な HRM モデルと日本の最近の HRM の動きの両方を、国際ビジネスにおける HRM と比較して分析し、その両者の違いを理論

The Japanese style HRM is very famous as a special style because it is generally understood based on Japanese cultural characteristics. However, in this course, we analyze it from the viewpoint of the theoretical framework. We also learn the knowledge of HRM necessary for managers in international business fields. So the course objective is to understand the HRM in Japan with the theoretical HRM viewpoints. The goal of this course is by analyzing both the traditional HRM model in Japan and the recent HRM movement in Japan in comparison to

HRM in international business to gain a theoretical understanding of the differences between the two.

### 授業の内容 / Course Contents

このコースでは、人的資源管理(Human Resource Management:HRM)の基本的な理論だけでなく、組織内の人々を効果的に管理するための実践的な知識と必須スキルを提供します。文化の違いによる経営上の問題は、HRM の理論と実践的な知恵によって合理的に解決できることを理解します。このコースを受講するために、HRM に関する予備知識は必要ありません。このコースで使用される教授法は、講義、ケース分析、クラスディスカッション、小グループディスカッションが含まれます。また、日本における HRM の実践的な理解を深めるために、ゲストスピーカーを招聘することもあります。このコースでの学習には、個人及びグループワークでの積極的参加が必要です。さまざまな国から来た他のメンバーと認識やアイデアを共有することは、日本企業の人事制度や人的資源管理を理解するために非常に重要です。

This course provides practical knowledge and essential skills to manage people in organizations effectively beyond just the basic theories. The students will understand that management problems caused by cultural differences can be solved through HRM theories and practical wisdom in rational ways. You don't need any prior knowledge about HRM for taking this course. Teaching methods used in this course will include lecture, case analysis, class discussion and small group discussion. In addition, we may have guest speakers for further practical understanding of the HRM in Japan. Learning in this course requires active individual participation and groupwork. Sharing perceptions and ideas with other members, who might come from different countries, is very important for the HRM in Japan study.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction of the Course Purpose and Contents
  - \*Course condition and approach to "HRM in Japan"
  - \*The basic characteristics of the Japanese HRM
  - \*Basic framework of HRM
  - \*HRM as management tool in global business field
- 2 回： Overview of the Japanese Management System and HRM
  - \*History of the Japanese Style Management
  - \*Basic structure of the Japanese style management and its rationality
  - \*Views to the Japanese style management beyond culture
  - \*The HRM in Japan now - issues and ch
- 3 回： Recruitment, HR Planning, Career path and HR Development
  - \*Japanese Recruitment
  - \*Business strategy and HR planning
  - \*Organization and individuals
  - \*Job rotation and HR development
- 4 回： External and Internal Labor Market for Competitive HRM
  - \*Case Study 1: United Parcel Service (A) (Tentative)
- 5 回： Evaluation and Grade Structure
  - \*Japanese grading method
  - \*Japanese evaluation system
- 6 回： Guest Speaker Session 1(Tentative)
- 7 回： Japanese Rewarding System and Motivation

\*Japanese incentive and motivation system

\*Structuring rewarding system - short and long term

8 回：Management of Competitiveness of Japanese Companies Overseas through Evaluation and Rewarding System

\*Case Study 2: Orix K.K.(Tentative)

9 回：Japanese Performance Management System

\*Definition and criteria for performance in Japanese HRM

\*Characteristics of Japanese performance management

10 回：Guest Speaker Session 2(Tentative)

11 回：Culture and System in HRM - Challenge of Japanese Companies in Globalization

\*Case Study 3: Mabuchi Motor Co., Ltd.(Tentative)

12 回：Japanese Cross Cultural Team Building

\*Movie "Gung Ho" (Tentative)

13 回：Major Organizational Structures and Management

\*Type and purpose of organizational structure

\*Change through growth

\*Centralization vs Decentralization

\*Official and unofficial function

14 回：HRM for Globalization and Recent HRM Topics in Japan

\*Requirements to Japanese management for corporate social responsibility and governance in the world

\*Post Covid-19 movement in Japanese HRM

\*Course Review and Wrap Up

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

The instructor will provide a handout in every time and copies of the case studies with necessity. You have a short report assignment for each case study. Read the handouts before class and review the learning points after class.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Individual assignments (short reports to case studies as homework):30% Group presentations to case studies (quality of contents):15% Individual class discussion contribution (quantity and quality):15% 最終レポート割合 :40%

You have 3 times of group assignments for case studies(5% each). The groupwork and presentations are done within class time. You have 3 individual case assignments as homework(10% each). Class contribution is counted up to 3% in each class time and up to

### テキスト / Textbooks

No textbook is required. In stead, we use the original handouts made by the instructor.

**参考文献 / Readings**

No readings are officially required. However, when a student want to know the recommended books for this course from the instructor, he will provide a list for it.

**履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course**

Rational and analyisital thinking and flexibility that are free from common sense or stereotype biased veiw.

# CSR in Jpn

Corporate Social Responsibility: A Japanese Perspective  
Corporate Social Responsibility - A Japanese Perspective

マードック (MURDOCH STEPHEN J.)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN151  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項） face-to-face  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

In a time of massive weather changes due to global warming, unchecked pollution in developing countries, substantial increases in the gap between the incredibly rich and the hopelessly poor, child labour to support families, and discrimination in hiring, the expression “Corporate Social Responsibility” has attained a status of trying to cure all of the ills created through years of unfettered economic development and a limitless focus on maximizing profits. Very often, economic development has not improved the social situations of average citizens. Increased wealth, through increased corporate earnings, has very often been passed along to shareholders and company executives in the form of mind-boggling salaries, dividends and increased stock values, often ignoring line workers.

The objectives of this course are to examine the origins and reasons for the development of CSR; secondly, to provide examples of those areas which can/should benefit from corporations acting responsibly in creating a positive and lasting impact on society; thirdly, to provide an in-depth look at CSR in the Japanese context; and lastly, the course will move to creating and finalizing a CSR project in a company – from deciding a CSR activity,

prioritizing stakeholders, fixing success metrics, and finally to communicating the impact.

Through cases, readings, governmental/organizational studies, discussions and a review of social responsibility policies and practices in selected companies, students will analyze how successful – both in Japan and abroad – these companies' actions are in positively impacting the communities they seek to benefit.

In order to ensure an analysis on a global scale, students will compare Japanese companies and firms to similar companies operating outside of Japan. This will show whether Japanese companies can be benchmarked as best practices; or whether they are lagging behind other world-class multinational companies in their fields.

### 授業の内容 / Course Contents

1. Gather relevant data concerning Japanese and other companies' CSR policies and find concrete evidence of putting policy into action; and to analyze this data to see whether these actions are having impact on the communities it seeks to benefit;
2. Determine whether CSR is a valid strategic activity to a company or firm in both Japan and abroad;
3. Understand the issues giving rise to CSR policies and to analyze the reasons these issues exist on both a Japanese and a global scale;
4. Conduct a critical analysis of these policies to seek areas of improvement in order to determine best practices in the area of CSR in Japan and abroad;
5. Establish a CSR activity in a company and determine/prioritize stakeholders, fix success metrics, and communicate success.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Part 1: Introduction to the Course
- a) Introduction of the course participants
  - b) Procedure of the course
  - c) Assessments
  - d) Objectives of the course
  - e) Importance of consequential, dramatic events
  - f) Approaching CSR as Corporate Strategy
- 2 回：Part 2: Introduction to Corporate Social Responsibility
- a) Principles and definitions
  - b) Global stakeholders
  - c) Case Analysis: Universal Paper Company (Canada, Indonesia, Norway)
- 3 回：d) Breaking down CSR - ESG
- Part 3: Strategic Corporate Social Responsibility and Trends
- a) Competitive Advantage
  - b) Trends
  - c) External events influencing CSR
  - d) CSR Reporting – Reality and Potential
- 4 回：Part 4: Corporate Social Responsibility in Japan
- a) Current situation
  - b) CSR History in Japan
  - c) In Japan, size and scope matters

- d)CSR in Japanese companies  
 e)Japan CSR Benchmarking  
 5 回：Initial In-Class Assignment  
 6 回：Part 5: Corporate Social Responsibility Management  
 a)Mission, Vision, and Values  
 b)Stakeholders  
 7 回：c)Establishing Success Metrics  
 d)Communicating success  
 8 回：Part 6: Creating a Framework for Corporate Social Responsibility Activities  
 a)Actions aligned with strategy  
 b)Determining and prioritizing stakeholders  
 c)Establishing realistic success metrics  
 d)Avoiding Greenwashing  
 e)Success indicators  
 9 回：Preparation of Presentations  
 10 回：Presentations Day 1  
 11 回：Presentations Day 2  
 12 回：Part 7: Reporting of CSR Activities and Results to Stakeholders  
 Part 8: Conclusions to the Course  
 13 回：Final In-class Assignment Question 1  
 14 回：Final In-class Assignment Question 2

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド*（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

None required

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Final Test 2:20% Group Presentation:40% Individual in-class assignment:20%

最終テスト割合：20%

#### テキスト / Textbooks

Cases and other materials have all been written by the Professor

#### 参考文献 / Readings

Cases written by the Professor

#### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

Interactive and be prepared to participate



# Marketing in Japan

Marketing in Japan

辻 洋右 (TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN162  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Obtain an understanding of the Japanese market as well as marketing strategies used in Japan. The class will take a cross-cultural perspective to understand the Japanese consumers. Upon completion of this course students will be able to...

1. Define and understand culture,
2. Be able to identify similarities and differences across cultures and their effects on consumer behavior/marketing
3. Demonstrate an ability to critically analyze marketing problems,
4. Develop a creative strategy for solving marketing problems,
5. Provide oral presentations for these solutions.

## 授業の内容 / Course Contents

Obtain an understanding of how marketing theories are applied in the Japanese market. The course aims to decipher Japanese consumption patterns from a cross-cultural perspective. The class will be a mix of lectures, case studies, and student presentations. Students may be asked to record individual and/or group presentations.

This class is a fall 1 quarter intensive course.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction and Overview
- 2 回：Discussion
- 3 回：Lecture, student presentations & discussions
- 4 回：Lecture, student presentations & discussions
- 5 回：Lecture, student presentations & discussions
- 6 回：Group Presentations
- 7 回：Lecture, student presentations & discussions
- 8 回：Lecture, student presentations & discussions
- 9 回：Case Study
- 10 回：Group Presentations
- 11 回：Lecture, student presentations & discussions
- 12 回：Lecture, student presentations & discussions
- 13 回：Group Presentations
- 14 回：Group Presentations

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Read assigned articles, cases, etc.

Prepare well for class.

Answer online discussion questions

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Group Presentation 1:25% Group Presentation 2:25% Participation:10% Case study analyses:15% Individual Presentation:10% Discussion:15%

### テキスト / Textbooks

de Mooij, M. Global Marketing and Advertising: Understanding Cultural Paradoxes 6th Edition Sage 2021 9781529732504 ○

Haghirian, P. Japanese consumer dynamics Palsgrave Macmillan 2011 9780230242869 ○

De Mente, Boye Lafayette Japan's Cultural Code Words : Key Terms That Explain the Attitudes and Behavior of the Japanese Tuttle Publishing 2004 9781462900626 ○

Books by Haghirian and De Mente are available through E-book Central.

### 参考文献 / Readings

Schuette, H., Ciarlante, D. Consumer behavior in Asia NYU Press 1998 9780814781142

Usunier & Lee Marketing across culture 6th ed Pearson 2012 9780273757733

Usui Marketing and consumption in modern Japan Routledge 2016 9780415323130

Sato Industry and Business in Japan Routledge 2011 9780415591850

de Mooij Consumer Behavior and Culture (3rd) Sage 2019 9781544318165

**その他/ Others**

The above course schedule is tentative and is subject to change. Detailed syllabus will be provided at the beginning of class.

# S t r a t F i n M g m t

Strategic Financial Management  
Introduction to Financial Valuation

竹澤 伸哉 (TAKEZAWA NOBUYA)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN171  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The course provides an overview of financial valuation (enterprise valuation). By the end of the term you should:

- 1) be better equipped to understand & appreciate the role of financial valuation in strategic management decisions.
- 2) better understand the link between financial models and business (models).
- 3) be able to critically examine a valuation report produced by an investment bank (or other financial institution) for M&A, IPOs, etc.
- 4) be able to undertake a “preliminary valuation” of a business on your own using EXCEL. This is especially useful for the MIB Final Research Project (FRP).

## 授業の内容 / Course Contents

The course is an introduction to enterprise valuation in the context of discounted cash flow analysis using WACC as well as variations on this theme including multiples. The course will require students to undertake valuation exercises and a mini research project using spreadsheets. Students must be prepared to discuss readings for each

class.

This is an intensive Spring Quarter 1 course. You will need access to a stable internet connection in appropriate learning environment (including device) for select sessions. Special online zoom sessions will be announced at least one week in advance.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Overview: The Narrative
- 2 回：Multiples Based Valuation and DCF Valuation
- 3 回：Multiples Valuation: Case
- 4 回：Brief Introduction to History of M&A and Restructuring
- 5 回：WACC and Free Cash Flows
- 6 回：WACC and Enterprise Valuation
- 7 回：Valuation Workshop: Spreadsheet Exercise (Project)
- 8 回：Valuation Workshop: Spreadsheet Exercise (Project)
- 9 回：Case Exercise
- 10 回：Case Exercise
- 11 回：Project Consultation
- 12 回：Project Consultation
- 13 回：Presentations
- 14 回：Review and Wrap-up

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Review assigned readings and notes each week. Work on weekly assignments and project.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Assignments:35% Research Project:40% Attendance and Participation:25%

### テキスト / Textbooks

- Aswath Damodaran The Dark Side of Valuation Pearson FT Press -
- Aswath Damodaran Narrative and Numbers: The Value of Stories in Business Columbia University Press  
2017 9780231180481 -
- Akashi Hongo A Bilingual Introduction to Valuation Chuo Keizai -

### 参考文献 / Readings

### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

Prerequisite: MIB Module 5 (Finance & Financial Accounting) or equivalent. Familiarity with EXCEL required.

### 学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

Students should have a PC notebook and/or pad with EXCEL and a stable access to the internet (from home).

### その他 / Others

We hope to invite a guest speaker in which case the schedule will be slightly revised. Detailed course outline posted on Canvas during the first week of class. Course schedule and content is subject to change (all changes/modifications will be posted on C

# Sustainability

Sustainability

Sustainability: Is achieving the SDG's at odds with solving the Climate Crisis?

ベーダー - J. (BADER-J. PATRICIA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN186

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Students will understand the SDGs from a variety of perspectives through class lectures, selected readings and case studies that can be applied directly to business practices. This will also introduce a range of sustainability related vocabulary and topical areas related to the field. The course will attempt to explain not only the reality of climate change and what the UN's announcement of "Code Red" for human existence means - but will also focus on the critical reasons that "business people" (not just politicians or regulators) must consider the SDGs from an economic perspective when conducting business; in order to find solutions and new opportunities, by integrating them into the normal course of doing business. In this way, business can play a leading role in creating a new economic paradigm that is truly sustainable. We will explore the role that a GDP-driven economy plays in both defining the measures of success and how that impacts the targets of the SDG's. Are GDP-focused metrics actually preventing the achievement of the SDGs? How measures of success impact the pursuit of sustainability will be explored.

1. Students will be introduced to a range of frameworks and measures often used to assess the success of

Businesses and Societies; and gain perspective on the relative merits of the various approaches: These will include Economic measures: such as GDP and Donut Model; Social Measures such as: GHI, GRI (CSR), ESG, and other common measures related to the Triple Bottom Line. Business examples of how these are applied will be given.

2. Students will gain a deeper understanding of their own impact both as individuals living on a shared Planet and as Business Leaders and Investors of the future, understanding that they will both play a vital role in the direction that societies take in tackling global sustainability issues.

3. Students will become aware of future trends including the concept of the Fourth Industrial Revolution and to the Fourth Wave Leadership Model that is emerging in response to current global challenges that has a direct impact on how business could be done in future. Examples of business leaders who are role models leading the way toward Society 5.0 will be introduced.

4. Students will be introduced (through discussions and readings of selected case studies) to the critical role that technology is playing and will play in the future of global societies; and will analyze such trends that are shaping the future of the world as we know it in context of future business, supply chains and employment.

### 授業の内容 / Course Contents

The course is woven around the 17 UN Sustainable Development Goals which form the basis for discussion of what are considered to be Sustainability issues, with an emphasis on what they mean for business. Since the targets and goals of the SDG's are directly related to GDP development, we will explore whether they are truly achievable in an economic context of constant growth despite the reality of diminishing natural resources and threats to biodiversity.

- Using a simple “ABC” approach, for each area of study we will briefly review the historical context surrounding the topic “About”; understand the context of the need for the specific SDG “Background”; then we will establish the “Content and Current situation” surrounding the issue at hand (using published studies, graphs and data);
- Students will then be introduced to business-related examples of the efforts and innovation being applied to achieve the respective SDGs using case studies and examples from various sources with a particular focus on innovation and technology.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1回： Provides a basic orientation around the current status of the planet in context of sustainability: introducing the concept of the Anthropocene epoch; Climate Reality; and the holistic goals and objectives behind the 17 SDGs.

The concepts of Base of the Pyramid

2回： Introduces SDG's 1 & 2 (No Poverty and Zero Hunger)

Woven around socio-economic, environmental, peace and security, data and analysis gaps that exist, knowledge gaps and challenges related to coordination and execution of global solutions, this module explores

3回： Students will: understand how measures such as the GHI (Global Hunger Index) can assist in tracking well-being; explore the impacts of the pandemic on society going forward; understand related issues such as maternal health, access to healthcare and other

4回： This module explores the interconnected nature of global water supplies, food production, the impact of climate change, and the role access to such resources has on human settlements and sustaining biodiversity.

The need for net zero thinking is discussed

5回： This module aims to introduce Frameworks and Measures often used to assess the success of Businesses and Societies; gain perspective on the relative merits of the various approaches; introduces various economic



Measures and Social Measures against which

6 回：Definitions of decent work, the assumptions behind perpetual growth models, and the role that innovation and infrastructure might play in a different approach to the future of work are discussed. Concepts such as Natural Capital, CSR and circular economy

7 回：This module looks at the three SDG's focused most around addressing and inequalities. It looks at how the SDG's define and measure the causal factors and discusses how society must pivot away from established assumptions and status quos in order to achieve

8 回：This module will focus on the differences between linear and circular societies. It will present case studies of companies that have changed their means of production to become circular.

Topics such as the ethics behind marketing that drives endless and i

9 回：This module explores the role of biodiversity and reflects on the current status of the planet. It looks at the connection between Economics and Ecologies, and explores the potential impact of the sixth mass extinction on Earth that is currently underway.

10 回：This module revisits the realities around climate change on our planet. The most recent UN Report of Climate Change which has sounded a "Code Red for Humanity" will be explored. A brief look at the history of climate action will uncover some of the reasons

11 回：Case studies of companies that are taking a lead to change the means of production by introducing circular economy principles and closed loop, zero waste solutions etc. will be introduced. This module also explores mitigating actions that are being taken

12 回：According to the SDG's, conflict, insecurity, weak institutions and limited access to justice remain a great threat to sustainable development. This module looks at the political ramifications of insecurities that will be caused by global food shortages,

13 回：This module looks at how the SDG's aim to foster global partnerships across developed and developing countries to establish future strategies. The global Pandemic has provided many insights into the challenges that the world may face and the difficulties

14 回：Class presentations and final exam review

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

na

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Assignment 1:15% Assignment 2:15% Assignment 3:15% Group Project

Presentation:15% 最終レポート割合：:20%最終テスト割合：:20%

Students will be given a choice amongst various topics related to the SDG themes to write two individual papers and make one group presentation. Other assignments will be completed by the entire class and findings will be discussed.

**テキスト / Textbooks**

Mark Carney Values: Building a Better World for All Penguin Random House.

<https://www.amazon.co.jp/dp/0008421137> March 16, 2021 -

Authors Amory B. Lovins, L. Hunter Lovins, and Paul Hawken A Roadmap for Natural Capitalism Routledge,  
2nd edition June 28, 2017 -

[Recommended Reading]

The Fourth Wave: Business in the 21st Century

Author: Herman Bryant Maynard, Susan E Mehtens (Contributor)

Publisher: Berrett-Koehler Publishers

January 1, 1996

<https://www.amazon.co.jp/dp/1576750027>

SDGs – A Guide on the UN's Sus

**参考文献 / Readings****履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course**

na

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

na

# Strategic Communication in Global Business

Strategic Communication in Global Business

Strategic Writing

シュールズ (SCHULES DOUGLAS)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KN191
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	池袋
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	MIB6201
使用言語：	英語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

## 授業の目標 / Course Objectives

After successfully completing the course students will be able to do the following:

- 1) Analyze audiences
- 2) Craft a range of messages to target audiences
- 3) Develop frameworks for conceptualizing strategic messages

## 授業の内容 / Course Contents

This course offers an introduction to key fields in strategic communication. It offers an overview of various fields in which attempts at strategic communication are commonly practiced, including risk and crisis communication, public and media relations, and areas of entrepreneurship. Theoretical approaches to strategic communication will be buttressed by practice in constructing strategic messages. Students will be asked to analyze, and create, strategic documents relevant to corporate life.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Intro to Course -- Communication

- 2回：Approaches to Strategic Communication  
 3回：White Papers 1  
 4回：White Papers 2  
 5回：Mission Statements  
 6回：Pitch Decks  
 7回：Focus Groups — Organization and Structure  
 8回：Focus Groups — Ethical Concerns and Design Workshop  
 9回：Focus Groups — Reporting and Reflection  
 10回：Message Maps  
 11回：Media Kits  
 12回：Op/Eds — Function  
 13回：Op/Eds — Structure  
 14回：Op/Eds — Feedback

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド* (パワポ* 等) の使用	:	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○ グループ発表	:	○ ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:		:

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Readings, research, projects

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Participation and Class Activities:20% Assignments (6):80%

#### テキスト / Textbooks

None

#### 参考文献 / Readings

# Adv Topics Acctg

Advanced Topics in Accounting

Graduate Level Accounting Course: Accounting for Sustainability and Social Impact

岡本 紀明 (OKAMOTO NORIAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN193

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The purpose of this course is to theoretically and practically understand a new wave of accounting: Accounting for sustainability and social impact. After taking this course, students will gain relevant knowledge of accounting for corporate sustainability and social impact. More specifically, you can learn the basics of how to recognize, measure, and report sustainability and social impact.

## 授業の内容 / Course Contents

This course consists of accounting for sustainability and social impact, both of which have recently attracted stakeholders' attention. In addition to theories and academic findings, practical topics such as (specific institutions and real corporate practices) will be covered throughout the class. Each session generally consists of the instructor's lecture and discussion. At the end of the course, final exam and (individual or group) presentation will be assigned.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Overview and introduction

- 2回：Accounting for Sustainability: Historical Development and Background ①  
 3回：Accounting for Sustainability: Historical Development and Background ②  
 4回：Accounting for Sustainability: Key Concepts and Theories ①  
 5回：Accounting for Sustainability: Key Concepts and Theories ②  
 6回：Accounting for Sustainability: Sustainability Reporting ①  
 7回：Accounting for Sustainability: Sustainability Reporting ②  
 8回：Accounting for Sustainability: Sustainability Reporting ③  
 9回：Accounting for Social Impact ①  
 10回：Accounting for Social Impact ②  
 11回：Accounting for Social Impact ③  
 12回：Accounting for Social Impact ④  
 13回：Final test  
 14回：Final presentation

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド*（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are required to read assigned textbook chapters (as instructed during the course) before each class session. At the end of the course, students are also required to make a presentation on a specific topic of accounting for sustainability or social impact.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Assignments:25% Participation/Discussion:25% Final test:25% Final presentation:25%

#### テキスト / Textbooks

Matias Laine, Helen Tregidga, and Jeffrey Unerman Sustainability Accounting and Accountability 3rd edition  
Routledge 2022 9781032023106 -

Gunnar Rimmel Accounting for Sustainability Routledge 2021 9780367478957 -

Stewart Jones, Helena de Anstiss, and Carman Garcia Social Impact Investing: An Australian Perspective  
Routledge 2022 9781032126531 -

Ronald Cohen Impact: Reshaping Capitalism to Drive Real Change Ebury Press 2020 9781529108057 -

Students do not need to purchase the textbooks. Copies of selected chapters will be uploaded on the course website.

#### 参考文献 / Readings

Additional handouts will be given during the course.

# I n t ' l S p o r t s B u s

International Sports Business

Sports Business: A Practitioner Perspective

竹澤 伸哉/辻 洋右/ハケット, D. /横井 勝 (TAKEZAWA NOBUYA/ TSUJI YOSUKE/ HACKETT DAVID W./ YOKOI MASARU)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN194

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 2

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

After taking this course, students should

- 1) gain a general understanding and working knowledge of the ski (mountain resort) industry and sports business in Japan from a practitioner perspective.
- 2) be able to critically analyze an industry/company from multiple perspectives including marketing, strategy, and finance.
- 3) better appreciate the complexities of sports business.

Students interested in consulting and general management related careers should also find the course useful as it is designed to explore business from multiple/different perspectives. Moreover, students are encouraged to explore and think about how business will/should change over the next decade.

## 授業の内容 / Course Contents

The first half of the course will focus on the revenue streams for sports competitions and leagues, as well as how

intellectual property rights are managed. The module will look at how these revenue streams have evolved and changed over time. The second half of the course provides an introduction to the ski and mountain resort industry in Japan.

We recommend students enroll in international sports marketing and/or international sports finance offered in Spring Quarter I prior to taking this course.

This is an intensive Spring Quarter II course. You will need access to a stable internet connection in an appropriate learning environment (including device) especially for select sessions with guest speakers (possibly two sessions). Special online zoom sessions will be announced at least one week in advance.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Overview of the Course
- Ticketing and Sponsorship
- 2 回：Ticketing and Sponsorship
- 3 回：Licensing, Naming Rights and Broadcasting Rights
- 4 回：Licensing, Naming Rights and Broadcasting Rights
- 5 回：Digital Media, OTT, and IT
- 6 回：Digital Media, OTT, and IT
- 7 回：Ski Industry: Stakeholders and the Community
- 8 回：Ski Industry: Stakeholders and the Community
- 9 回：Ski Industry: Financial Analysis
- 10 回：Ski Industry: Financial Analysis
- 11 回：Ski Industry: Marketing Analysis
- 12 回：Ski Industry: Marketing Analysis
- 13 回：Guest Speaker
- 14 回：Wrap-up

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Review posted reading/notes prior to class and research/write a weekly summary as assigned in class. Course reading and related material posted on Canvas. Active participation in class discussion is encouraged.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Summary Papers:40% Attendance and Participation:40% Final Reflective Essay:20%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

### 学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

Students should have a PC notebook and/or pad and stable access to the internet (from home).

### その他 / Others



Detailed course outline posted on Canvas during the first week of class. Course schedule and content is subject to change (all changes/modifications will be posted on Canvas and announced in class). Students are expected to check Canvas and their Rikkyo e

# I n t ' l S p o r t s M k t i n g

International Sports Marketing

Sport Marketing & Sponsorship

辻 洋右 / H u J i n y (TSUJI YOSUKE/ Hu Jinyi)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN195

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The main objective of this class is to introduce students to sport marketing and corporate sport sponsorship activities in the global sport industry. Upon completion of this course, students are expected to:

1. Successfully demonstrate an understanding of sport marketing principles and fan behaviors.
2. Understand corporate sponsorship activities' objectives, strategies, and measurement.
3. Critically analyze & provide solutions for sport sponsorship problems.

This is a 'spring one' intensive course.

## 授業の内容 / Course Contents

This course introduces students to the principles of sport marketing & sport sponsorship. The content mainly draws from North American and European sport business contexts (Japanese and Asian applications will be introduced in class). The course will be taught through lectures and the use of case studies. Students are expected to participate actively in classroom discussions. Guest speakers may be invited to supplement the course contents.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1 回：Introduction of the course  
 2 回：Class based on articles and cases  
 3 回：Class based on articles and cases  
 4 回：Class based on articles and cases  
 5 回：Class based on articles and cases  
 6 回：Class based on articles and cases  
 7 回：Class based on articles and cases  
 8 回：Class based on articles and cases  
 9 回：Class based on articles and cases  
 10 回：Class based on articles and cases  
 11 回：Class based on articles and cases  
 12 回：Guest Speaker (tentative)  
 13 回：Project Presentation  
 14 回：Recap of the course

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

Read assigned articles & cases. Prepare well for class activities and discussions

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% Individual Assignments:40% Discussion:30% Project:30%

**テキスト / Textbooks**

Students should purchase articles and cases through Harvard Business School Press. Others will be posted on Canvas.

**参考文献 / Readings**

Coombs & Osborne Routledge Handbook of Sport fans and fandom Routledge 2022 9780367358310

Shank & Lyberger Sports Marketing 6th Routledge 2022 9780367141653

Fullerton Sports Marketing 4th Sage 2023 9781948426435

Abeza, King-White Sport and Social Media Routledge 2024 9781032415017

Abeza, Sanderson Social Media in Sport Routledge 2024 1138039837

Macintosh, Bravo, Li International Sport Management Human Kinetics 2020 9781492556787

Lopez Redefining Sports Media Routledge 2023 9780367751272

TBA

**その他 / Others**

Above course schedule is tentative and is subject to change. Detailed syllabus will be provided at the beginning of the class.

# I n t ' l S p o r t s F i n

International Sports Finance

竹澤 伸哉 (TAKEZAWA NOBUYA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN196

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

After taking this course students should:

- 1) be able to appreciate and understand the unique features of sports business.
- 2) be able to understand the role of capital markets and securitization in sports business.
- 3) be able to apply standard financial tools of analysis in a sports business context.
- 4) gain a better grasp of the link between financial models and business operations (model).

## 授業の内容 / Course Contents

This course is an introduction to the new and exciting field of sports finance. Much of the content will draw on the North American and European experience with professional team sports leagues. In particular, we examine peculiarities of the sports industry which introduce unique challenges to applying standard financial tools of analysis.

This is an intensive Spring Quarter 1 course. Students should be prepared to discuss readings for each class. This is a research intensive course.

You will need access to a stable internet connection in appropriate learning environment (including device)

especially for guest speaker sessions. Special online zoom sessions will be announced at least one week in advance.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Overview of the Course
- 2 回：Introduction to the Sports Business Model
- 3 回：Profit Maximization and Sports: A Review of Economics and Regressions
- 4 回：Stock Market Reaction to On-field Performance
- 5 回：Understanding Moneyball: An Introduction to Sports Analytics
- 6 回：Profit Maximization, Discounted Cash Flows, and the Sports Business Model: Application to Valuing Athletes
- 7 回：Valuing Athletes: Case
- 8 回：Equity: Sports Teams
- 9 回：Valuation of Teams: Multiples Based Analysis
- 10 回：Stadiums: Debt, Securitization, Project Finance
- 11 回：Securitization: Case
- 12 回：Topics
- 13 回：Presentations
- 14 回：Wrap-up

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Detailed course outline distributed first week of class via Canvas. Notes and selected reading posted on Canvas. Cases distributed in-class. Read research papers & articles and cases before coming to class.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Summary Essays and Assignments:35% Final Research Paper:35% Attendance and Participation:30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

Prerequisite: MIB Module 5 or equivalent. Interest in sports business and finance.

### 学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

Students should have a PC notebook and/or pad with EXCEL and a stable access to the internet (from home).

### その他 / Others

Detailed course outline posted on Canvas during the first week of class. Course schedule and content is subject to change (all changes/modifications will be posted on Canvas and announced in class). Students are expected to check Canvas and their Rikkyo e

# Cases in General Mgt

Cases in General Management

Cases in General Management - Law and Ethics

マードック (MURDOCH STEPHEN J.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN201

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項） face-to-face

校地： 池袋

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

(Course Introduction and Objectives)

The study of morals, ethics, and legality focuses on how individuals react based upon hereditary or learned behaviours in a specified factual situation. However, much of this assumes that people will respond in a rational, respectable manner. As a former American prosecutor once said: "Explaining unethical behaviour is very complex as there are many cultural, personal, and contextual factors that define people's actions and decisions" (Vera Cherepanov, May 19, 2021). Very often, people do not act rationally – especially when emotions, money, or accepting/denying guilt are involved. A general rule is that making ethical decisions involves weighing risk versus benefit – both financial and moral. Would a rational, ethical person commit an unethical act if the risks were minimal and the benefit was high? Do people always take the easy way out – even if it involves lying and putting the blame on someone else? Hopefully, this course will assist you in weighing the options and making your correct decision.

This course gives students a first-hand view through the case-based method of examining and analyzing true

cases from various countries. The objective is to assist you in making ethical decisions – both personally and in business. The second objective is to analyze ethics in various cultures and circumstances; and to provide you with the tools to help you make a correct decision in your particular situation. It is not to tell you what is ‘right’ or ‘wrong’. Or, as the lyrics of two songs from famous rock bands say:

“I’ve got values, but I don’t know how or why” – The Who.

“Think before you make up your mind” – Sum 41;

We will look at how you can weigh options in real-life ethical and legal situations to help you make your decisions – decisions you can happily live with and will cause the least amount of harm to the least number of stakeholders.

### 授業の内容 / Course Contents

An interactive pedagogy: Through cases, readings, discussions, and debates students will see first-hand, real-life situations of ethical and legal dilemmas. The course is interactive and different viewpoints of these situations will be put forward and dissected.

Learning Outcomes: At the end of the course, each student should be able to:

1. Gather, analyse, and assess diverse information on ethical and legal issues in an international environment, determine the various stakeholders, and map out appropriate actions to deal with these issues to avoid unnecessary risk;
2. See philosophy and its ties and origins to ethics and legality in different countries and cultures;
3. Create a framework for ethical and legal decision-making;
4. Apply this framework in personal and business decision-making;
5. Determine appropriate decisions and decision implementation to reflect ethical and legal standards.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Part 1: Introduction to Morals, Ethics, and the Law

- a) Bob Bailey Case: What Would You Do?
- b) Introduction to the Course and the Participants
- c) The 5 Realities of the Course
- d) The Practicalities of the Course

2 回：Part 2: The Philosophical Roots of Ethics and Law

- a) Western Philosophy
- b) Eastern Philosophy
- c) Religion and its Importance to Ethics and Legality
- d) Is Philosophy Relevant in Viewing Ethics and Legality in 2023?
- e) Case Study: Windsor Automotive Supply Comp

3 回：Part 3: Ethics and Legality in the Decision-Making Context

- a) Common Thread = Risk
- b) Case Study: Fun in Shinjuku (Japan)

4 回：c) An International Businessperson’s Nightmare: Bribery and Corruption

- d) The Foreign Corrupt Practices Act and Applying U.S. Standards to the World
- e) Morals and Ethics – What are they?
- f) The Law in an International Environment – What is it?

- 5 回：Part 4: Ethics and Legality in a Cultural and Social Context  
 a)The Affect of Culture on Ethics  
 b)Case Study: Ignorance is No Defence. Arriving Home Alive (Pakistan)  
 c)Culture and History and their Impact on Ethics  
 d)Society's Influence on Ethics
- 6 回：e)Can a Uniform Standard of Ethical Behaviour be Established?  
 f)Case Study: Sophie and Carling Ltd. (France)
- 7 回：Part 5: An Ethical Decision-Making Framework  
 a)3 Levels of Ethical Behaviour  
 b)Creating an Ethical Decision-Making Framework  
 c)Case Study: Ford Motor Company and the Pinto - Death on Wheels (U.S.A.)
- 8 回：d)In-Class Assignment – Based upon the Ford Pinto Case
- 9 回：Instruction and Preparation of Presentations
- 10 回：In-Class Group Presentations Day 1
- 11 回：In-Class Group Presentations Day 2
- 12 回：Part 6: Ethical Decision-Making in Managerial Actions and Situations  
 a)Making Ethical Decision in your Personal and Business Life  
 b)Rules for Surviving in a Company  
 c)Case Study: Managerial Ethics – 4 Cases from Inside the Company (France, U.K., Morocco,
- 13 回：Final in-Class Assignment Question 1
- 14 回：Final in-class Assignment Question 2

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Not required

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final Test 2:20% Group Presentation:40% Individual in-class assignment:20%

最終テスト割合 :20%

#### テキスト / Textbooks

All cases used in class (approximately 8) were written by the Professor and the Case Book will be distributed to all class members

#### 参考文献 / Readings

Case Book

#### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

Be active and participate



# ADV SEM GB 1

Advanced Seminar in Global Business 1

Family-Owned Businesses in Germany in Theory and Practice

フーン, C. / 西原 文乃 (HOON CHRISTINA / NISHIHARA AYANO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN211

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項） Face-to-face

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The course objective is to offer the students with conceptual and analytical tools to identify, analyze, and critically evaluate the strategic, managerial, governing, and productivity challenges of family-owned businesses associated with surviving polycrisis environments across generations.

## 授業の内容 / Course Contents

The course focuses on the characteristics and mechanisms for navigating high-volatile, polycrisis environments and the consequences for managing longevity in family-owned businesses. It examines issues related to succession, governance, and the supply chain of internationalized family firms through organic growth along an intergenerational intention.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Course introduction: The prevalence of family-owned businesses in hyper-volatile environments

2 回： Case discussion: the Birkenstock case (1)

3 回： The colliding logics of family, business, and ownership: Challenges of managing a family business

- 4回：Case discussion: The Birkenstock case (2)  
 5回：Succession as a strategic decision  
 6回：Case discussion: The longevity of the Henkel family firm  
 7回：Governance in family-owned businesses: Succession and family business governance  
 8回：Case discussion: The governance mechanisms of the Henkel family firm  
 9回：Governance in family-owned businesses: Family governance  
 10回：Case discussion: The Darboven-Case  
 11回：Financial management of family businesses: Background and tools  
 12回：Case discussion: tba  
 13回：Financial management of family businesses: Performance, value and value creation  
 14回：Case discussion: tba

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to read and analyze the assigned case material and readings before class

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Class participation:30% Group case analysis:35% In-class test:35%

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

# ADVSEM GB14

Advanced Seminar in Global Business 14

Applied Corporate Finance

千野 厚 (CHINO ATSUSHI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN212  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項） Face-to-Face  
校地： 池袋  
学期： 秋学期2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本コースは、大学院中級レベルの企業財務論のコースです。このコースの目標は、企業の資金調達戦略と株主還元政策の理論と実践について理解することです。このコースを受講した後、学生は企業価値を最大化するために企業がどのように資金調達戦略と株主還元政策を設計すべきかを説明できるようになります。本コースは秋学期第2四半期の集中コースです。

This is an intermediate-level course in corporate finance at the graduate level. The goal of the course is to gain thorough understandings on theories and practices of corporate financing and payout policies. After taking this course, students should be able to explain how firms should design their financing and payout policies so as to maximize firm value. This is an intensive Fall Quarter 2 course.

## 授業の内容 / Course Contents

本コースではまず企業の資金調達の決定方法を学び、企業が金融市場で株式や負債などの金融証券を発行することによりどのように外部資本を調達するかを学びます。次に、それらの証券を発行することに付随する便益と費用がもたらすトレードオフを考慮して、株式と負債の発行の最適な組み合わせについて議論します。コー

スの後半では、資金調達決定が企業の資本コストへの影響を通じて、投資プロジェクトの評価にどのような影響を与える可能性があるかを検討します。また、企業が株主価値を最大化するためにどのような株主還元政策を設計すべきかについても議論します。時間があれば、企業財務の他のトピックについても触れたいと思います。

We begin with corporate financing decisions and learn how firms raise outside capital through issuing financial securities such as equity and debt in financial markets. Then we discuss an optimal mix of equity and debt issuances by considering various trade-offs between the costs and benefits associated with those securities. In the later part of the course, we examine how financing decisions could affect the valuation of investment projects through their effects on a firm's cost of capital. We will also examine corporate payout policies and discuss how firms should design their cash distribution policies to maximize shareholder value. We would also touch on other topics in corporate finance if time allows.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：An overview of corporate financing
- 3 回：How corporations issue securities (1)
- 4 回：How corporations issue securities (2)
- 5 回：Does debt policy matter? (1)
- 6 回：Does debt policy matter? (2)
- 7 回：Does debt policy matter? (3)
- 8 回：How much should a corporation borrow? (1)
- 9 回：How much should a corporation borrow? (2)
- 10 回：Financing and corporate valuation (1)
- 11 回：Financing and corporate valuation (2)
- 12 回：Payout policy (1)
- 13 回：Payout policy (2)
- 14 回：Final Test

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

You are expected to read assigned chapters in the textbook before coming to class. Please carefully review class materials after each class.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Assignments:40% Class participation:20% 最終テスト割合 :40%

### テキスト / Textbooks

Richard Brealey, Stewart Myers, Franklin Allen, Alex Edmans Principles of Corporate Finance (14th Edition)  
McGraw-Hill Education 2022 9781265074159 -

**参考文献 / Readings**

**その他/ Others**

Prerequisite: MIB Module 5 (Finance & Financial Accounting) or equivalent. Class slides will be posted online before each class.

# ADVSEM GB15

Advanced Seminar in Global Business 15  
Knowledge Creation and Innovation

西原 文乃 (NISHIHARA AYANO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN213  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項） 対面（In person）  
校地： 池袋  
学期： 春学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

知識の創造とイノベーションは、ビジネスと社会に新たな持続可能な価値を生み出す重要な原動力である。COVID-19 のパンデミックや世界的な気候危機など、VUCA の世界と呼ばれる今日、実践知リーダーシップを発揮し、イノベーションのための新たな知識を創造することの重要性はますます高まっている。このような状況において、本コースは、a) 知識創造とイノベーションの理論と実践を理解し、b) それらを実際の状況に適用できるようになることを目指す。

Knowledge creation and innovation are the key drivers for creating new and sustainable value for business and society. In today's VUCA world, it is increasingly important to create new knowledge for innovation with wise leadership. In such a context, this course aims to enable students to: a) understand the theory and practice of knowledge creation and innovation, and b) apply them to the actual situation as a leader.

## 授業の内容 / Course Contents

このコースは、ケースメソッドとグループプロジェクトを用いたアクティブラーニングコースで、a)知識創造とイノベーションの理論と概念を学び、b)ケーススタディを通して実践を理解し、c)グループプロジェクトで

実際の状況に適用する。学生は、他のコースで学んだ知識や経験を活かし、ケースディスカッションやグループプロジェクトに積極的に参加することが奨励される。

#### 注意事項

- 1) ケースは暫定的なものであり、変更される可能性がある。
- 2) ゲストスピーカーの予定は、状況により変更される可能性がある。

This is an active learning course using the case method and group project where students will a) learn the theory and concepts of knowledge creation and innovation, b) understand their practice through case studies and c) apply them to the real situation in a group project. Students are encouraged to use their knowledge and experience from other courses to actively participate in the case discussion and the group project. Please note that: 1) the cases listed are tentative and subject to change; 2) guest speakers may be arranged but may change depending on the situation.

#### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Day 1 SS1: Introduction to the course and forming "SCRUM" teams
- 2 回：Day 1 SS2: Theory 1: Knowledge and SECI
- 3 回：Day 2 SS3: Case discussion: Realizing customer satisfaction (Eisai, 7-11, Yamato, etc)
- 4 回：Day 2 SS4: Theory 2: Ba and Knowledge Ecosystem
- 5 回：Day 3 SS5: Case discussion: Realizing technological innovation (Honda, Toyota, Fujifilm, etc)
- 6 回：Day 3 SS6: Theory 3: Concept creation
- 7 回：Day 4 SS7: Case discussion: Generating new product/service ideas (Suntory)
- 8 回：Day 4 SS8: Theory 4: Wise Leadership
- 9 回：Day 5 SS9: Case discussion: Leading the change (Wise leaders)
- 10 回：Day 5 SS10: Theory 5: Social Innovation
- 11 回：Day 6 SS11: Case discussion: Revitalizing local communities (Kamikatsu, Mitaka, etc)
- 12 回：Day 6 SS12: Case discussion: Revitalizing local communities (Doi Tung, etc)
- 13 回：Day 7 SS13: Final Presentations
- 14 回：Day 7 SS14: Wrap up

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

Students are requested to read material or watch videos and do the pre-assignments before coming to the class, contribute to case discussions in class, and do the reactions after the class. Details are to be advised in class.

#### 成績評価方法・基準(成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Contributions in class:20% Pre-assignment and Reaction paper:20% Final Presentation:30% 最終レポート割合 :30%

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

Ikujiro, N., & Takeuchi, H. (1995). *The knowledge-creating company: How Japanese companies create the dynamics of innovation*. Oxford University Press.

Nonaka, I., & Takeuchi, H. (2019). *The wise company: How companies create continuous innovation*. Oxford

**履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course**

Be able to actively engage in and enjoy group work and class discussions.

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

Notebook PC or Tablet PC

**その他/ Others**

This is a sister course to Advanced Seminar in Global Business 16 - as such, these courses are advised to be taken together. Also, together with Advanced Seminar in Global Business 17 and 18 these four courses form the "Knowledge, Innovation, and Design"



# ADVSEM GB16

Advanced Seminar in Global Business 16  
Design and Innovation

レヘトネン (LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN214  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Learning outcomes for this course, upon successful completion, include the ability to:

- 1) understand design as a craft, practice, process, and outcome,
- 2) analyze and dissect design outputs from a value creation perspective,
- 3) evaluate how design has been utilized to create innovations, and 4) apply design tools and methodologies to a real-life project

## 授業の内容 / Course Contents

While design thinking was already discussed in the latter half of the 20th century, it is only in the beginning of the 21st century when design thinking started to become popular in companies and other organizations. Today, design has been understood as one of the main drivers behind creating breakthrough innovations to help organizations become more sustainable and human-centric. As such, design forms a curious counterpart to knowledge creation that also aims at creating value for businesses and the society in general. Thus, this course provides you with a solid foundation on design and innovations, and how they form a true competitive advantage

for the 21st century with knowledge creation.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction to the course, pedagogical philosophy, forming teams  
 2 回： Day 1: design-driven exercises  
 3 回： Day 2: Is it innovative Product and service design case studies  
 4 回： Day 2: Is it innovative Product and service design case studies  
 5 回： Day 3: Introduction to design research and processes  
 6 回： Day 3: Introduction to design research and processes  
 7 回： Day 4: Problem framing 1 and 2  
 8 回： Day 4: Problem framing 1 and 2  
 9 回： Day 5: Design research  
 10 回： Day 5: Design research  
 11 回： Day 6: Solution framing and concept development  
 12 回： Day 6: Solution framing and concept development  
 13 回： Day 7: Final presentations  
 14 回： Day 7: Reflections, looking ahead

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○	
個人発表	:	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:	○	
実技・実習・実験	:	○	学内の教室外施設の利用	:	○	校外実習・フィールドワーク	:	○
上記いずれも用いない予定	:							

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to familiarize themselves with the readings and / or the episodes designated for each session. Also, given that there is a course-long project, students are expected to work in teams on their project between the sessions.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final presentation:30% Active class participation:15% Individual learning diary:25%  
 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

Martin, Roger L. The Design of Business: Why Design Thinking is the Next Competitive Advantage Harvard Business Review Press 2009 9781422177808 ○

### 参考文献 / Readings

Additional readings will be provided by the instructor during the first session of the course.

Nordic Rebels ([www.nordicrebels.com](http://www.nordicrebels.com)) videos and podcasts will also be utilized.

### その他 / Others

This is a sister course to Advanced Seminar in Global Business 15 - as such, these courses are advised to be taken together. Also, together with Advanced Seminar in Global Business 17 and 18 these four courses form the "Knowledge, Innovation, and Design"

# ADVSEM GB17

Advanced Seminar in Global Business 17

Strategic Design in Social Context: Agency and Change

レヘトネン (LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN215  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Learning outcomes for this course, upon successful completion, include the ability to: 1) understand how design has shifted from making things beautiful to serving as a strategic resource, 2) critically analyze design management and leadership practices in organizations already utilizing design principles, 3) reflect on how design-driven organizations create positive and negative value not only for their immediate stakeholders but for the broader societal context, and 4) apply design tools and methodologies to a real-life project

## 授業の内容 / Course Contents

Today's problems are increasingly complex, which is why we need to approach them from multiple perspectives as well as in a way that links solutions to the bigger picture. Moreover, contemporary thinking on how companies deliver value to their customers is broadening from dyadic to complex relationships, implying that organizations do not exist in a vacuum. Within this complexity and ambiguity, design as a means to solve problems and create

propositions for the future is well positioned. Bearing this in mind, in this course we do not approach design as the ultimate solution to every problem in the world. Instead, main focus will be on understanding how design has shifted from making things pretty towards a social and environmental catalyst.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction to the course, practicalities, co- creating the syllabus
- 2 回： Why social design? Why in a business school?
- 3 回： Creating future scenarios
- 4 回： Doing design research and why it matters
- 5 回： Problem framing in design projects
- 6 回： Design as a human-centric endeavor 1
- 7 回： Design as a human-centric endeavor 2
- 8 回： Mid-term presentations
- 9 回： Ideation: moving from problems to solutions
- 10 回： Ecosystem mapping: value is not created in a vacuum
- 11 回： Strategic design revisited
- 12 回： Finalize the team assignment
- 13 回： Final presentations
- 14 回： Final reflections and AMA (Ask Me Anything)

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド (パワポ等) の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：	○	
個人発表	：	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート	：	○	
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：	○	校外実習・フィールドワーク	：	○
上記いずれも用いない予定	：							

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to familiarize themselves with the readings and / or the episodes designated for each session. Also, given that there is a course-long project, students are expected to work in teams on their project between the sessions.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final presentation:15% Active class participation:15% Individual learning diary:20%  
Mid-term presentation:10% 最終レポート割合 :40%

### テキスト / Textbooks

Elizabeth Resnick The Social Design Reader Bloomsbury 2019 9781350026063 ○

### 参考文献 / Readings

Additional readings will be provided by the instructor during the first session of the course.

Nordic Rebels ([www.nordicrebels.com](http://www.nordicrebels.com)) videos and podcasts will also be utilized.

### その他 / Others

This is a sister course for Advanced Seminar in Global Business 18 - in addition, Advanced Seminar in Global Business 15 and 16 provide the foundations for this course.

# ADVSEM GB18

Advanced Seminar in Global Business 18

Strategic Design in Organizational Contexts: Envisioning futures

レヘトネン (LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN216

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期 2

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Learning outcomes for this course, upon successful completion, include the ability to: 1) understand how design has shifted from making things beautiful to serving as a strategic resource, 2) critically analyze design management and leadership practices in organizations already utilizing design principles, 3) reflect on how design-driven organizations create positive and negative value not only for their immediate stakeholders but for the broader societal context, and 4) apply design tools and methodologies to a real-life project

## 授業の内容 / Course Contents

Today's problems are increasingly complex, which is why we need to approach them from multiple perspectives as well as in a way that links solutions to the bigger picture. Moreover, contemporary thinking on how organizations deliver value to their customers is broadening from dyadic to complex relationships, implying that organizations do not exist in a vacuum. Within this complexity and ambiguity, design as a means to solve

problems and create propositions for the future is well positioned. Bearing this in mind, in this course we do not approach design as the ultimate solution to every problem in the world. Instead, main focus will be on understanding how design has shifted from making things pretty towards a catalyst for organizational change.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction to the course, pedagogical philosophy, practicalities
- 2 回： Why strategic design? Why in a business school?
- 3 回： Design thinking in organizations
- 4 回： Introducing the brief, create your project plan
- 5 回： Elements of effective audiovisual storytelling
- 6 回： Introduction to videography
- 7 回： Identifying actors and what problems they are solving
- 8 回： Mid-term presentations
- 9 回： Design as storytelling
- 10 回： Status update
- 11 回： Production phase 1: independent work
- 12 回： Production phase 2: independent work
- 13 回： Final presentations
- 14 回： Final reflections and AMA (Ask Me Anything)

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド (パワポ等) の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：	○	
個人発表	：	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート	：	○	
実技・実習・実験	：	○	学内の教室外施設の利用	：	○	校外実習・フィールドワーク	：	○
上記いずれも用いない予定	：							

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to familiarize themselves with the readings and / or the episodes designated for each session. Also, given that there is a course-long project, students are expected to work in teams on their project between the sessions.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Active class participation:15% Final presentation:15% Individual learning diary:20%  
Mid-term presentation:10% 最終レポート割合 :40%

### テキスト / Textbooks

Kees Dorst Frame Innovation MIT Press 2015 9780262324311 ○

### 参考文献 / Readings

Additional readings will be provided by the instructor during the first session of the course.

Nordic Rebels ([www.nordicrebels.com](http://www.nordicrebels.com)) videos and podcasts will also be utilized.

### その他 / Others

This is a sister course for Advanced Seminar in Global Business 17 - in addition, Advanced Seminar in Global Business 15 and 16 provide the foundations for this course.

# ADV SEM GB3

Advanced Seminar in Global Business 3

Issues of International Law which Japanese Corporations face

竹内 雅俊 (TAKEUCHI MASATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN231

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項） 対面

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本講義の目的はビジネスと国際法学の接点を模索することにある。そのために国際法の基本的な論点を検討した後に、具体的な紛争（貿易紛争や武力紛争、国際裁判）を検討し、自身の問題意識とつなげていくことを目標とする。

This course aims (1) to provide a basic understanding of international public law and its use in the international business arena and (2) develop a practical problematique for students through discussion of various topics which require both knowledge of international law and international business.

## 授業の内容 / Course Contents

本講義は、わが国（とりわけ企業）がグローバル経済のなかで直面する国際紛争の法的側面を紹介する。国際法の視座より古典的な事件や時事問題をみていく。取り上げるテーマは、外交的保護権、主権免除、紛争の平和的解決など

This course provides an introduction to the international legal aspect of international disputes which Japan (particularly corporations) face in the globalized economy. Drawing upon classic and contemporary cases and

texts from various international courts, discussions of issues such as diplomatic protection, sovereign immunity, international dispute settlement, and etc. Discussions shall be invited.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction: What is International Law and its Implications to Corporations?
- 2 回：International Law and Domestic Law
- 3 回：What is Sovereignty?: Sovereign Immunity
- 4 回：What is a State?: Unrecognized States in Domestic Courts
- 5 回：Dispute Settlement and International Courts
- 6 回：Using foreign Law in Courts
- 7 回：Foreign Investment and ICSID
- 8 回：WTO and Dispute Settlement pt. 1
- 9 回：WTO and Dispute Settlement pt. 2
- 10 回：FTAs, EPAs and the TPP
- 11 回：Diplomatic Protection of Corporations
- 12 回：Business and Human Rights
- 13 回：Human Rights and State Responsibility
- 14 回：UN Global Compact and CSR

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Explorative learning will be announced as needed.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100%      Participation in Discussion:60%      最終レポート割合 :40%

### テキスト / Textbooks

None

### 参考文献 / Readings

Ian Brownlie Basic Documents in International Law Oxford Univ. Press 2009 0199217718

Markos Karavias Corporate Obligations under International Law Oxford Univ. Press 2014 0199674388

John Ruggie Just Business: Multinational Corporations and Human Rights W. W. Norton & Company 2013 9780393062885

### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

Course participants are expected to read provided material prior to class. Also, active participation in discussions are most welcomed.

### その他 / Others

United Nations (International Law) URL: <http://www.un.org/en/law/>



# ADV SEM GB5

Advanced Seminar in Global Business 5  
Research Methods/Data Analysis

ビョン, K. / 辻 洋右 (BYON KUNWUNG/ TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN251  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The objectives of the course are: (a) to introduce students to the concepts associated with research method and statistical analyses that are widely adopted in sport and business management research, (b) to provide in-depth understanding of theoretical aspects of selected research methods and statistical analyses

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn (a) how to evaluate the appropriateness of the research methodology used in a research study, (b) how to evaluate reliability and validity of the research instrument used in the study, (c) how to assess the clarity and consistency of the results, and (d) understand what statistical methods should be used given the characteristics of data, (e) how to perform data analyses, (f) how to interpret the results, and (g) how to write the results derived from data analyses. The class will be taught through lectures, evaluation of research articles, and demonstration/practice of data analyses.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction of the course/lectures

- 2回：What is science, research, and statistics  
 3回：Concepts associated with data analysis  
 4回：Measurement (levels of measurement, reliability, and validity)  
 5回：Descriptive statistics and Correlation  
 6回：Sampling Techniques  
 7回：Analysis related to group differences between two groups (One-sample, Independent, and Paired T-test)  
 8回：Questionnaire development  
 9回：Analysis related to group differences among three or more groups (ANOVA)  
 10回：Survey Research  
 11回：Analysis related to group differences among three or more groups (ANOVA)  
 12回：Experimental Research  
 13回：Analysis related to relationships between/among variables (Simple and Multiple Regression)  
 14回：Test

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to read all the required readings to prepare class discussion and presentation.

Students are required to purchase a book on statistical analysis.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Data Analyses:30% Data Interpretation:30% Research Presentation:15% Test:25%

#### テキスト / Textbooks

Field, Andy Discovering Statistics Using SPSS (5th edition) Sage 2013 9781526445766 ○

#### 参考文献 / Readings

Hair, Black, Babin, & Anderson Multivariate Data Analysis Cengage 2018 9781473756540

#### その他 / Others

The above course schedule is tentative and is subject to change. Detailed syllabus will be provided at the beginning of the class.

# ADV SEM GB 8

Advanced Seminar in Global Business 8  
Managerial Negotiations

モルトビー (MALTBY SCOTT)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN281  
授業形態： オンライン (全回オンライン)  
授業形態 (補足事項) 発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 の利用可  
校地： 池袋  
学期： 秋学期 2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針 (DP) や教育課程編成の方針 (CP) に  
基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The purpose of this course is to provide participants the opportunity to learn how to become more effective negotiators.

## 授業の内容 / Course Contents

Activities used to accomplish the above goal include personality inventories, negotiation role plays and exercises, case studies, discussions and lectures. The focus of the course will be on processes of negotiating and the emphasis is on hands on learning, although theories of negotiation and research examining negotiation will also be covered. The course is highly interactive and full participation is required.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：An Overview of Negotiation
- 2 回：Distributive Bargaining
- 3 回：Integrative Negotiations
- 4 回：Claiming Value vs. Creating Value

- 5回：Planning for Negotiations  
 6回：Persuasion and Negotiations  
 7回：Email Negotiations  
 8回：Communication Skills for Negotiations  
 9回：Cross-cultural Negotiations  
 10回：Multi-party Negotiations  
 11回：Negotiating in Teams  
 12回：Case Study Analysis  
 13回：Personality and Individual Differences in Negotiation  
 14回：Review - Best Practices in Negotiation

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	○	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:						

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Selected readings from a variety of sources will be distributed throughout the course. There will also be a bibliography distributed for those wishing to read deeper on the subject.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Class Participation:30% Group Negotiation Paper:20% Individual Case Analysis:20%  
 Negotiation Journal and Paper:30%

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

# ADV SEM GB9

Advanced Seminar in Global Business 9  
Cultural Dimensions in International Business

フォウラー (FOWLER RANDY)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN291  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course introduces students to current thought on cultural dimensions in international business. By the end of the course, students should be familiar with the key concepts and theories of culture in business, and be fully equipped to critically evaluate the strengths and weaknesses of such theories. The course will provide students with the knowledge and tools to successfully navigate complex cross-cultural issues in their international business careers, going beyond facile explanations to a more critical understanding of culture and its importance to the international business field.

## 授業の内容 / Course Contents

This course consists of lectures and readings to introduce students to current thought on cultural dimensions in international business. Students will be exposed to a broad range of perspectives on cultural dimensions, and will develop the critical ability to evaluate them for strengths and weaknesses.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： What is Culture and why is it Relevant to International Business?

- 2回：Individualism/Collectivism (I)  
 3回：Individualism/Collectivism (II)  
 4回：Power Distance  
 5回：Masculinity/Femininity; Uncertainty Avoidance  
 6回：Long-Term Orientation  
 7回：Presentations (I)  
 8回：Presentations (II)  
 9回：Direct vs. Indirect Communication  
 10回：Cultural Distance  
 11回：Culture, Markets, and Economics (I)  
 12回：Culture, Markets, and Economics (II)  
 13回：Culture, Markets, and Economics (III); Review  
 14回：Final Test

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド* (パワポ* 等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:		:			:	

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to do any assigned readings before class, and to be prepared to discuss them.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Presentation:35% Class Participation:25% 最終テスト割合 :40%

#### テキスト / Textbooks

None

#### 参考文献 / Readings

#### その他 / Others

.

# ADVSEM GB10

Advanced Seminar in Global Business 10  
Global Game Industry

レヘトネン (LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN295  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Learning outcomes for this course, upon successful completion, include the ability to:

- 1) gain an up-to-date overview of the dynamics and trends of the game industry, its historical origins and future directions,
- 2) understand managerial practices in game companies and analyze specific matters associated with global games distribution,
- 3) evaluate game company internationalization strategies through platforms,
- 4) analyze game design and customer service from an ethical point of view, and design alternative, improved solutions based on this, and
- 5) experiment, through prototyping, with how gameful elements can be integrated across different organizational functions and industries.

## 授業の内容 / Course Contents

Since the beginning of the 21st century, the game industry has grown rapidly, surpassing the film and music

industries in global revenue. Located at the intersection of technological innovation and artistic creativity, the game industry is constantly renewing itself and pushing forward existing business models. With the proliferation of Internet and digital distribution, the game industry is truly global, innovative and digital, providing a rich context for revisiting international business studies. This course will address various issues that are central to managing successfully a gaming firm, such as: business model and business development strategy; fundamentals of monetization and analytics of games, user acquisition approaches and marketing; localization and global expansion as well as ethical game design.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction to the course, team formation and team assignment presentation
- 2 回： From "US v. Japan" to "global hotspots"
- 3 回： Ideation: how game development companies are creating game ideas
- 4 回： Game development processes
- 5 回： Value creation and capture logics in digitized industries
- 6 回： Business models and monetization design
- 7 回： User testing and quality assurance
- 8 回： Consumers as players, ethics of video games, and playing games (for pedagogical purposes)
- 9 回： Branding, marketing, community management
- 10 回： Reflection session and what happens next in the course
- 11 回： Game industry case studies: Rovio and Frogmind
- 12 回： Topic of your choice
- 13 回： Global game industry and its future
- 14 回： Reflection session and final team presentations

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド* (パワポ* 等) の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：	○
個人発表	：	グループ発表	：	○	ディスカッション・ディベート	：	○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：	
上記いずれも用いない予定	：		：			：	

### 授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to familiarize themselves with the readings and other materials assigned for each session as well as work on the team assignment outside the sessions.

### 成績評価方法・基準(成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final presentation:15% Active class participation:15% Peer evaluation:10%

Individual learning diary:30% 最終レポート割合 :30%

### テキスト/ Textbooks

Aphra Kerr Global Games Production, Circulation and Policy in the Networked Era Routledge 2017  
9780415858878 ○

### 参考文献 / Readings

Readings and other materials will be provided by the instructor.

### その他/ Others



This course is intended for everyone interested in the game industry / creative industries, not only for hardcore gamers. No prior knowledge about the industry is required, a curious mind is more than enough :)

# ADVSEM GB11

Advanced Seminar in Global Business 11

Thesis Research Seminar for Inbound Tübingen IDD Program and Outbound MIB IDD Students

竹澤 伸哉／デイヴィス, S／レヘトネン (TAKEZAWA NOBUYA/ DAVIS,SCOTT T./ LEHTONEN  
MIIKKA J.)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN296  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This seminar is a support course for MIB IDD students from University of Tübingen and outbound MIB IDD students.

For U. of Tübingen students, this seminar is designed to help students better pace and manage their research towards the MA thesis. Note, consultation on the content of the thesis is primarily conducted with the supervisor at Tuebingen.

For MIB outbound students, this seminar introduces students to research methodology and writing academic papers so that they are better prepared to undertake research at partner institutions.

## 授業の内容 / Course Contents

Students are asked to meet with the seminar instructor(s) and/or an assigned MIB faculty on a regular basis to report on the progress of their masters thesis or research project. Seminar faculty provide general feedback on the progress reports. The final written report usually includes a well documented literature review and possibly

preliminary findings (qualitative and/or quantitative) for the thesis (research project). We recommend MIB outbound students focus on writing a literature review.

Details regarding scheduling, assignment deadlines, and other practicalities will be covered in the first class and posted on Canvas.

Special online zoom sessions will be announced at least one week in advance.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Overview of the Seminar
- 2 回：Doing Research: Thoughts on Economic and Empirical Research
- 3 回：Doing Research: Finding Your Voice in Qualitative Research
- 4 回：Discuss Research Proposal
- 5 回：Discuss Research Proposal
- 6 回：Prepare for Midterm Presentation
- 7 回：Midterm Presentation
- 8 回：Consultation on Thesis (Research Project)
- 9 回：Consultation on Thesis (Research Project)
- 10 回：Consultation on Thesis (Research Project)
- 11 回：Consultation on Thesis (Research Project)
- 12 回：Prepare for Final Presentation
- 13 回：Final Presentations
- 14 回：Wrap-up

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Prepare progress reports (written or oral) prior to each meeting.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Participation and Progress Reports:35% Midterm Presentation:15% Final Presentation:20% Final Paper:30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

### 学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

Students should have a PC notebook and/or pad and a stable access to the internet (from home).

### その他 / Others

Course schedule and content is subject to change (all changes/modifications will be posted on Canvas and announced in class). Students are expected to check Canvas and their Rikkyo email account on a regular basis for announcements.

# ADVSEM GB13

Advanced Seminar in Global Business 13  
Project Management Practices for Leaders

ヤズジ, メテ (YAZICI METE)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN298  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

After taking this course, students should:

- 1) be able to understand what projects are and how they can apply project management concepts and techniques in business
- 2) be able to understand the role and skills required for project managers/team leaders
- 3) be able to learn about the new agile project management concepts and techniques
- 4) be able to understand how project management and agile thinking can be applied in starting businesses

## 授業の内容 / Course Contents

The course will prepare the student to take responsibility for small to mid-size projects.

Understanding the general concepts and skills will help the students plan and manage important business initiatives as leaders.

Familiarity with these concepts will broaden students' perspectives in applying their skills in managing projects.

In many companies, successful project managers can be considered as good candidates for management roles.

The course will briefly highlight the leadership roles expected of project managers.

Recently, companies have been shifting towards more flexible and faster ways of delivering results. The course will provide an overview of Agile Project Management and Lean methods in the second half.

The course will ask students to manage a model project and utilize their knowledge in creating specific project outcomes.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1回：Overview: Projects at work and in our lives. How project management can help in careers.

2回：Initiation phase activities

3回：Planning phase activities

4回：Execution phase

5回：Communication skills for project management and stakeholder management

6回：Monitoring phase

7回：Closing, reporting, lessons learned

8回：Agile movement

9回：Running agile projects

10回：Lean movement

11回：Lean startups

12回：Design thinking and how to run design projects

13回：Project presentations

14回：Program and portfolio management

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to be prepared to engage in-class discussion and in-class exercises by reading/reviewing the assigned material and notes.

The course will ask students to manage a model project and utilize their knowledge in creating specific project

### 成績評価方法・基準(成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Final Project and Presentation:40% Assignments:40% Participation and Attendance:20%

### テキスト/ Textbooks

Robert K. Wysocki Effective Project Management: Traditional, Agile, Extreme, Hybrid Wiley 2019  
1119562805 -

Brett Harned Project Management for Humans: Helping People Get Things Done Rosenfeld Media 2017  
1933820519 -

### 参考文献 / Readings

# L's h i p i n G l b l O r g

Leadership in Global Organization

フォウラー (FOWLER RANDY)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN301  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course provides an in-depth understanding of a broad range of theories of leadership, and factors leading to the successful management of organizations. The content of the course focuses firstly on knowledge which organizational leaders must possess about organizational behavior, such as human resources management, employee motivation and morale, job performance, and organizational change. The course then focuses on leadership itself, and theories and findings about the traits and practices which result in leadership success. Students will engage in discussion and activities that will help them to understand and identify those behaviors and traits which may bring out the best in their leadership capabilities. By the course's conclusion, students will be equipped with a broad array of perspectives, tools, and insights to maximize their potential to successfully lead organizations.

## 授業の内容 / Course Contents

Lectures will provide a solid grounding in the material, while students will be expected actively to participate and contribute to class discussions and activities.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：Issues in Organizational Behavior I: Affect/Mood; Cooperation and competitiveness; Goal setting; Relational vs. Transactional organizational cultures; Voice vs. Silence
- 3 回：Issues in Organizational Behavior II: Pygmalion & Galatea Effects; The importance of context in organizational behavior; Feedback-seeking behavior; Bullying; Job Performance
- 4 回：Issues in Organizational Behavior III: Perceptions of Justice; Problem-solving and Creativity; Identity and Emotion; Employee Motivation
- 5 回：Issues in Organizational Behavior IV; Leadership: Obedience to Authority; Cognitive Dissonance; Introduction to Leadership
- 6 回：Leadership I: Trait Theory; Behavioral Theories
- 7 回：Leadership II: Behavioral Theories (cont'd); Style Approach
- 8 回：Leadership III: Situational Theories; Contingency Theory
- 9 回：Leadership IV: Charisma; "Authentic" Leadership
- 10 回：Leadership V: Followership; Psychodynamic Perspectives
- 11 回：Leadership VI: Emotional Intelligence; Power
- 12 回：Presentations I
- 13 回：Presentations II
- 14 回：Final Test

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	○	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:						

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students will be assigned a book-length biographical reading to analyze as a leadership case. Students should also review concepts and other material in advance of class, and be prepared to discuss them.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Presentation:35% Class Participation:25% 最終テスト割合 :40%

#### テキスト / Textbooks

None

#### 参考文献 / Readings

# B u s & S o c i n A s i a

Business and Society in Asia

Japan and Asia: Corporations' FDI Strategies and Growth Management

アブダーリ (ABU-DARI MAZEN M. M.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN302

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6201

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

In the last decades, many Asian corporations, and corporations in Asia, have successfully passed through a process of growth and development in an impressive way. The managers' decisions to expand abroad are thought to be of high importance in this process. We try to investigate and learn from the managers' trade off between the risk of investment abroad and the growth of their firms.

## 授業の内容 / Course Contents

The first part of this course explains the theory of Foreign Direct Investment (FDI), and its history in Japan. This is followed by discussing its determinants, in the case of Japan, and how the Japanese companies look at investment abroad.

The second part focuses on some case studies of firms investing in Asia. We aim to analyze and learn from the decisions made by the managers to expand their businesses in a number of Asian countries.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction, and FDI theory



- 2回：Japanese FDI outflows + Macroeconomic, institutional, and sectoral determinants
- 3回：Japanese investors' perception of location advantages + Japanese foreign direct investment in Southeast Asia
- 4回：Japanese domestic companies' perception of investment abroad + Foreign exchange rates and Japanese foreign direct investment in Asia
- 5回：Determinants of Japanese FDI flows + FDI in Japan
- 6回：China: FDI in China: FamilyMart China expansion
- 7回：China: Shiseido in China, when politics interfere with business
- 8回：Midterm presentation
- 9回：Japan: Uniqlo a stitch in time
- 10回：Japan: Suntory highball revolution: Can a type of drink save an industry
- 11回：Japan: The survival strategies of Sony, Hitachi, and Canon
- 12回：India: Managing unsettled labor relations at the Toyota subsidiary in India
- 13回：Korea: Kia motors facing globalization challenges
- 14回：Philippine: Strategies for the future of Philippine Airlines

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Instructions to be given during the class.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Group presentations:25% In-class discussion:25% Midterm presentation:25%

最終レポート割合：:25%

Full attendance is required. Attendance will be required to acquire the course credits in general.

#### テキスト / Textbooks

Mohan Lakhera Japanese FDI Flows in Asia: Perspectives and Challenges Palgrave MacMillan 2008 ○

Parissa Haghirian Case Studies in Asian Management World Scientific Publishing Company 2013 ○

Additional reading materials to be given during the class.

#### 参考文献 / Readings

# Cases in Mktg Str&Op

Cases in Marketing Strategy and Operations  
Dissecting Design Marketing Management

レヘトネン (LEHTONEN MIIKKA J.)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN304  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6201  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Learning outcomes for this course, upon successful completion, include the ability to: 1) understand how design, marketing, and management intersect; 2) reflect on design's role in marketing and branding; 3) analyze different value creation mechanisms and approaches; and 4) familiarize yourself with engaging and participatory marketing strategies

## 授業の内容 / Course Contents

At first sight combining design, marketing, and management might seem like a mixed bag of disciplines. This is why this course aims at dissecting them to show how and why they are important from the perspective of managing design-driven organizations. In essence, the aim of this course is to analyze intersections between design, marketing, and management by covering seminal texts from each domain. In more concrete terms, we will cover topics such as: what is value, consumers as co-creators of value, designing strategy, innovation and design management, and organizations as parts of systemic changes and innovations.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction to the course, setting the scene
- 2 回：Consumption as identity
- 3 回：A brief, yet fascinating introduction to design
- 4 回：Value creation and capture: broadening our understanding
- 5 回：Design meets marketing meets strategy
- 6 回：New wave of consumer engagement
- 7 回：New wave of studying consumers and delivering value propositions
- 8 回：Design as strategic adaptation
- 9 回：Design as strategic adaptation
- 10 回：Innovations as balancing between novelty and traditions
- 11 回：Strategy and design - an odd couple?
- 12 回：Final presentations
- 13 回：Final presentations
- 14 回：Final reflections and AMA (Ask Me Anything)

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○
個人発表	:	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:	
上記いずれも用いない予定	:		:			:	

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to familiarize themselves with the readings and / or the episodes designated for each session. In addition, the final team assignment requires students to work outside the sessions.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100%    Active class participation:15%    Individual learning diary:25%    Peer evaluation:10%  
Case studies:10%    最終レポート割合 : :40%

#### テキスト / Textbooks

Giulia Calabretta et al. Strategic Design Laurence King Publishing 2016 9789063694456 ○

#### 参考文献 / Readings

Additional readings will be provided by the instructor during the first session of the course.  
Nordic Rebels ([www.nordicrebels.com](http://www.nordicrebels.com)) videos and podcasts will also be utilized.

# GB Initiative WS

Good Business Initiative Workshop

Theory & Practice of Responsible Business Model Development

デイヴィス, S (DAVIS,SCOTT T.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN306

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The course is designed to help students develop a comprehensive theoretical and practical understanding of the four themes constituting the Good Business Initiative approach to responsible business: (1) Ecosystems, (2) Systems & Design Thinking, (3) Partnership and (4) Transformation.

## 授業の内容 / Course Contents

The course consists of a series of discussions on the four themes constituting the Good Business Initiative approach to responsible business: (1) Ecosystems, (2) Systems & Design Thinking, (3) Partnership and (4) Transformation. Each theme will be taken as a separate stage in order across the semester. At each stage students will be introduced to a number of important and influential theoretical models and frameworks in each of the respective four themes. Through a process of joint presentation and reflection, students will build up a schematical representation of the key concepts in each theme and map the relationships between them. Based upon this, a business case analysis and discussion will be used to explore the practical meaning and utility of each theoretical approach as a “lens” to enable insights into the meaning, impact and value of business activity.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1 回：Orientation Session
- 2 回：Class 1: Stage 1 - Group discussions - Ecosystems models and frameworks.
- 3 回：Class 2: Stage 1 - Group discussions - Ecosystems models and frameworks.
- 4 回：Class 3: Stage 1 - Case analysis - analytical application of model of key concepts in ecosystems theory.
- 5 回：Class 4: Stage 2 - Group discussions - Systems & Design Thinking models and frameworks.
- 6 回：Class 5: Stage 2 - Group discussions - Systems & Design Thinking models and frameworks.
- 7 回：Class 6: Stage 2 - Case analysis - analytical application of model of key concepts in Systems & Design Thinking theory.
- 8 回：Class 7: Stage 3 - Group discussions - Partnership models and frameworks.
- 9 回：Class 8: Stage 3 - Group discussions - Partnership models and frameworks.
- 10 回：Class 9: Stage 3 - Case analysis - analytical application of model of key concepts in Partnership theory.
- 11 回：Class 10: Stage 4 - Group discussions - Transformation models and frameworks.
- 12 回：Class 11: Stage 4 - Group discussions - Transformation models and frameworks.
- 13 回：Class 12: Stage 4 - Case analysis - analytical application of model of key concepts in Transformation theory.
- 14 回：Wrap-up Session

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

This course will require students to complete readings and work on individual written reports outside of class hours. Group work for practical exercises will be conducted during class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% Theory Presentations:40% Class Discussion:40% Case Analysis:20%

Full attendance is important as this course is based upon the discussion of an ordered series of closely related themes. Absences will negatively affect a students ability to achieve the course objectives. Unexcused absences will be penalised.

**テキスト/ Textbooks**

Readings will be indicated at the Orientation Session.

**参考文献 / Readings****学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

Students will be required to bring a laptop or tablet computer to each class session. This is to enable access to (1) the online readings and (2) an online whiteboard that will be used to record and augment the boardwork done on the physical black/white b

**その他/ Others**

All notifications, readings and assignments will be managed online using Canvas LMS.

# Business Japanese I1

## Business Japanese I1

小松 満帆 (KOMATSU MAHO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN351  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 1  
科目ナンバリング： MIB5700  
使用言語： 日本語  
授業形式： 語学  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J4 and J5. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJI aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in certain business situations.

### 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJI1, 2, 3, 4 & 5 as a set.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of elementary grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation, attendance and participation:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese I 2

## Business Japanese I2

富倉 教子 (TOMIKURA KYOKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN352  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 1  
科目ナンバリング： MIB5700  
使用言語： 日本語  
授業形式： 語学  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J4 and J5. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJI aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in certain business situations.

### 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJI1, 2, 3, 4 & 5 as a set.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of elementary grammar and practice of Japanese language in various business contexts.



- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation, attendance and participation:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese I3

## Business Japanese I3

長谷川 孝子 (HASEGAWA TAKAKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN353  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 1  
科目ナンバリング： MIB5700  
使用言語： 日本語  
授業形式： 語学  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J4 and J5. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJI aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in certain business situations.

### 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJI1, 2, 3, 4 & 5 as a set.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of elementary grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation, attendance and participation:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese I4

## Business Japanese I4

小森 由里 (KOMORI YURI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN354  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 1  
科目ナンバリング： MIB5700  
使用言語： 日本語  
授業形式： 語学  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J4 and J5. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJI aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in certain business situations.

### 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJI1, 2, 3, 4 & 5 as a set.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of elementary grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation, attendance and participation:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese I5

## Business Japanese I5

小松 満帆 (KOMATSU MAHO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN355  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 1  
科目ナンバリング： MIB5700  
使用言語： 日本語  
授業形式： 語学  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J4 and J5. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJI aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in certain business situations.

### 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJI1, 2, 3, 4 & 5 as a set.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of elementary grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation, attendance and participation:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese A1

Business Japanese A1

保坂 明香 (HOSAKA ASUKA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN356

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 1

科目ナンバリング： MIB5700

使用言語： 日本語

授業形式： 語学

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J6 and J7. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJA aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in a wide range of business situations.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJA1, 2, 3, 4 and 5 as a set.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction: Classes will consist of a review of intermediate and advanced level grammar and practice of Japanese language in various business contexts.



- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation and attendance:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese A2

Business Japanese A2

富倉 教子 (TOMIKURA KYOKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN357

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 1

科目ナンバリング： MIB5700

使用言語： 日本語

授業形式： 語学

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J6 and J7. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJA aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in a wide range of business situations.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJA1, 2, 3, 4 and 5 as a set.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction: Classes will consist of a review of intermediate and advanced level grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation and attendance:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese A3

Business Japanese A3

長谷川 孝子 (HASEGAWA TAKAKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN358

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 1

科目ナンバリング： MIB5700

使用言語： 日本語

授業形式： 語学

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J6 and J7. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJA aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in a wide range of business situations.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJA1, 2, 3, 4 and 5 as a set.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of intermediate and advanced level grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation and attendance:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese A4

## Business Japanese A4

小森 由里 (KOMORI YURI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KN359

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 1

科目ナンバリング： MIB5700

使用言語： 日本語

授業形式： 語学

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J6 and J7. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJA aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in a wide range of business situations.

### 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJA1, 2, 3, 4 and 5 as a set.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction: Classes will consist of a review of intermediate and advanced level grammar and practice of Japanese language in various business contexts.

- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation and attendance:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# Business Japanese A5

Business Japanese A5

泉 大輔 (IZUMI DAISUKE)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KN360  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 1  
科目ナンバリング： MIB5700  
使用言語： 日本語  
授業形式： 語学  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is basically designed for students currently at levels J6 and J7. Participants are approved by the Director of the Master of International Business in consultation with the Center for Japanese Language Education. BJA aims to equip students with the Japanese language communications skills required to perform independently in a wide range of business situations.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will be introduced to and given the opportunity to practice language necessary for basic conversation in a business context, meetings, negotiations and telephone communications. This will include practical experience in using expressions within different interpersonal contexts, and writing basic business documents and communications. Full details of the course design will be given at the orientation at the start of the semester.

NOTE: Students are required to register for BJA1, 2, 3, 4 and 5 as a set.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction: Classes will consist of a review of intermediate and advanced level grammar and practice of Japanese language in various business contexts.



- 2回：Class 1.  
 3回：Class 2.  
 4回：Class 3.  
 5回：Class 4.  
 6回：Class 5.  
 7回：Class 6.  
 8回：Class 7.  
 9回：Class 8.  
 10回：Class 9.  
 11回：Class 10.  
 12回：Class 11.  
 13回：Class 12.  
 14回：Class 13.

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Preparation for each class will be announced at the end of each preceding class.

In order to facilitate role playing and other exercises, students are expected to wear business dress to classes.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Preparation and attendance:30% Assignments and homework:30% Mid-term project:20% End of term project:20%

#### テキスト / Textbooks

No textbook. References and material will be distributed in class as needed.

#### 参考文献 / Readings

References will be assigned in class as necessary.

# MA Thesis 1

Master's Thesis Supervision 1

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT002  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6011  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回：How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回：How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回：Presenting a thesis proposal
- 6 回：How to make a research plan 1
- 7 回：How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# MA Thesis 2

Master's Thesis Supervision 2

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT052  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6011  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction
- 2 回： How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回： How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回： How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回： Presenting a thesis proposal
- 6 回： How to make a research plan 1
- 7 回： How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# MA Thesis 3

Master's Thesis Supervision 3

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT102  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6011  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回：How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回：How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回：Presenting a thesis proposal
- 6 回：How to make a research plan 1
- 7 回：How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# MA Thesis 4

Master's Thesis Supervision 4

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT152  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6011  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回：How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回：How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回：Presenting a thesis proposal
- 6 回：How to make a research plan 1
- 7 回：How to make a research plan 2



- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# Research Methodology

Research Methodology

山田 恭平 (YAMADA KYOHEI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT201  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The primary objective of the course is to familiarize students with practical methods and tools useful for conducting independent research projects. I expect students to be able to critically evaluate scholarly works (being good consumers) as well as design and implement research projects (being good producers). The methods and tools acquired in the course should help students complete their master's theses.

## 授業の内容 / Course Contents

We will first study basic ideas of social scientific research. We will then focus on the following four methods and tools: (1) randomized experiment, (2) survey, (3) survey experiment, and (4) case study. For each of these methods, we will learn the methodology and study its practical applications. The course will be based primarily on lectures.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：Finding a research question; theory building
- 3 回：Correlation and causation

- 4回：Randomized experiment: basics  
 5回：Randomized experiment: examples  
 6回：Survey: questionnaire  
 7回：Survey: sampling  
 8回：Survey experiment: vignette, list, and conjoint  
 9回：Presentation (articles on experiment)  
 10回：Presentation (articles on survey)  
 11回：Quiz  
 12回：Case selection method and qualitative research  
 13回：Presentation on research proposal  
 14回：Presentation on research proposal

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	: ○	スライド (パワポ等) の使用	: ○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	: ○	グループ発表	: ○	ディスカッション・ディベート	: ○
実技・実習・実験	: ○	学内の教室外施設の利用	:	校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to come to class and encouraged to read reference materials before and after each class.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Presentation 1:20% Presentation 2:20% Quiz:20% Writing assignment:40%

#### テキスト / Textbooks

None

#### 参考文献 / Readings

McDaniel, Carl, and Roger Gates. Marketing Research (International Student Version) John Wiley & Sons 2013

Rea, Louis M., and Richard A. Parker. Designing and Conducting Survey Research: A Comprehensive Guide (Third Edition) Jossey-Bass 2005 9780787975463

Gerber, Alan S., and Donald P. Green. Field Experiments: Design, Analysis, and Interpretation W.W. Norton 2012 9780393979954

Other reference materials will be announced in the first meeting.

# Applied Microeconomics

Applied Microeconomics

林 経洋 (LIN CHING-YANG)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT211  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course covers the intermediate-level microeconomics concepts and the empirical applications. These contents are the foundations for policy analysis and essential to other applied elective courses. In addition, students will learn the knowledge and tools required for their thesis research.

## 授業の内容 / Course Contents

We study theoretical models to analyze consumers' and firms' behavior. Specifically, to explore the policy effects on the aggregate economy, we study the concept of general equilibrium. Moreover, to understand the interactions between firms' strategies or between different interest groups, we study the concept of game theory and Nash equilibrium. In addition, we will also cover several topics on experimental economics.

For the first two hours of the class, we will devote our attention to microeconomic theory. This component is vital for both your thesis and subsequent coursework. In the remaining hour, we will discuss empirical or behavioral economics. These topics come from Predictably Irrational: The Hidden Forces" by Dan Ariely.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Preference and Utility maximization

- 2回：Demand function: the derivation and application  
 3回：Applications: The consumer's decision making on saving, labor supply, and others  
 4回：Uncertainty  
 5回：The firms' decision making: production function and cost function  
 6回：Profit maximization and cost minimization  
 7回：General equilibrium and welfare (I)  
 8回：General equilibrium and welfare (II)  
 9回：Game Theory (1): basics and the concept of Nash Equilibrium  
 10回：Game Theory (2): Repeated game and the Sub-game Perfect Nash Equilibrium  
 11回：Game Theory (3): Applications  
 12回：Topics on experimental economics (I)  
 13回：Topics on experimental economics (II)  
 14回：Topics on experimental economics (III)

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Readings on reference books and selected papers.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% assignment:10% Midterm:30% presentation:25% 最終テスト割合 :35%

#### テキスト / Textbooks

Walter Nicholson and Christopher M. Snyder Microeconomic Theory: Basic Principles and Extensions 12 ed.  
 South-Western 2016 1305505794 -

#### 参考文献 / Readings

Hal R. Varian Microeconomic Analysis, 3rd Edition W. W. Norton & Company 1992 9780393957358

Dan Ariely Predictably Irrational, Revised and Expanded Edition: The Hidden Forces That Shape Our  
 Decisions Harper Perennial 2010 0061353248

Steven D. Levitt and Stephen J. Dubner Freakonomics: A Rogue Economist Explores the Hidden Side of  
 Everything William Morrow Paperbacks 2009 0060731338

Daniel Kahneman Thinking, Fast and Slow Penguin 2012 0141033576

#### その他 / Others

Lecture notes, slides, references, and assignments will be shared in the class folder in Google drive.

The important information will be announced by email.

# E c o n m c s & M g m t S t a t s

Statistics for Economics and Management

To provide the full scope of the fundamental topics in statistics for economic and business analysis.

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KT221
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	
校地：	池袋
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	MIB6211
使用言語：	英語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

## 授業の目標 / Course Objectives

Statistics is the science of learning from data, and of measuring, controlling, and communicating uncertainty. (Davidian, M. and Louis, T. A., Science, 06 Apr 2012).

This course introduces basic concepts in probability and statistics as a tool for empirical analysis in the issues of economics, business, and public management to master programs' students. The goal of this course is to enhance the students' quantitative analytical skills in writing term papers and master's dissertations.

## 授業の内容 / Course Contents

This course provides the full scope of the fundamental topics within statistics and covers descriptive statistics, basic probability theory, sampling distributions, confidence interval estimation, hypothesis testing, and regression analysis.

This course consists of lecture-based sessions and the computer workshop of Stata, a widely used statistical package in the subject of economics, political science, business and marketing, and other social science.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：Descriptive statistics
- 3 回：Probability
- 4 回：Discrete random variables and probability distribution
- 5 回：Continuous random variables and probability distribution
- 6 回：Stata workshop I
- 7 回：Sampling distribution
- 8 回：Point and interval estimation
- 9 回：Hypothesis testing: Single population
- 10 回：Stata workshop II
- 11 回：Final test
- 12 回：Hypothesis testing: Two or more populations
- 13 回：Least squares and simple regression
- 14 回：Students' presentation & Wrap-up

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド*（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

It is important to complete the readings of the assigned textbook chapter before each class session. Weekly homework sets are assigned.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Class participation:10% Homework assignment:30% Research assignment:30%

最終テスト割合：30%

#### テキスト / Textbooks

Newbold et al. Statistics for Business and Economics, 8th edition Pearson Education 2012 9780273767060

○

Weinberg et al. Statistics Using Stata: An Integrative Approach, 2nd edition Cambridge University Press 2020 110872583 -

Newbold et al.(2012) is a worldwide best-selling textbook covering the fundamental topics in statistics. Although this course cannot cover all chapters of the book, I strongly recommend purchasing a copy. Note that there is one copy in the library.

#### 参考文献 / Readings

TBA

#### その他 / Others

As this course is designed for graduate students, it is essential to follow strict attendance and deadline policies. Undergraduate exchange students are required to evaluate their commitment to their academic studies before enrolling in the program.

# Applied Econometrics

Applied Econometrics

陣内 悠介 (JINNAI YUSUKE)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KT231
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	対面
校地：	池袋
学期：	春学期
単位：	2
科目ナンバリング：	MIB6211
使用言語：	英語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

## 授業の目標 / Course Objectives

本科目では、計量経済学の基礎理論とデータ分析への応用を学ぶ

This course provides an introduction to econometric models with their applications. After completing this course, students will understand how to conduct data analysis.

## 授業の内容 / Course Contents

本科目では、確率・統計の基礎理論から、計量経済学の基本コンセプトまでを講義する。クラス内討議を通じて、理論的な理解から計量モデルの導入および推定結果の解釈までを学ぶ。具体的な事例を通じて因果推論について理解することを目指す。

This course covers from basic probability and statistics to fundamental econometric concepts. In class, we will discuss theoretical foundation, implementation of models, and interpretation of results. Students will also study causal inference through empirical examples and exercises.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction to Econometrics

2 回：Review of probability and statistics (1)



- 3回：Review of probability and statistics (2)  
 4回：Hypothesis testing (1)  
 5回：Hypothesis testing (2)  
 6回：Simple regression model (1)  
 7回：Simple regression model (2)  
 8回：Midterm exam  
 9回：Multiple regression analysis: Estimation (1)  
 10回：Multiple regression analysis: Estimation (2)  
 11回：Multiple regression analysis: Inference (1)  
 12回：Multiple regression analysis: Inference (2)  
 13回：Binary variables  
 14回：Final exam

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワーポイント等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Review course materials every week.

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Class participation and discussion:25% Midterm test:35% 最終テスト割合 :40%

#### テキスト / Textbooks

Jefferey M. Wooldridge Introductory Econometrics: Modern Approach 7th ed. South-Western Pub 2019  
 1337558869 -

#### 参考文献 / Readings

Joshua D. Angrist and Jörn-Steffen Pischke Mastering 'Metrics: The Path from Cause to Effect Princeton University Press 2014 9780691152844

# E c o n m c s & M g m t M a t h s

Mathematics for Economics and Management

柿中 真 (KAKINAKA MAKOTO)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KT241
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	In-class
校地：	池袋
学期：	秋学期 1
単位：	2
科目ナンバリング：	MIB6211
使用言語：	英語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	

## 授業の目標 / Course Objectives

このコースでは、経済学、経営学、および関連する社会問題の大学院レベルの研究を成功させるために不可欠な、さまざまな基本的な数学的ツールを紹介する。

This course introduces a variety of fundamental mathematical tools that are essential for successful graduate-level study in economics, management, and related social issues.

## 授業の内容 / Course Contents

このコースは、社会科学のための基本的な分析ツールを紹介することを目的としている。例題と動機は、経済および経営問題のトピックから引き出される。このコースでは、非線形関数、数列と級数、微分、制約付き最適化と制約なし最適化、積分、行列代数などを学ぶ。また、微分方程式と差分方程式の基本概念も学ぶ。

This course is designed to introduce fundamental analytical tools for social sciences. Examples and motivations are drawn from topics in economic and management issues. This course includes non-linear functions, sequence and series, differentiation, constrained and unconstrained optimization, integration, and matrix algebra. We also study the basic concept of differential and difference equations.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：Functions
- 2回：Sequence and series I
- 3回：Sequence and series II
- 4回：Differentiation I
- 5回：Differentiation II
- 6回：Optimization I
- 7回：Optimization II
- 8回：Optimization III
- 9回：Integration
- 10回：Probability
- 11回：Differential equations
- 12回：Difference equations
- 13回：Matrix algebra I
- 14回：Matrix algebra II

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド*（パワポ*等）の使用	：	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Problem sets will be assigned, collected, and graded.

問題集が課され、回収され、採点される。

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ :100%

平常点割合 :100% Problem sets:60% 最終レポート割合 :0%最終テスト割合 :40%

#### テキスト / Textbooks

Edward T. Dowling Introduction to Mathematical Economics McGraw Hill 2012 9780071762519 -

Sydsaeter, K., Hammond, P., Strom, A. Essential Mathematics for Economic Analysis Pearson 2012

9780273760689 -

This course has no required textbooks, but students are recommended to read the above textbooks.

#### 参考文献 / Readings

# Public Administration

Public Administration

山田 恭平 (YAMADA KYOHEI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT251

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course examines the workings of governments in democratic countries. It explains basic institutional characteristics of democratic countries, reviews theories, and examines relevant empirical works. In addition to learning institutions and politics, I expect students to become familiar with social scientific reasoning, critically evaluate academic books and articles, and examine the government and politics in their countries from a comparative perspective.

There are a number of dimensions in the study of governments and public administration. This course primarily deals with institutions and politics. It supplements and is supplemented by other courses in the MPMA, such as Public Management, Public Policy, and Public Finance and Budgeting.

## 授業の内容 / Course Contents

For each week, I will first deliver a lecture, followed by student presentations and discussions based on the reading materials. Students are expected to do the reading before class and participate in the discussions.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Introduction

- 2回：Regime types  
 3回：Presidential and parliamentary systems  
 4回：Electoral rules: basics  
 5回：Electoral rules: consequences  
 6回：Intergovernmental relations  
 7回：Institutional changes  
 8回：Election fraud  
 9回：Political culture  
 10回：Voting behaviors  
 11回：Political competition  
 12回：Bureaucratic-political relations  
 13回：Democracy and crises  
 14回：Catch-up session or field work

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to do the reading before class and participate in the discussions.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Presentations:35% Writing assignment:35% Weekly discussion questions:30%

#### テキスト / Textbooks

#### 参考文献 / Readings

Caramani, Daniele Comparative Politics, Third Edition Oxford University Press 2014

Lijphart, Arend Patterns of Democracy: Government Forms and Performance in Thirty-Six Countries Yale University Press 2012

Other reading materials will be announced in the first session.

# Public Management

Public Management

中嶋 学 (NAKASHIMA MANABU)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT261  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

In the current era of “governance,” wherein the public sector works with business and non-profit sectors to make and implement public policy, public managers face many challenges resulting from the complexity of collaborating with multiple organizations across sectors. To examine these challenges, understand the potential problems, explore their solutions, and help students develop the managerial skills to solve them, this course will emphasize two objectives: (1) understanding key concepts in inter-organizational theory and (2) applying the concepts to public organizations that collaborate across sectors.

## 授業の内容 / Course Contents

This course covers inter-organizational theories, such as resource dependence theory, institutional theory, and network theory, to familiarize students with relevant major theoretical frameworks, their strengths and weaknesses, and the similarities and differences among them.

We will devote two sessions to each theory. In the first class, one inter-organizational theory and its application to public organizations will be introduced, explained and discussed for understanding. In the second session, students will give a presentation on two related research articles and lead the discussion.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1 回：Class Introduction and Overview of Public Management  
 2 回：Network Theory (1)  
 3 回：Network Theory (2)  
 4 回：Social Capital Theory (1)  
 5 回：Social Capital Theory (2)  
 6 回：Resource Dependence Theory (1)  
 7 回：Resource Dependence Theory (2)  
 8 回：Institutional Theory (1)  
 9 回：Institutional Theory (2)  
 10 回：Transaction Cost Economics (1)  
 11 回：Transaction Cost Economics (2)  
 12 回：Agency Theory (1)  
 13 回：Agency Theory (2)  
 14 回：Final Presentation

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

The central requirement of the class is active and informed participation. We will spend most of our time in discussion, and I will do very little lecturing. So it is critical that everyone come prepared to engage with the readings and with one another.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合：100% 1st Presentation:20% 2nd Presentation:20% Final Paper Presentation:25%

Participation and Attendance:10% 最終レポート割合：25%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

Rainey, H. G., Fernandez, S., and Malatesta, D. Understanding and Managing Public Organizations (6th edition) Jossey-Bass 2021 9781119705895

# Public Finance & Budget

Public Finance and Budgeting

リム, スンフ (LIM SEUNGHOO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT271  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The student in this class should learn to: Understand the political, economic, legal, organizational, and cultural dimensions of public budgeting; Describe key processes, institutions, and actors in the budget process; Understand the functions that public budget and budgeting serve; Appreciate differences in the orientation of alternative budget systems; Identify and discuss major revenue sources and expenditure categories of public budget; Understand key concepts, practices and challenges in revenue forecasting, capital budgeting and debt management; Assess a government's actual budget practices according to the recommended set of budgeting standards; Appreciate the rationales and realities of intergovernmental fiscal relations in developing as well as developed countries; and Analyze budget trends of public organizations.

## 授業の内容 / Course Contents

Public budget is the most distilled statement of what government does with its price tag attached. It is a policy document as well as a financial plan that serves control, management and planning purposes, linking considerations of raising resources from the economy and spending priorities setting. And, public budgeting is how the government decides on and executes its budgets, which not only is essentially a political process, but also



requires substantial understandings and skills in financial management. This course aims to improve students' understanding of how government at different levels manages its purse, money from taxpayers and citizens, for better results, equipping students with both theoretical perspectives and practical analytical skills. The topics covered include, but are not limited to, budgetary institutions and process, roles of key budget actors and decision-makers, budgetary constraints, budget systems and reform, key revenue sources and forecasting, capital budgeting, debt management, intergovernmental fiscal relations, and a diverse set of skills and tools in preparing and implementing budgets. Students will be given practical opportunities to evaluate a government's budget in reference to budgeting and financial management principles learned from the class.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction and Course Arrangements
- 2 回：Intro to Public Budgeting: Structure and Functions
- 3 回：History and Theories of Public Budgeting & the Federal Government 1
- 4 回：History and Theories of Public Budgeting & the Federal Government 2
- 5 回：State & Local Budgeting
- 6 回：Politics and Public Budgeting: Executive Preparation and Legislative Consideration 1
- 7 回：Politics and Public Budgeting: Executive Preparation and Legislative Consideration 2
- 8 回：Mid-Term Test
- 9 回：Bureaucracy and Public Budgeting: Budget Execution 1
- 10 回：Bureaucracy and Public Budgeting: Budget Execution 2
- 11 回：Reforms and Public Budgeting: Line Item, Performance, and Program Budgeting
- 12 回：Performance and Public Budgeting: Performance-Based Budgeting
- 13 回：Final-Term Test
- 14 回：Research Project Presentation

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

1. Biweekly Homework
2. Final Research Paper, Budget Reform Paper, or Essay

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Homework:10% Participation:10% Mid-term Test:20% 最終レポート割合：40%最終テスト割合：20%

### テキスト / Textbooks

Katherine G. Willoughby Public Budgeting in Context: Structure, Law, Reform, and Results Jossey-Bass 2014 9781118509326 -

Jay E. Ryu The Public Budgeting and Finance Primer: Key Concepts in Fiscal Choice M. E. Sharpe 2014 9780765637970 -



# Environment l P & D i s t r M g t

Environmental Policy and Disaster Management

リム, スンフ (LIM SEUNGHOO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT302  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期 2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The student in this class should learn to:  
understand key environmental challenges in the 21st century; appreciate the political, economic and social context of environmental policy and disaster management, recognizing different actors, values, and institutions; discern the importance of the complex interaction between science and politics in environmental policy making and disaster management; identify and discuss different roles played by formal/informal actors/institutions in the environmental policy process and disaster management;  
identify and compare different policy instruments/tools in dealing with environmental issues, which include command-and-control regulations, market-based tools, and voluntary environmental programs; appreciate the importance of collaboration/cooperation in environmental or disaster management among public agencies and between the public and private sectors; understand newly emerging environmental governance, discerning the critical roles played by non-governmental actors in the domestic as well as international settings; and understand the importance of local knowledge and initiatives in dealing with environmental problems at various levels.

## 授業の内容 / Course Contents

This class is designed to expose students to major debates over environmental policy process and disaster management in the developing as well as developed countries with a focus on the way that different political, economic, institutional, social, and cultural factors play out to shape environmental policy/politics and disaster management. For this purpose, the class applies theories of the public policy process into environmental policy/politics and disaster management. Specifically, the class addresses key policy issues conspicuous in each of the stages of the environmental policy process and disaster management, covering problem definition, policy formulation, decision-making, implementation, and evaluation/learning. While key relevant environmental and disaster issues are covered such as clean water and air, toxic and hazardous material, climate change, biodiversity, deforestation, and energy, different policy tools/instruments for dealing with environmental protection and sustainable development will be introduced and debated. A major theme of the class will be that environmental policy and disaster management is at the crossroad of differing/conflicting values and interests both of society and across countries, which typically go beyond technical rational analysis. To drive the point home, students will read and discuss a variety of case studies from developing and developed countries. They will also write a short case study on an environmental policy or a disaster management issue in their respective countries.

#### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction: Concepts of Public Policy Process and Environmental Policy and Disaster Management
- 2 回：Environmental Problem Definition and Agenda Setting
- 3 回：Environmental Science, Values, and Policies
- 4 回：Environmental Policy Design 1: Command-and-Control
- 5 回：Environmental Policy Design 2: Incentive-Based Tools
- 6 回：Environmental Policy Design 3: Voluntary Programs
- 7 回：Review Session 1
- 8 回：Mid-Term Exam
- 9 回：Environmental Policy Implementation
- 10 回：Environmental Policy Evaluation
- 11 回：Participatory Governance in Environmental Policy and Disaster Management
- 12 回：Review Session 2
- 13 回：Final-Term Exam
- 14 回：Comparative Environmental Policy and Disaster Management: Presentation of Final-Term Papers

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Final-term paper

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Class Participation:10% Discussion Leader Performance (Presentations):10% Mid-term Exam:20% 最終レポート割合：40%最終テスト割合：20%

**テキスト / Textbooks**

Vig, N. J., and Kraft, M. E. (eds.) Environmental Policy: New Directions for Twenty-First Century, 9th (Revised) Edition CQ Press 2015 -

Layzer, J. A. The Environmental Case: Translating Values into Policy. 4th (Revised) Edition CQ Press 2015 -

Lim, S. Policy Network Ties in the Dynamic Process of Environmental Conflict Resolution: Uncovering the Evolution of Environmental Governance Springer 2021 -

**参考文献 / Readings**

# Project Cycle Mgmt

Project Cycle Management

Participatory Planning, Monitoring and Evaluation

松本 幸子／藤田 伸子 (MATSUMOTO SACHIKO/ FUJITA NOBUKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT311

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考： Intensive Course

Course will be held on the following dates.

4/19 3-4periods

4/20,4/27,5/11 1-4 periods

Class room:6304 for 4/19 only, 6409 for other dates

## 授業の目標 / Course Objectives

プロジェクト・サイクル・マネジメント・コースは、国際協力プロジェクトのマネジメント手法、スキル、ツールに関する実践的な知識を習得することを目的としています。学生は、参加型計画と評価手法の複数のステップを習得します。

Project Cycle Management course is designed to provide students with practical knowledge of the management method, skill and tool for development projects. Students will learn multiple steps of participatory planning and evaluation method.

## 授業の内容 / Course Contents

この授業では、国際開発業界で広く使われている事業管理手法のひとつであるプロジェクト・サイクル・マネ

ジメントに焦点を当てる。この手法には、国際協力プロジェクトの参加型計画立案、事業モニタリング、事業評価の段階が含まれる。

この授業では、途上国の文脈でプロジェクトがどのように計画され、モニタリングされ、評価されるかを理解できるように、映像事例とテキスト事例教材を活用する。参加型開発、ロジカル・フレームワーク・アプローチ、ステークホルダーのプロジェクトに対するオーナーシップ醸成、制度構築、ジェンダー問題、民間セクターの役割などの重要な概念についても議論する。学生の積極的な参加が期待される。

The class will focus on Project Cycle Management that is one of the management methods widely used in the international development community. The method includes participatory planning, monitoring, and evaluating stages of development projects.

The course introduces visual and written cases which enable students to understand how projects are planned, monitored and evaluated in the local context. Some important concepts such as participatory development, logical framework approach, ownership by stakeholders, institutional development, gender issue, and private sector's role will be discussed. Students active participation is expected.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction and overview of PCM method
- 2 回：Stakeholders analysis
- 3 回：Problem Analysis
- 4 回：Problem Analysis
- 5 回：Objective Analysis
- 6 回：Project Selection
- 7 回：Project Design Matrix
- 8 回：Project Design Matrix
- 9 回：Project Design Matrix
- 10 回：Project Design Matrix
- 11 回：PDM appraisal
- 12 回：Implementation and Monitoring
- 13 回：Implementation and Monitoring
- 14 回：Project Evaluation model/ summary of the course

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Instruction regarding study required outside of class will be given at class or through Canvas LMS.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Mid-term Report:30% Participation on discussion:30%

最終レポート割

合 :40%

### テキスト / Textbooks

FASID Project Cycle Management Participatory Planning FASID 2008 -

**参考文献 / Readings**

FASID Project Cycle Management, Monitoring and Evaluation FASID 2016

**履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course**

Students are required to engage in group work and individual work using case materials (written and audio-visual) .

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

Canvas LMS is used to distribute materials and submit assignments.

**注意事項 (検索結果画面)**

Intensive Course



# Public Private Partnership

Public Private Partnership

- Collaborative public service deliveries between public and private sectors -

荒川 潤 (ARAKAWA JUN)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT321  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期 2  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本科目の目標は、履修生が、1) 官民連携（PPP、官民セクターの協働による公共サービスの提供）の基本的な理論と実践をダイナミックなガバナンス改革の文脈から理解すること、及び、2) 履修生自身及び他の履修生の国々における PPP の事例を、授業にて求められる「簡易な研究」とその「発表」を通じて学ぶこと、である。

Major objectives of the course are to learn 1) basic theories and practices of Public Private Partnership (PPP, P3 or 3P), collaborative public service deliveries between public and private sectors, in the context of dynamic governance reforms, and 2) actual PPP examples of students' own and other students' countries through mini research and presentations required in the class.

## 授業の内容 / Course Contents

- － 本科目「官民連携（PPP）」は入門的な科目であり、（1）理論と実践についての「講義」、（2）履修生による「プレゼンテーション」、そして（3）議論、により構成される。
- － この内の（2）については、全ての履修生が、自身の国における、ダイナミックなガバナンス改革の実践

事例としての PPP 事例について、15分程度のプレゼンテーションを行うことを求める。プレゼンテーション後には、クラス内で質疑の時間を設ける。

－ また (3) については、履修生が積極的かつ建設的な議論を行うことが強く推奨される。それには、履修生間の相互の質疑応答も含まれる。

－ 本科目を通じて：

- ・履修生はまず、PPP について、最新の状況を含めて、より多くのかつ良好な知識を得ることとなる。
- ・そして、履修生が (大学院修了後に) 現実社会に戻った際の、公共サービス提供上の「選択肢」を増やすことを可能にする。
- ・また、民間セクター出身の履修生にとっては、現実社会において、公共分野における新たな「ビジネス機会」を検討し得る機会を提供する。

- The "Public Private Partnership (PPP)" is an introductory course and composed of (1) lectures on theories and practices of PPP, (2) student presentations and (3) discussions.

- For (2), every student is required to make a 15-minute presentation on an actual PPP example, as a case of dynamic governance reforms, in his/her own countries. The presentation is followed by quick Q&A session.

- For (3), active and constructive discussions are strongly encouraged even including peer question and answer opportunities among students.

- Through the course, students will obtain more and better knowledges on PPP, including the latest perspectives, and be able to increase their own "options" in delivering public services when they return to the real world. For those who have backgrounds in the private sector, the course will help them think about new "business opportunities" with public sector in the real world.

#### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction: Backgrounds and perspectives on PPP
- 2 回：Various PPP schemes
- 3 回：PPP practice (1): Outsourcing
- 4 回：Case study (1): Outsourcing
- 5 回：PPP practice (2): Private Finance Initiative (PFI)
- 6 回：Case study (2): Private Finance Initiative (PFI)
- 7 回：PPP practice (3): Concession
- 8 回：Case study (3): Concession
- 9 回：PPP practice (4): Pay for Success (PFS), Impact investments & startups, PP Funds
- 10 回：Case study (4): Pay for Success (PFS), Impact investments & startups, PP Funds
- 11 回：PPP governance
- 12 回：PPPs in developing countries
- 13 回：In-sourcing, Market testing, NPO/NGO
- 14 回：Conclusion: Challenges and future directions of PPP

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○

実技・実習・実験 : 学内の教室外施設の利用 : 校外実習・フィールドワーク :  
上記いずれも用いない予定 :

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

Explorative learning will be announced in the class as needed.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% Student Presentation:30% Active Participation into Course Discussions:40%

最終レポート割合 : :30%

**テキスト / Textbooks**

E. S. Savas Privatization and Public-Private Partnerships CQ Press 1999 9781566430739 -

Stephen P. Osborne The New Public Governance?: Emerging Perspectives on the Theory and Practice of Public Governance Routledge 2009 9780415494632 -

**参考文献 / Readings****履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course**

None (This is an introductory course.)

**学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare**

Students should have a presentation software such as PPT to create slides for their own presentations.

# Local Government and Public Services

Local Government and Public Services

山田 恭平 (YAMADA KYOHEI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT331  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The goal of this course is to familiarize students with theoretical and empirical works on local governments and the roles they play in providing public services. In addition, students are expected to be able to critically evaluate social scientific research.

## 授業の内容 / Course Contents

Local government provides a wide range of public services today. We examine local government from various perspectives by covering topics such as decentralization, democratic accountability, size of local governments, and impact of broader structural changes. We also examine local government in Japan in order to relate theories and findings in the academic literature with local governments in the real world context.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction
- 2 回： Size of local government: tradeoff
- 3 回： Size of local government: change in the size of local government
- 4 回： Accountability and the provision of public services: theory

- 5回：Accountability and the provision of public services: empirical studies  
 6回：Intergovernmental relations: theory  
 7回：Intergovernmental relations: empirical studies  
 8回：Government and governance: political culture  
 9回：Government and governance: broader structural changes  
 10回：Voting with feet  
 11回：Experiment-based studies of local government  
 12回：Local government in Japan: history and institutions  
 13回：Local government in Japan: politics  
 14回：Group presentation

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

For each week, students are expected to finish reading the required reading materials before class.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Group presentation:20% Individual presentations:20% Responses to weekly discussion questions:20% Writing assignment:40%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

- Alesina, Alberto, and Enrico Spolaore The Size of Nations MIT Press 2003  
 Dahl, Robert A., and Edward R. Tufte Size and Democracy Stanford University Press 1973  
 Manor, James The Political Economy of Democratic Decentralization World Bank Publications 1999  
 Treisman, Daniel The Architecture of Government: Rethinking Decentralization Cambridge University Press 2007  
 Rodden, Jonathan Hamilton's Paradox: The Promise and Peril of Fiscal Federalism Cambridge University Press 2006  
 Putnam, Robert D Making Democracy Work Princeton University Press 1993  
 Rae, Douglas W City: Urbanism and Its End Yale University Press 2003  
 Other reading materials will be announced in the first week.

# Public Policy

Public Policy

リム, スンフ (LIM SEUNGHOO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT341  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

The student in this class should learn to:

- Know the basic constitutional roles and responsibilities of the levels of government;
- Be able to identify the stages of the policy process, and the primary players in the official roles;
- Demonstrate working knowledge of the policy analysis process;
- Demonstrate concise and analytical writing of policy projects;
- Demonstrate the ability to critically review and summarize a policy study;
- Articulate and apply a public service perspective to public policy issues;
- Contribute to the policy process information and analysis;
- Learn and apply group facilitation skills that can be used in policy and citizen deliberations;
- Demonstrate sound public speaking skills related to the policy process;
- Critically assess and debate case studies of policies at different levels of government;
- Learn to analyze public policy conflicts, and use processes to help resolve policy disputes in a deliberative, consensual way;

- ・ Understand the basic accountability and performance measurement processes used in government policy and management;
- ・ Identify roles that public managers and policy analysts play and learn more about when they are most appropriate in the policy process;
- ・ Understand policy networks, how they operate to develop and distribute policy information and ways to participate in them;
- ・ Discuss the ethical issues involved in many dimensions of the policy process, including what information is used, what forums and citizen contact are organized, and how the analyst and manager act ethically within the broader policy arenas in which they operate.

### 授業の内容 / Course Contents

This course is designed to acquaint you with the theoretical and practical dimensions of developing and managing effective public policy which includes your role as a policy analyst and as a proactive participant in the broader policy process working for a program or an agency. The overall focus of the class is on understanding the policy process, how to facilitate dialogue in the policy process with citizens and elected officials, how to frame issues and conduct policy analysis, and manage the policy process from agenda setting through implementation. This is the MPA class where you learn some basics of the constitutional and policy process. You should gain an understanding and appreciation for the political and administrative environments within which public policy is developed, implemented and evaluated. You will also gain an understanding of how to assess policy environments, and policy options as well as build a case for taking policy actions. We will cover the primary models and approaches used in public policy to explain policy development and change. These models help us focus on important aspects of the policy process and understand systematically how the actors and environment work together.

Second, we will discuss the varied roles of the public manager and policy analyst. Some of these roles include facilitator, expert, policy entrepreneur working with stakeholders inside and outside the agency, policy implementer who takes policy made through statutes or court orders and effectively makes them work, and public trustee. While a public employee is obligated to play certain roles, to some degree, you will also decide what roles you think appropriate and are willing to play as an analyst, lobbyist or manager in the public policy process. Your decisions may vary depending on your view of the role of the public servant in democratic society, your personality, and your views on the flexibility or discretion inherent in following the law as written down. We will cover and try out some key skills of public managers and analysts, such as conflict resolution, policy briefing writing, speaking up in the class through short presentations and in groups, group facilitation and leading productive discussions.

Third, as a participant in the democratic policy process, you need to be a succinct, clear and persuasive writer as well as being able to speak in public forums. You will write a policy research paper using applied and commonly used writing policy formats in this class. You will work through the stages of a policy analysis report. You will work in small groups both in class and on projects. Employers consistently tell us that being good team players is perhaps the most important skill for holding a job and being promoted so we will talk about the skills and ways to manage teams.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：Introducing the Policy Process: Why Do We Study the Public Policy Process?
- 2回：Theoretical Approaches to the Policy World

- 3回：Policy Contexts: Actors, Interests, Values and Institutions  
 4回：Review Session 1  
 5回：Problem Definition and Agenda Setting  
 6回：Policy Formulation and Design  
 7回：Mid-Term Exam  
 8回：Policy Tools/Instruments  
 9回：Policy Decision-making in the Public Sector  
 10回：Policy Implementation  
 11回：Policy Evaluation  
 12回：Review Session 2  
 13回：Final-Term Exam  
 14回：Research Project Presentation

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワーポイント等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Final Research Paper

#### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Class Participation/Discussion:30% Mid-Term Test:15% 最終レポート割合：40%最終テスト割合：15%

#### テキスト / Textbooks

Thomas A. Birkland An Introduction to the Policy Process: Theories, Concepts, and Models of Public Policy Making Routledge 2019 9781138495616 -

Kevin B. Smith and Christopher W. Larimer The Public Policy Theory Primer Westview Press 2013 9780813350059 -

#### 参考文献 / Readings



# HR Management

Human Resource Management

チョン, J. (JUNG JIWON)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT371  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

For public officers, managers, and policymakers intending to specialize in one or more fields of human resource management, this course will serve as a foundation and help you understand the ways in which public human resource management impacts the development and delivery of government programs and services. Throughout this course, we will engage in a collective analysis to 1) understand and recognize historical development of public personnel management, 2) identify the unique resources and challenges that managers face in managing public human resource in the system of politics, bureaucracy, and democracy, and 3) recognize and discuss different human resource management cases to provide opportunities to deal with a variety of issues related to managing public employees.

The course is taught from the perspective that students will one day be a stakeholder involved in some aspects of managing organizational change in the public sector, whether as an employee, manager, or internal or external consultant for organizational clients.

## 授業の内容 / Course Contents

As a labor-intensive enterprise, human resources are key to effective and efficient operations of public

organizations. From a managerial perspective, we will discuss the resources, challenges, and strategies for the personnel functions of recruitment, selection, training and development, supervision, motivation and compensation, performance appraisal or classification, affirmative action, diversity, and administrative ethics under public organizational systems.

Unlike a private enterprise aiming to maximize individual or organizational interest, government is to serve public or societal values such that the practices and principles of human resource management (HRM) may exhibit different features from its sectoral counterparts. More specifically, we will discuss the role of politics, bureaucracy, and democracy in helping to shape public personnel policies, and how they utilize the constitution as a legal framework and conduit for maintaining tradition and exercising the capacity to change.

Half of the course will be theoretical in nature; therefore, we will discuss concepts and theories related to public human resource management (PHRM). However, another half of the course is dedicated to the application of the concepts and theories to different cases of HRM issues such as merit versus equality, performance evaluation, mentoring programs, generational gap among employees, using artificial intelligence to monitor employees and others. Students bring their own human resource related issues and present the issue applying the theoretical discussions shared in the lecture. Therefore, your understanding of the key aspects of PHRM and application of the different dimensions will be the essential part of the course.

#### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Course Introduction : What is public human resource management (PHRM) and why we care?
- 2 回： Understanding the legal and administrative context of PHRM
- 3 回： Selecting a “right” person: Recruitment and selection
- 4 回： Assessing employee performance I: Compensation
- 5 回： Assessing employee performance II: Performance evaluation
- 6 回： Employee motivation and workplace behaviors I
- 7 回： Employee motivation and workplace behaviors II
- 8 回： Employee motivation and workplace behaviors III
- 9 回： Midterm test
- 10 回： Managing counterproductive workplace behaviors
- 11 回： Training and development
- 12 回： Employee relations practices: Family-friendly policies
- 13 回： Diverse HR issues in the public sector I
- 14 回： Diverse HR issues in the public sector II

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ* 等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

Homework: Weekly reading notes (WRN)

Midterm preparation

Case analysis and presentation preparation: Human resource (HR) issue analysis

---

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

---

平常点のみ

平常点割合 :100% Weekly Reading Note (WRN):30% Midterm test:35% Final presentation and report:35%

---

**テキスト / Textbooks**

---

Berman, Evan M., Bowman, James S., West, Jonathan P., and Van Wart, Montgomery Human Resource Management in Public Service: Paradoxes, Processes, and Problems CQ Press 2020 9781506382333 - The indicated required book is the 6th edition. However, students can use the previous edition - 5th - or the newer edition - 7th - depending on the students' needs and resources. If choose to do so, students need to pay attention to the changes in the pa

---

**参考文献 / Readings**

---

Readings other than the textbook chapters will be distributed to students via Canvas as the course begins. For the list of required readings, please refer to the Canvas (Module section).

# Investment & Asset Pricing

## Investment and Asset Pricing

This lecture introduces a variety of ideas for Investment and Asset pricing based on the Modern Finance Theory. The goal is for students, especially those who are learning for the first time, to fully understand and, moreover, to be able to use the methods

鈴木 誠 (SUZUKI MAKOTO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT381

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項） Classes are usually face-to-face.

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

本授業では投資ならびに資産価格形成について現代ファイナンス理論に基づいて講義を行う。

特に、初めて学習する学生においても十分に理解し、さらに、学習した方法を用いて現実の課題や問題に答えを導くことができるようになることが目標である。

The purpose of this course is to introduce some concepts and techniques for Investment and Asset Pricing. Students will be expected to examine real economic issues with studied tools.

## 授業の内容 / Course Contents

このコースの目的は、投資と資産価格の概念とテクニックを紹介することである。

具体的には米国のトップビジネススクールで広く利用されている教科書の要約版を用いて、授業を行う。受講生は教科書の内容を理解することによって、ファイナンスに関して米国でも通用する理解力を備えることが期待される。

また、この授業を通して学習した分析手法や理論を用いて、実際の経済問題を検討することが期待される。

There are three modules in this course. 1: Understand the Financial market and Theory, 2: Modeling and Applying to the real economic issues, 3: Teamwork to solve the problem with your classmate. In addition, we may have a chance to visit the Tokyo Stock Exchange for sightseeing.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction: Explain this course and background check for the knowledge of participants.
- 2 回： Foundation of Finance: Some points on Real Market
- 3 回： Asset Classes and Financial Instruments
- 4 回： Security Markets
- 5 回： Bond Prices and Yields
- 6 回： Managing Bond Portfolios
- 7 回： Mid term Test and Risk and Return features on the securities
- 8 回： Efficient Diversification on investment
- 9 回： Capital Asset Pricing Model and the Efficient Market Hypothesis
- 10 回： Macroeconomic and Industry Analysis
- 11 回： Equity Valuation
- 12 回： Financial Statement Analysis
- 13 回： Evaluation for Investment Performance
- 14 回： Final Test and Explanation

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	グループ発表	:		ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:		:			:

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

1. Students have to prepare the Text and materials which will be covered the class.
2. Two times case assignments will be required for students to research, discuss, and debate with the team.
3. Tests will be taken place for encouraging students and to co

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Mid term Test:30% Class Participation and Assignments:30% 最終テスト割合 :40%

### テキスト / Textbooks

Zvi Bodie, Alex Kane and Alan Marcus Essentials of Investments (Paperback, 11th Edition) McGraw-Hill  
2019 9781260288391 -

### 参考文献 / Readings

Edwin J. Elton Modern Portfolio Theory and Investment Analysis 9th Edition Wiley 2014 9781118469941  
Hull, John Options, Futures, and Other Derivatives, 9th edition Pearson 2014 9780133456318

# Development Planning

Development Planning

Quantitative method for policy analysis

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT411

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This seven-week intensive course introduces several fundamental quantitative techniques and econometric models, applied to development planning and policy analysis in developing as well as developed economies. Topics covered in this course include the development planning process in Japan, the simple aggregate growth models, the multi-sector model (national and regional input-output models), and the non-parametric frontier analysis model (Data Envelopment Analysis).

## 授業の内容 / Course Contents

This course provides students with a basic understanding of empirical economic analysis at the macro, sectoral, and firm levels in the context of development planning. With an emphasis on empirical economic analysis, the course uses Stata, a widely used software application. Through this comprehensive approach, students gain essential skills in data analysis at various scales, contributing to a robust understanding of the development planning process.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Course Introduction  
 2 回：Economic Development and Planning in Japan  
 3 回：Aggregate Growth Model (1): Demand-side model  
 4 回：Aggregate Growth Model (2): Supply-side model  
 5 回：IO models and analyses (1): Basic assumptions and formulation  
 6 回：IO models and analyses (2): Basic assumptions and formulation  
 7 回：IO models and analyses: Accounting for imports  
 8 回：IO models and analyses: Index of the Power (Sensitivity) of Dispersion and Sources of economic growth  
 9 回：IO Models: Stata application  
 10 回：Data Envelopment Analysis (1): Basic concept  
 11 回：Data Envelopment Analysis (2): Reference set, returns of scale, decomposition analysis  
 12 回：Data Envelopment Analysis (3): Productivity growth and Malmquist index  
 13 回：Data envelopment analysis: Advanced data analysis (Stata, user-written command)  
 14 回：Student's presentation

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are responsible for the lecture materials and the required readings for each session.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Homework Assignments:40% Presentation:15% Research Paper:35% Class Participation (constructive):10%

#### テキスト / Textbooks

Miller R. E., and P. Blair Input-Output Analysis: Foundations and Extensions, 2nd edition Cambridge University Press 2009 0521739020 -

Zhu J., and W. Cook Data Envelopment Analysis: Balanced Benchmarking Lexington 2013 149297479 -

Coelli T.J., R. Prasada, G. E. Battese An introduction to efficiency and productivity analysis 2nd edition Kluwer Academic Publishers 2005 0387242651 -

Perkins et al Economics of Development 7th edition W. W. Norton & Company 2012 0393114953 -

Leontief W. Input-Output Economics 2nd edition Oxford University Press. 1986 0195035259 -

#### 参考文献 / Readings

#### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

The basic Stata coding skills are required.

For students who are not familiar with the basic programming of Stata, please learn it through Video tutorials:

[www.stata.com/links/video-tutorials/](http://www.stata.com/links/video-tutorials/)

#### その他 / Others

This course is designed specifically for graduate students and includes technical aspects that require a basic

understanding of mathematics and economics. Undergraduate exchange students may take this course; however, I regret to inform you that I have ob



# A g r i E c o n o m & P l c y A n a

Agricultural Economics and Policy Analysis

Agriculture, poverty and economic growth

小谷 浩示 (KOTANI KOJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT421

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考： Intensive Course

Class room: Wednesday 8506, Saturday 6203

Course will be held on the following dates.:

6/8 2 period

6/12,6/15,6/26,6/29,7/13 2-3 periods

7/17 2-4 periods

## 授業の目標 / Course Objectives

農業と経済成長、そして、貧困との関連性を学び理解する。

It is to deepen students' understanding of how economics can be applied to analyze agricultural problems and of the relationship between agriculture, poverty and economic growth.

## 授業の内容 / Course Contents

農業が如何に経済発展と貧困撲滅に重要であるのか、学習する。そして、農業開発と経済発展がどの様に移行して来たのか、歴史的背景と数理モデルを参照しながら解説する。

This course explores the economic foundations for the economic growth transitioning from agrarian societies to

industrial ones as well as for public policy analysis related to agricultural issues such as poverty reduction. The emphasis of this course is on agriculture, poverty and economic growth.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction of economics and agriculture, part 1
- 2 回：Introduction of economics and agriculture, part 2
- 3 回：Poverty and economic growth, part 1
- 4 回：Poverty and economic growth, part 2
- 5 回：Agricultural development for economic growth, part 1
- 6 回：Agricultural development for economic growth, part 2
- 7 回：Agriculture vs. industrialization: Policy debates, part 1
- 8 回：Agriculture vs. industrialization: Policy debates, part 2
- 9 回：Consumer theory in agricultural economics, part 1
- 10 回：Consumer theory in agricultural economics, part 2
- 11 回：Producer theory in agricultural economics, part 1
- 12 回：Producer theory in agricultural economics, part 2
- 13 回：Contemporary issues in agricultural economics and policy, part 1
- 14 回：Contemporary issues in agricultural economics and policy, part 2

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Problem sets and quizzes

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100%    Problem sets and quizzes:60%    最終テスト割合：40%

### テキスト / Textbooks

Some textbooks and journal articles will be introduced in each class sessions.

### 参考文献 / Readings

Some textbooks and journal articles will be introduced in each class sessions.

### 注意事項（検索結果画面）

Intensive Course

# Environmental Economics & Policy Analysis

Environmental Economics and Policy Analysis

小谷 浩示 (KOTANI KOJI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT431  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考： Intensive Course  
Class room:A202 on 9/21 only, A303 on other dates  
Course will be held on the following dates.:  
9/21 2period  
9/25,9/28,10/2,10/9,10/12,10/19 2-3 periods  
10/23 2period

## 授業の目標 / Course Objectives

環境経済学と政策について基礎と応用事例について学ぶ。

This course equips students with basic knowledge and analytical skills of environmental economics and policy.

## 授業の内容 / Course Contents

経済理論を基礎としながら環境問題が何故発生し解決出来ないのか、そして、どの様な解決策が政策として可能であるのか、理解学ぶ。

This course explores the economic foundations for management and public policies of environmental problems such as natural resource depletion and pollution control. The emphasis of this course is on basic concepts and introduction of analytical tools for policy decision-making as well as generating research in environmental and

natural resource economics. In particular, the course aims to deepen students' understanding of (i) why resource and environmental problems have occurred from the economic point of view, and (ii) what kind of policy tools, which are provided by economics and management science, can usefully be implemented to solve these problems.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：Introduction to environmental economics (Readings: Chapter 1 in Kolstad (2010) and Chapter 1 in Conrad (2010))
- 2回：Introduction to environmental economics (Readings: Chapter 1 in Kolstad (2010) and Chapter 1 in Conrad (2010))
- 3回：Renewable resource depletion (Readings: Chapter 3 in Conrad (2010) and Chapter 9 in Hanley et al. (2007))
- 4回：Renewable resource depletion (Readings: Chapter 3 in Conrad (2010) and Chapter 9 in Hanley et al. (2007))
- 5回：Non-renewable resource depletion (Readings: Chapter 5 in Conrad (2010) and Chapter 9 in Hanley et al. (2007))
- 6回：Non-renewable resource depletion (Readings: Chapter 5 in Conrad (2010) and Chapter 9 in Hanley et al. (2007))
- 7回：The concept of social efficiency in environmental economics (Readings: Chapter 4 in Kolstad (2010) and Chapter 8 in Field and Field (2006))
- 8回：The concept of social efficiency in environmental economics (Readings: Chapter 4 in Kolstad (2010) and Chapter 8 in Field and Field (2006))
- 9回：Public & environmental goods, negative externality and market failure (Readings: The sections of public goods, negative externality and market failure" in Varian (2007), and Chapter 5 in Kolstad (2010))
- 10回：Public & environmental goods, negative externality and market failure (Readings: The sections of public goods, negative externality and market failure" in Varian (2007), and Chapter 5 in Kolstad (2010))
- 11回：Property rights and environmental standards for pollution control (Readings: Chapter 6 in Kolstad (2010) and Chapter 11 in Field and Field (2006))
- 12回：Property rights and environmental standards for pollution control (Readings: Chapter 6 in Kolstad (2010) and Chapter 11 in Field and Field (2006))
- 13回：Environmental policy of economic incentives I: Tax & subsidy for pollution control (Readings: Chapter 8 in Kolstad (2010) and Chapter 12 in Field and Field (2006))
- 14回：Environmental policy of economic incentives II: Marketable permits for pollution control (Readings: Chapter 9 in Kolstad (2010), Chapter 13 in Field and Field (2006), Cason and Gangadharan (2006) and Cason and Plott (1996).)

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワポ等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are expected to go through readings and quizzes assigned in each class.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% In-class quizzes 13 times:50%

最終レポート割合：:10%最終テスト割

合：:40%

**テキスト / Textbooks**

**参考文献 / Readings**

**注意事項（検索結果画面）**

Intensive Course

# I n t e r n a t i o n a l F i n a n c e

International Finance

柿中 真 (KAKINAKA MAKOTO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT441  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項） In-class  
校地： 池袋  
学期： 春学期 1  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course is an introduction to open macroeconomics (or international finance); international capital flows, international monetary system, and their implications for economic policies for individual nations and the world as a whole.

This course is an introduction to open macroeconomics (or international finance); international capital flows, international monetary system, and their implications for economic policies for individual nations and the world as a whole.

## 授業の内容 / Course Contents

This course covers both a theory part and a policy part. We study international macroeconomic theory by building up an integrated model of exchange rate and output determination. In the second part of the course we will apply our analytical tools to a range of current and historical issues. These include the evolution of the international monetary system, macroeconomic policy coordination, optimum currency areas, global capital markets, and currency crises.

This course covers both a theory part and a policy part. We study international macroeconomic theory by

building up an integrated model of exchange rate and output determination. In the second part of the course we will apply our analytical tools to a range of current and historical issues. These include the evolution of the international monetary system, macroeconomic policy coordination, optimum currency areas, global capital markets, and currency crises.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：Foreign exchange market I
- 3 回：Foreign exchange market II
- 4 回：Price levels and exchange rates
- 5 回：Goods market and exchange rates
- 6 回：Fixed exchange rate regime and market intervention
- 7 回：Midterm test
- 8 回：Financial crisis I
- 9 回：Financial crisis II
- 10 回：International monetary systems
- 11 回：Macroeconomic policy coordination
- 12 回：Optimum currency areas
- 13 回：International capital flows
- 14 回：Final test

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Problem sets

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ :100%

平常点割合 :100% Problem sets:40% 最終レポート割合 :30%最終テスト割合 :30%

### テキスト / Textbooks

Some textbooks and articles are introduced in class.

### 参考文献 / Readings

# Urban & Regional Economics

Urban and Regional Economics

To provide a comprehensive overview of key concepts in regional economics and introduce the basic topics of spatial data analysis.

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT451

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

Regional science consisting of Urban Economics and Regional Economics, emphasizes more the spatial dimensions in analysis than other branches of economics. The former deals with the economic aspects of urban issues such as the location behavior of firms and individuals, agglomeration effects, spatial structures, land use, public policy, and government finance. The latter deals with regional problems such as regional economic growth, regional industrial linkage, interregional inequalities of income and factor endowment, and interregional trade and migration. This course introduces the latter branch's topics such as regional income growth and its distribution to present a picture of how theory relates to the problems and solutions in regional development.

## 授業の内容 / Course Contents

This course provides students with the skills to use analytical models to formulate research questions and to apply theoretical concepts in practical empirical work. The primary focus is on understanding the determinants of regional income and its spatial distribution. In addition, students gain basic skills in empirical analysis through



hands-on computer workshops using the statistical analysis software "Stata".

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：Principles and concepts of urban and regional economics
- 2回：Regional income determination: Neoclassical perspectives
- 3回：Regional income determination: Keynesian approach
- 4回：Regional income determination: Input-Output approach (1)
- 5回：Regional income determination: Input-Output approach (2)
- 6回：Interregional income inequality
- 7回：Interregional income inequality decomposition
- 8回：Interregional inequality in factor endowment
- 9回：Convergence: Traditional framework
- 10回：Convergence: Multiple equilibria
- 11回：Spatial data analysis: What is Spatial Data?
- 12回：Spatial data analysis: Spatial autocorrelation
- 13回：Visualizing spatial data: Drawing a choropleth map
- 14回：Presentations of research assignment and wrap-up session

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

It is important to complete the assigned readings before each class session.

Weekly homework sets are assigned.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Class participation:10% Homework assignment:40% Term paper:30% Research presentation:20%

### テキスト / Textbooks

Takahiro Akita and Mitsuhiro Kataoka Regional Inequality and Development: Measurement and Applications in Indonesia Springer 2022 981192967 -

Carlos Mendez Convergence Clubs in Labor Productivity and its Proximate Sources: Evidence from Developed and Developing Countries Springer 2020 9811586284 -

Martin Armstrong and Jim Taylor Regional Economics and Policy Wiley-Blackwell, 2000 0631217134 -

Yoshiki Yamagata, Hajime Seya Spatial Analysis Using Big Data Elsevier 2020 9780128131275 -

### 参考文献 / Readings

Jan K. Brueckner Lectures on Urban Economics MIT press 2012. 8120347528

Mary E. Edwards Regional and Urban Economics and Economic Development: Theory and Methods Auerbach Publications 2007 084938317

### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

The basic Stata coding skills are required.

For students who are not familiar with the basic programming of Stata, please learn it through Video tutorials:  
[www.stata.com/links/video-tutorials/](http://www.stata.com/links/video-tutorials/)

#### **その他/ Others**

This course is designed specifically for graduate students and includes technical aspects that require a fundamental understanding of mathematics and statistics. Undergraduate exchange students may take this course; however, I regret to inform you that I

# Japanese Economy

Japanese Economy

To present a picture of how theory relates to the problems, reviewing its development process and fundamental policy issues in the Japanese economy.

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT461  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 科目コード登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

After the mid-nineteenth century, Japan successfully modernized the institutional political and economic systems from the feudal order as the first country outside Europe and North America. By the 1960s, the nation experienced the rapid economic growth and became the world's second largest economy (after the United States) despite the economic crisis after the defeat of the World War II. This miraculous growth is regarded as a good guide for other developing countries.

This course presents a picture of how theory in economics relates to the problems, reviewing its development process, fundamental policy issues, and contemporary business environment in Japan. The ultimate goal of this course is to expand the student's analytical frameworks for the master's thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

This course consists of the following two parts: (1) lectures on development process after the end of the feudal Japan and (2) lectures on several important domestic policy issues and contemporary business environment in

Japan.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1回：The gateway to the Japanese Economy  
 2回：Economic and industrial development (1): Traditional society (The rise of the Samurai and Edo Tokugawa period)  
 3回：Economic and industrial development (2): Pre-condition to take-off (Transition from Feudalism to Western Capitalism)  
 4回：Economic and industrial development (3): Take-off (Meiji restoration and government-led industrialization)  
 5回：Economic and industrial development (4): Driving to maturity (From the late Meiji to the wartime economy)  
 6回：Economic and industrial development (5): American occupation, reform and reconstruction (Rinsing from the ashes)  
 7回：Economic and industrial development (6): High mass consumption (Postwar rapid economic growth)  
 8回：Aging society: Economic consequences of depopulation  
 9回：The role of the government in economic development  
 10回：Mid-term test  
 11回：Industrial organization: "Keiretsu"  
 12回：Industrial relations: "Life-time employment system"  
 13回：Field Trip or Lecture by Guest Speaker  
 14回：Student presentation and wrap-up session

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：○
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

Students must read the designated textbook chapters and other reading materials prior to each class session.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合：100% Class participation and discussion:20% Mid-term test:40% Final research presentation:40%

**テキスト / Textbooks**

- Allen C. G. Short Economic History of Modern Japan Routledge 2010 0415607035 -  
 Flath D The Japanese Economy Third Edition Oxford University press 2014 019870240 -  
 Ito T. The Japanese Economy, second edition The MIT Press 2020 0262538245 -  
 Mosk C. Japanese Economic Development: Markets, Norms, Structures Routledge 2007 0415771587 -  
 Other reading materials are provided during the class session.

**参考文献 / Readings**

Francks P. Japanese economic development: theory and practice Third edition Nissan Institute/Routledge

Japanese studies series. 2015 0415739349

Nakamura T. The Postwar Japanese Economy Second edition University of Tokyo Press 1995  
0860085147

Yoshihara K. Japanese Economic Development: A Short Introduction Oxford University Press 1979  
0195839595

**その他/ Others**

The students without training of intermediate level of economics are required to read the corresponding textbook chapters and other assigned readings critically.

# Development Economy

Development Economics

To develop the students' analytical skills necessary for the master desertsions, studying the fundamental theories of development economics.

片岡 光彦 (KATAOKA MITSUHIKO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT471

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course equips students with the various fundamental theories of development economics that presents a picture of how theory relates to the actual problems in the developing nations. The ultimate goal of this course is to expand the students' analytical frameworks for the master desertsions.

## 授業の内容 / Course Contents

Development economics is a branch of economics that deals with the economic aspects of the development process in low-income countries and covers various policy issues such as economic growth, poverty, inequality, education, fertility, urbanization, rural stagnation, environmental decay, trade, investment, government role in the market economy, development aid, and so on. The social and political factors of development economics frequently play more significant roles in its analysis than those of other branches of economics.

Due to time constraints, this course covers key empirical research and policy debates on income growth and distribution, with a special emphasis on statistical causal inference in development economics. Through

computer workshops, students acquire basic empirical analysis skills using the widely used statistical analysis software "Stata".

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：What is development economics good for?
- 2 回：Classic theory of economic development and historical perspective
- 3 回：Solow neoclassical growth model
- 4 回：Endogenous growth model
- 5 回：Population growth
- 6 回：Inequality and development (1): Basic concepts
- 7 回：Inequality and development (2): Measurement and applications
- 8 回：Poverty and development (1): Basic concepts
- 9 回：Poverty and development (2): Measurement and applications
- 10 回：Decomposition in inequality and poverty
- 11 回：Causal inference analysis (1): Potential outcomes casual model
- 12 回：Causal inference analysis (2): Observational studies
- 13 回：Causal inference analysis (3): Matching
- 14 回：Presentations of research assignment and wrap-up session

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Students are responsible for the lecture materials and the required readings for each session.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Class participation and discussion:10% Homework assignment:40% Final research presentation:15% Term paper:35%

### テキスト / Textbooks

- Todaro M. P. and Stephen S. Economic Development 12th edition Pearson 2014 1292002972 -  
 Mehmetoglu M., and Jakobsen G.T. Applied Statistics Using Stata: A Guide for the Social Sciences Seventh edition SAGE Publications 2022 9781529742565 -  
 Cunningham S Causal Inference: The Mixtape. Yale University Press 2021 0300251688 -  
 Houghton J. and Khandker S. R, Handbook on poverty + inequality The World bank 2009 003103 -  
 Janvry A.D. and Elisabeth S. Development economics : theory and practice Routledge 2021 9780367456474 -

### 参考文献 / Readings

- Ray D. Development Economics First edition Princeton University Press 1988 0691017069  
 Basu K. Analytical Development Economics MIT Press 2003 0262523442  
 Schaffner J. Development Economics: Theory, Empirical Research, and Policy Analysis Wiley 2013

0470599391

**履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course**

The basic Stata coding skills are required.

For students who are not familiar with the basic programming of Stata, please learn it through Video tutorials:

<https://www.stata.com/links/video-tutorials/>

**その他/ Others**

This course is designed specifically for graduate students and includes technical aspects that require a fundamental understanding of mathematics and economics. Undergraduate exchange students may take this course; however, I regret to inform you that I h



# A s i a n E c o n o m D e v l p m n t

Asian Economic Development

Rethinking colonial modernity

安部 竜一郎 (ABE RYUICHIRO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT481

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

While exploring patterns of capital accumulations of ancient Chinese dynasties and Japan's federal kingdoms, we focus on colonial expansion of nation states by European nations and Japan and its construction of "colonial modernity" in Asia, since 19th until 20th century.

## 授業の内容 / Course Contents

In the first half lectures, we examine how ancient Chinese dynasties and Japan's federal kingdoms could accumulate their capital by stabilizing political and economic interactions with internal and external rivals. In the later half, Japan's colonial expansion during 19th and 20th centuries will be focused, overviewing its confiscation of Hokkaido, Ryukyu and Taiwan. Each student is requested to choose one of texts on "colonial modernity" studies, and make a presentation to elaborate it.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Orientation: Theme, objective, schedule and evaluation.

2 回：Colonialism and ancient Chinese dynasties.

- 3回：Core-periphery structure in Chinese dynasties.  
 4回：Political and economic interactions between internal rivals in dynasties and external enemy kingdoms.  
 5回：Installation of Yamato Dynasty in Japan.  
 6回：Territorial expansion of the Great Qing, and isolationist policies in Asia.  
 7回：Shogun era, Japan as a federal kingdom.  
 8回：Political and economic structure of Tokugawa Shogunate and its end.  
 9回：Nation states as "Imagined Communities".  
 10回：Marginalization of Ainu and Okinawa in the process of Japan's modernization.  
 11回：Colonization of Ryukyu, the construction of "modernity".  
 12回：Taiwan, colonization of "Beautiful Islands".  
 13回：Rethinking colonial modernity(1)： How we failed to develop our own modernization?  
 14回：Rethinking colonial modernity(2): Class struggle or social milieu?

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワーポイント等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Each student is required to choose one of texts on "colonial modernity" studies, and make a presentation to elaborate it.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100%    Participation:30%    Oral Assessment (Presentation) :30%    最終レポート割合：40%

#### テキスト / Textbooks

Tani Barlow(ed.) Formations of Colonial Modernity in East Asia Duke University Press 1997  
 9780822399117 -

Gi-Wook Shin Michael Robinson(ed.) Colonial Modernity in Korea Harvard University Asia Center 1999  
 0674 005945 -

Michael J. Seth Handbook of Modern Korean History Routledge 2016 9781315816722 -

#### 参考文献 / Readings

# CS & PDA

## Cross Section and Panel Data Analysis

ウォン, C. (WONG CHUN YEE)

開講年度：	2024
科目設置学部：	経営学研究科
科目コード等：	KT501
授業形態：	対面（全回対面）
授業形態（補足事項）	Face-to-face
校地：	池袋
学期：	秋学期
単位：	2
科目ナンバリング：	MIB6211
使用言語：	英語
授業形式：	講義
履修登録方法：	科目コード登録
配当年次：	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。
先修規定：	
他学部履修可否：	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。
履修中止可否：	
オンライン授業 60 単位制限対象科目：	
学位授与との関連：	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。
備考：	Students are expected to have knowledge of Applied Econometrics(as KT231).

### 授業の目標 / Course Objectives

Upon successful completion of the course, students should be able to:

- \* demonstrate an understanding of the key concepts of microeconometrics that can be applied to analyze cross-sectional and panel data,
- \* use computational skills to perform data analyses, and
- \* critically evaluate and discuss empirical research.

### 授業の内容 / Course Contents

This course is to provide students with econometric theory and computational skills which are essential for data analysis. The emphasis will be placed on the application of the theory from a practical point. The course mainly builds upon the microeconomic methods including the linear and non-linear regressions, panel data analysis and the limited dependent variable models, and students will learn how to use Stata to conduct model estimations.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回：Multiple linear regression (MLR) model revisited

- 2回：Instrumental variables estimation (I)  
 3回：Instrumental variables estimation (II)  
 4回：Difference-in-differences analysis (I)  
 5回：Difference-in-differences analysis (II)  
 6回：Panel data analysis: first-differenced estimation  
 7回：Panel data analysis: fixed effects estimation  
 8回：Panel data analysis: random effect estimation  
 9回：Binary response: linear probability model  
 10回：Binary response: latent variable framework  
 11回：Binary response: Logit and Probit models (I)  
 12回：Binary response: Logit and Probit models (II)  
 13回：Corner solution response: Tobit model (I)  
 14回：Corner solution response: Tobit model (II)

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド* (パワポ等) の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：○	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Explorative learning will be announced on “Canvas” after the course registration.

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Assignments:30% 最終レポート割合：:30%最終テスト割合：:40%

#### テキスト / Textbooks

Jeffrey M. Wooldridge Introductory Econometrics: A Modern Approach, 7ed CENGAGE Learning 2019  
 9781337558860 ○

#### 参考文献 / Readings

A. Colin Cameron and Pravin K.Trivedi Microeconometrics Using Stata, Second Edition Volume I: Cross-Sectional and Panel Regression Methods Stata Press 2022 9781597183611  
 A. Colin Cameron and Pravin K.Trivedi Microeconometrics Using Stata, Second Edition Volume II: Nonlinear Models and Causal Inference Methods Stata Press 2022 9781597183628  
 Jeffrey M. Wooldridge Econometric Analysis of Cross Section and Panel Data, Second Edition MIT Press 2001 9780262232197

#### 履修に当たって求められる能力 / Abilities Required to Take the Course

Students are expected to have knowledge of Applied Econometrics (as KT231).

# Special Topics MPMA

Special Topics in MPMA

Development and Environmental Planning in Developing Economies

リソウダルモ (RESOSUDARMO BUDY P.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT511

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期 1

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 講義

履修登録方法： 科目コード登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course equips students with some analytical frameworks underlying development and environmental management policies in developing economies.

## 授業の内容 / Course Contents

The issue of implementing programs to accelerate economic development versus programs to protect the quality of the environment in developing countries has become prominent since the 1970s, particularly after the 1972 United Nations Conference on the Human Environment in Stockholm. The main objective of the conference was to find ways to balance economic development with environmental conservation. The term “Sustainable Development” became prominent after that and more recently a new term “Green Growth” with a similar objective was also well-known. This course is a crucial opportunity to learn about several economic planning tools to analyze the benefits and impacts of development and environmental programs typically implemented in developing economies, to understand whether or not these programs are able to achieve the dual objective of economic development and preserving the environment.

**授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule**

- 1 回：Introduction to development and environmental planning in developing economies  
 2 回：Economic growth, sustainable development, and triple bottom line  
 3 回：Principle of environmental valuation  
 4 回：Linking environment to macroeconomic indicator  
 5 回：Environmental Input Output table  
 6 回：Social and Environmental Accounting Matrix  
 7 回：Introduction to GAMS Software  
 8 回：Principal of computable general equilibrium  
 9 回：Environmental computable general equilibrium  
 10 回：Forest exploitation, development, and conservation  
 11 回：Marine resource use and options  
 12 回：Mining, development, and conflicts  
 13 回：Student presentations  
 14 回：Student presentations

**活用される授業方法 / Teaching Methods Used**

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：○
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

Students are expected to go through readings.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合：100% Class participation and discussion:20% Homework:40% Term paper with Presentation:40%

**テキスト / Textbooks**

Some textbooks and articles are introduced in class.

**参考文献 / Readings****その他 / Others**

Since this course is a graduate level course and some parts are very technical, you need to have some understanding of basic mathematics and economics.

# Advanced Seminar 1

Advanced Seminar1

柿中 真 (KAKINAKA MAKOTO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT601  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回：How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回：How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回：Presenting a thesis proposal
- 6 回：How to make a research plan 1
- 7 回：How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.



# Advanced Seminar 2

Advanced Seminar2

柿中 真 (KAKINAKA MAKOTO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT611  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction
- 2 回： How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回： How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回： How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回： Presenting a thesis proposal
- 6 回： How to make a research plan 1
- 7 回： How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# Advanced Seminar 3

Advanced Seminar3

小谷 浩示 (KOTANI KOJI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT621  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回：How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回：How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回：Presenting a thesis proposal
- 6 回：How to make a research plan 1
- 7 回：How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# Advanced Seminar 4

Advanced Seminar4

小谷 浩示 (KOTANI KOJI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT631  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction
- 2 回： How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回： How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回： How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回： Presenting a thesis proposal
- 6 回： How to make a research plan 1
- 7 回： How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# Advanced Seminar 5

Advanced Seminar5

山田 恭平 (YAMADA KYOHEI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT641  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 秋学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction
- 2 回： How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回： How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回： How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回： Presenting a thesis proposal
- 6 回： How to make a research plan 1
- 7 回： How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.



# Advanced Seminar 6

Advanced Seminar 6

山田 恭平 (YAMADA KYOHEI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT651  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：Introduction
- 2 回：How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回：How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回：How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回：Presenting a thesis proposal
- 6 回：How to make a research plan 1
- 7 回：How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# Advanced Seminar 7

Advanced Seminar7

リム, スンフ (LIM SEUNGHOO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： KT661

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MIB6211

使用言語： 英語

授業形式： 演習・ゼミ

履修登録方法： その他登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

1 回： Introduction

2 回： How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives

3 回： How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses

4 回： How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)

5 回： Presenting a thesis proposal

6 回： How to make a research plan 1

7 回： How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワーポイント等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# Advanced Seminar 8

Advanced Seminar8

リム, スンフ (LIM SEUNGHOO)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： KT671  
授業形態： 対面（全回対面）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MIB6211  
使用言語： 英語  
授業形式： 演習・ゼミ  
履修登録方法： その他登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

This course will provide general guidance in preparing a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

Students will learn the followings: (1) how to prepare a thesis proposal (research objectives, questions and hypotheses, research approaches, data collection methods; types of data analyses); (2) how to conduct a literature survey; (3) how to collect data and information for the research.

## 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回： Introduction
- 2 回： How to prepare a thesis proposal 1: research background and objectives
- 3 回： How to prepare a thesis proposal 2: research questions and hypotheses
- 4 回： How to prepare a thesis proposal 3: research approaches (exploratory, descriptive, and causal research)
- 5 回： Presenting a thesis proposal
- 6 回： How to make a research plan 1
- 7 回： How to make a research plan 2

- 8回：How to conduct a literature survey 1: journal articles, books and reports  
 9回：How to conduct a literature survey 2: online search engines  
 10回：How to collect data and information 1: secondary and primary data  
 11回：How to collect data and information 2: survey research and experimental research  
 12回：How to conduct data analysis 1: descriptive analyses  
 13回：How to conduct data analysis 2: software programs and empirical analyses  
 14回：Presenting a research plan

#### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：○	スライド（パワー等）の使用	：○	上記以外の視聴覚教材の使用	：○
個人発表	：○	グループ発表	：○	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：	校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：				

#### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Preparing a thesis proposal, conducting a literature survey, preparing a research plan

#### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% Presentation of a thesis proposal:40% Presentation of a research plan:40% Class participation:20%

#### テキスト / Textbooks

Required texts will be announced in the class.

#### 参考文献 / Readings

Recommended texts will be announced in the class.

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

秋野 晶二 (AKINO SHOJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM101

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

有馬 賢治 (ARIMA KENJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM102

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：2） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

石川 淳 (ISHIKAWA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM104

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

佐々木 宏 (SASAKI HIROSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM110

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

デイヴィス, S (DAVIS,SCOTT T.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM111

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

高岡 美佳 (TAKAOKA MIKA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM113

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

山口 和範 (YAMAGUCHI KAZUNORI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM118

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

竹澤 伸哉 (TAKEZAWA NOBUYA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM122

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

辻 洋右 (TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM123

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

シュールズ (SCHULES DOUGLAS)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM124

授業形態： 対面 (全回対面)

授業形態 (補足事項)

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針 (DP) や教育課程編成の方針 (CP) に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

岡本 紀明 (OKAMOTO NORIAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM125

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

トンプソン (THOMPSON GENE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM126

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

中原 淳 (NAKAHARA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM127

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

西原 文乃 (NISHIHARA AYANO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM128

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

舘野 泰一 (TATENO YOSHIKAZU)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM129

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

千野 厚 (CHINO ATSUSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM130

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

田中 聡 (TANAKA SATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM131

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

細田 雅洋 (HOSODA MASAHIRO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM132

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

村嶋 美穂 (MURASHIMA MIHO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM133

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

秋野 晶二 (AKINO SHOJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM151

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

有馬 賢治 (ARIMA KENJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM152

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

石川 淳 (ISHIKAWA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM154

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

佐々木 宏 (SASAKI HIROSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM160

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

デイヴィス, S (DAVIS,SCOTT T.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM161

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

高岡 美佳 (TAKAOKA MIKA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM163

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

山口 和範 (YAMAGUCHI KAZUNORI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM168

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

竹澤 伸哉 (TAKEZAWA NOBUYA)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM172

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

辻 洋右 (TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM173

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

シュールズ (SCHULES DOUGLAS)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM174

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

岡本 紀明 (OKAMOTO NORIAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM175

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

トンプソン (THOMPSON GENE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM176

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

中原 淳 (NAKAHARA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM177

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

西原 文乃 (NISHIHARA AYANO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM178

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

舘野 泰一 (TATENO YOSHIKAZU)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM179

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

千野 厚 (CHINO ATSUSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM180

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

田中 聡 (TANAKA SATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM181

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

細田 雅洋 (HOSODA MASAHIRO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM182

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



# 研究指導

Seminar

多変量解析, 統計計算

村嶋 美穂 (MURASHIMA MIHO)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM183

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

## 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

## 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

## 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

秋野 晶二 (AKINO SHOJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM201

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

有馬 賢治 (ARIMA KENJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM202

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

石川 淳 (ISHIKAWA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM204

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

佐々木 宏 (SASAKI HIROSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM210

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

デイヴィス， S (DAVIS,SCOTT T.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM211

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

高岡 美佳（TAKAOKA MIKA）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM213

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

山口 和範 (YAMAGUCHI KAZUNORI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM218

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

竹澤 伸哉（TAKEZAWA NOBUYA）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM222

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

辻 洋右 (TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM223

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

シュールズ（SCHULES DOUGLAS）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM224

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

岡本 紀明 (OKAMOTO NORIAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM225

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

トンプソン (THOMPSON GENE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM226

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

中原 淳 (NAKAHARA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM227

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

西原 文乃（NISHIHARA AYANO）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM228

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

舘野 泰一 (TATENO YOSHIKAZU)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM229

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

千野 厚 (CHINO ATSUSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM230

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

田中 聡 (TANAKA SATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM231

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

細田 雅洋（HOSODA MASAHIRO）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM232

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

村嶋 美穂（MURASHIMA MIHO）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM233

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

秋野 晶二 (AKINO SHOJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM251

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

有馬 賢治 (ARIMA KENJI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM252

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

石川 淳 (ISHIKAWA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM254

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

佐々木 宏 (SASAKI HIROSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM260

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

デイヴィス， S (DAVIS,SCOTT T.)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM261

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

高岡 美佳（TAKAOKA MIKA）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM263

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

山口 和範 (YAMAGUCHI KAZUNORI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM268

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

竹澤 伸哉（TAKEZAWA NOBUYA）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM272

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

辻 洋右 (TSUJI YOSUKE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM273

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

シュールズ (SCHULES DOUGLAS)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM274

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

岡本 紀明（OKAMOTO NORIAKI）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM275

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

### 参考文献 / Readings

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

トンプソン (THOMPSON GENE)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM276

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

中原 淳 (NAKAHARA JUN)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM277

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

西原 文乃（NISHIHARA AYANO）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM278

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析, 統計計算

舘野 泰一 (TATENO YOSHIKAZU)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM279

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

千野 厚 (CHINO ATSUSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM280

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**



## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

田中 聡 (TANAKA SATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM281

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

細田 雅洋（HOSODA MASAHIRO）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM282

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワー等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準（成績評価方法区分：111） / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題（5%×14回）:70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

## 研究指導（副）

Seminar

多変量解析，統計計算

村嶋 美穂（MURASHIMA MIHO）

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM283

授業形態： 対面（全回対面）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 秋学期他

単位：

科目ナンバリング： MBU7613

使用言語： その他

授業形式： その他

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

### 授業の目標 / Course Objectives

論文を作成するための研究指導を行う。

Research guidance to prepare a thesis.

### 授業の内容 / Course Contents

研究テーマを定め、先行研究のレビューを行い、研究を遂行する。

Determine a research topic, review previous research, and conduct the research.

### 授業計画(授業計画数：1) / Course Schedule

1 回：まず希望するテーマに沿い、先行研究のレビューを行う。そのうえで、各自が研究を進める内容を定め、論文につながる研究を遂行する。なお、関連する学会での論文発表を行うことを目標とする。

The first step is to review previous research on the topic of your choice. Then, each student will determine the content of his or her research and conduct research

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワー等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:
個人発表	:	○	グループ発表	:	ディスカッション・ディベート	:
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:
上記いずれも用いない予定	:					:

**授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class**

定められた授業時間以外での、学会や研究会での活動も重要である。

It is also important to be active in conferences and research groups outside of the scheduled class time.

**成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：111) / Evaluation**

平常点のみ

平常点割合 :100% 指導時の課題 (5%×14回) :70% 最終レポート割合 :30%

**テキスト / Textbooks****参考文献 / Readings**

# リサーチ・メソドロジーA

Research Methodology A

社会科学における統計的分析手法の活用

山口 和範/田中 聡 (YAMAGUCHI KAZUNORI/ TANAKA SATOSHI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM501

授業形態： オンデマンド（全回オンデマンド）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MBU7003

使用言語： その他

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

社会科学分野のアカデミック論文の執筆における統計的分析手法の活用法を身につけることを目的とする。単に統計的な手法を学ぶのではなく、論文執筆のためにどう活用できるのか、研究計画を立てる段階から、完成までのプロセス全般で、考慮すべきことを身につける。また、研究倫理についても考える機会を設ける。

The objective of this course is to help students learn how to use statistical analysis methods in writing academic papers in the social sciences. Rather than simply learning statistical methods, students will learn how they can be used to write papers, and what to consider in the overall process from the research planning stage to completion.

## 授業の内容 / Course Contents

本講義では、統計的な基礎的な概念から、統計的推測および多変量解析の各手法を学ぶ。講義に加え、受講者の研究分野に関連する統計分析の実習も行う。実習においては、SPSS や R といった統計ソフトウェアを使用する。最終レポートでは、実証研究の小論文を作成する。

In this lecture, students will learn basic statistical concepts, statistical inference and multivariate analysis methods. In addition to the lecture, students will practice statistical analysis related to their research fields.

Statistical software such as SPSS and R will be used in the practical training. For the final report, students will write an essay on empirical research.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1 回：学術研究における統計の役割と研究倫理
- 2 回：SPSS と R
- 3 回：記述統計 1
- 4 回：記述統計 2
- 5 回：統計的推定 1
- 6 回：統計的推定 2
- 7 回：統計的検定 1
- 8 回：統計的検定 2
- 9 回：因果へのアプローチ 1
- 10 回：因果へのアプローチ 2
- 11 回：因子分析と SEM 1
- 12 回：因子分析と SEM 2
- 13 回：まとめ 1
- 14 回：まとめ 2

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	：	スライド（パワー等）の使用	：	○	上記以外の視聴覚教材の使用	：
個人発表	：	○	グループ発表	：	ディスカッション・ディベート	：
実技・実習・実験	：	学内の教室外施設の利用	：		校外実習・フィールドワーク	：
上記いずれも用いない予定	：					

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

実習に多くの時間が必要となるので、講義時間以外での時間確保が必要となる。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 講義内課題[複数回]:70% 最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

教科書は指定しない

### 参考文献 / Readings

随時紹介する。

### その他 / Others

講義はすべての回をオンラインで実施します。また、講義の際に分析実習を行うため、パソコンを用意して参加してください。



# リサーチ・メソドロジー B

Research Methodology B

科目デザイン

田中 聡／鈴木 克明 (TANAKA SATOSHI/ SUZUKI KATSUAKI)

開講年度： 2024

科目設置学部： 経営学研究科

科目コード等： QM502

授業形態： オンデマンド（全回オンデマンド）

授業形態（補足事項）

校地： 池袋

学期： 春学期他

単位： 2

科目ナンバリング： MBU7003

使用言語： その他

授業形式： 講義

履修登録方法： 自動登録

配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。

先修規定：

他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。

履修中止可否：

オンライン授業 60 単位制限対象科目：

学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。

備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

リサーチメソドロジーBとCは、大学院後期課程の学生を対象とし、大学等で教育を行うための基礎を学ぶプレFDとして位置付けられる科目である。これらの科目では、教育改善スキル修得オンラインプログラムの活用を通じて教育設計学の基礎を学び、大学で教育を行う基礎を身につけ、担当予定科目のシラバス作成とICT利用計画などの作成を通して次世代の大学教員として主体的な学生の学びを支援するための諸技法を修得する。

Research Methodology B and C are courses for students in the second semester of graduate school, and are positioned as pre-FD courses to learn the basics of education at universities and other institutions. In these courses, students learn the basics of educational design through the online program for acquiring educational improvement skills, acquire the fundamentals of conducting education at universities, and acquire various techniques to support proactive student learning as the next generation of university instructors by creating syllabi and ICT use plans for the courses they will be in charge of.

## 授業の内容 / Course Contents

大学教育における様々な事例をもとに、授業方法の改善や適切な評価方法を学ぶ。

Learn how to improve teaching methods and appropriate evaluation methods based on various examples in university education.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：大学教育に関する5つの物語（1）
- 3回：大学教育に関する5つの物語（2）
- 4回：認知的発達を促す授業方法（1）
- 5回：認知的発達を促す授業方法（2）
- 6回：認知的発達を促す授業方法（3）
- 7回：評価と単位認定の見直し（1）
- 8回：評価と単位認定の見直し（2）
- 9回：評価と単位認定の見直し（3）
- 10回：学習目標の高度化（1）
- 11回：学習目標の高度化（2）
- 12回：学習目標の高度化（3）
- 13回：最終課題の発表と相互評価
- 14回：まとめ

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド（パワポ等）の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○	
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:		
上記いずれも用いない予定	:		:			:		

### 授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

この科目はオンデマンド科目として展開されるが、この科目用に設置される掲示板への積極的な書き込みが求められる。

### 成績評価方法・基準（成績評価方法区分：002） / Evaluation

平常点のみ

平常点割合：100% 講義内課題(10×7回):70% 最終レポート割合：30%

### テキスト / Textbooks

鈴木 克明・美馬 のゆり(編著) 『学習設計マニュアル: 「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン』 北大路書房 2018 4762830135 -

### 参考文献 / Readings

### その他 / Others

オンデマンド教材の配信は、週の初めに行われる。

# リサーチ・メソドロジーC

Research Methodology C

自律学習支援

田中 聡／鈴木 克明 (TANAKA SATOSHI/ SUZUKI KATSUAKI)

開講年度： 2024  
科目設置学部： 経営学研究科  
科目コード等： QM503  
授業形態： オンデマンド（全回オンデマンド）  
授業形態（補足事項）  
校地： 池袋  
学期： 春学期他  
単位： 2  
科目ナンバリング： MBU7003  
使用言語： その他  
授業形式： 講義  
履修登録方法： 自動登録  
配当年次： 配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。  
先修規定：  
他学部履修可否： 履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。  
履修中止可否：  
オンライン授業 60 単位制限対象科目：  
学位授与との関連： 各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。  
備考：

## 授業の目標 / Course Objectives

リサーチメソドロジーBとCは、大学院後期課程の学生を対象とし、大学等で教育を行うための基礎を学ぶプレFDとして位置付けられる科目である。これらの科目では、教育改善スキル修得オンラインプログラムの活用を通じて教育設計学の基礎を学び、大学で教育を行う基礎を身につけ、担当予定科目のシラバス作成とICT利用計画などの作成を通して次世代の大学教員として主体的な学生の学びを支援するための諸技法を修得する。

Research Methodology B and C are courses for students in the second semester of graduate school, and are positioned as pre-FD courses to learn the basics of education at universities and other institutions. In these courses, students learn the basics of educational design through the online program for acquiring educational improvement skills, acquire the fundamentals of conducting education at universities, and acquire various techniques to support proactive student learning as the next generation of university instructors by creating syllabi and ICT use plans for the courses they will be in charge of.

## 授業の内容 / Course Contents

学生の学びを促進するための工夫を学ぶ。ICTの活用、学びの場の構築などにより自律的学習をすすめるにはどうすべきかを、具体的な事例と共に学び、各自の課題として取り組む。

Learn how to promote autonomous learning through the use of ICT and the creation of learning spaces, etc., along with specific examples of how this can be done, and work on your own issues.

### 授業計画(授業計画数：14) / Course Schedule

- 1回：オリエンテーション
- 2回：学生が自分の学びと向き合うきっかけをつくる (1)
- 3回：学生が自分の学びと向き合うきっかけをつくる (2)
- 4回：自学自習を促す ICT 活用 (1)
- 5回：自学自習を促す ICT 活用 (2)
- 6回：自学自習を促す ICT 活用 (3)
- 7回：学びの場を作る (1)
- 8回：学びの場を作る (2)
- 9回：学びの場を作る (3)
- 10回：学生を自己調整学習者に育てる (1)
- 11回：学生を自己調整学習者に育てる (2)
- 12回：学生を自己調整学習者に育てる (3)
- 13回：最終課題の発表と相互評価
- 14回：まとめ

### 活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	:	スライド (パワポ等) の使用	:	○	上記以外の視聴覚教材の使用	:	○	
個人発表	:	○	グループ発表	:	○	ディスカッション・ディベート	:	○
実技・実習・実験	:	学内の教室外施設の利用	:		校外実習・フィールドワーク	:		
上記いずれも用いない予定	:		:			:		

### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Study Required Outside of Class

この科目はオンデマンド科目として展開されるが、この科目用に設置される掲示板への積極的な書き込みが求められる。

### 成績評価方法・基準 (成績評価方法区分：002) / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業内課題(5%×14回):70%

最終レポート割合 :30%

### テキスト / Textbooks

鈴木 克明・美馬 のゆり(編著) 『学習設計マニュアル: 「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン』 北大路書房 2018 4762830135 -

### 参考文献 / Readings

### その他 / Others

オンデマンド教材の配信は、週の初めに行われる。